

フェイジーランドのおとぎ話

- 1 - 不思議の国へ行って悪い夢を怖がらない方法
- 2 - 竜のルーダを地下牢からたすけた事と魔法の時間
- 3 - スーパーヒーローになってどんな女の子ともなかよくなる方法
 - 4 - 空飛ぶ円盤の宇宙旅行と宇宙人の誘拐
 - 5 - おそろしいお墓の冒険と秘密の待ち合い場所
- 6 - 危ないスポーツカーの競争とアストラがもどって来た
 - 7 - 深い海の冒険と海の怪獣との戦い
 - 8 - 動物への変身とオオカミの群れ
 - 9 - タイムマシンの旅行とファラオの秘密
- 10 - 悪い竜との魔法の戦い、そしてアストラの心をつかむ



1

フェイジーランドのおとぎ話

不思議の国へ行って悪い夢を怖がらない方法

(おやすみの前にお話してあげて下さいね。)

作～マイケル・ラドゥーガ

訳～中山利一

編集～近藤五百子

イラスト～アンドレイ・グッドコフ

下のアドレスで 10 のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



ちい まち よ こ す ほか こ
ある小さな町に、フェイジーという良い子が住んでいました。他の子どもたちとおな

じように、フェイジーはマンガとキャンディーが大好きでした。フェイジーは空き地で友だ
だい あきち とも

ちとあそぶのが大好きで、いつもこの空き地で時間を忘れて遊んでしまいました。フェ
だいす

イジーのお母さんは、フェイジーが見当たらない時には、いつもこの空き地に探しにき
かあ とき あきち

「フェイジー、お家に帰ってらっしゃい！」
うち かえ

すると空き地の中から返事が来ます。「フェイジーなんていないよ。シゴトに行っ
へんじ い
ちやったよ！」

「シゴトだって？そりゃー私 の言うことさ、あの子が毎朝オートミールのおかわりが欲
わたし い まいあさ
しいって言うから、いつも仕事に遅れちゃっているんだから。フェイジー、ほら、帰るよ。」

おお わら ごえ ひろ とも だい
大きな笑い声がひろばいっぱいに広がります。友だちはみんなフェイジーの大
ごうぶつ し

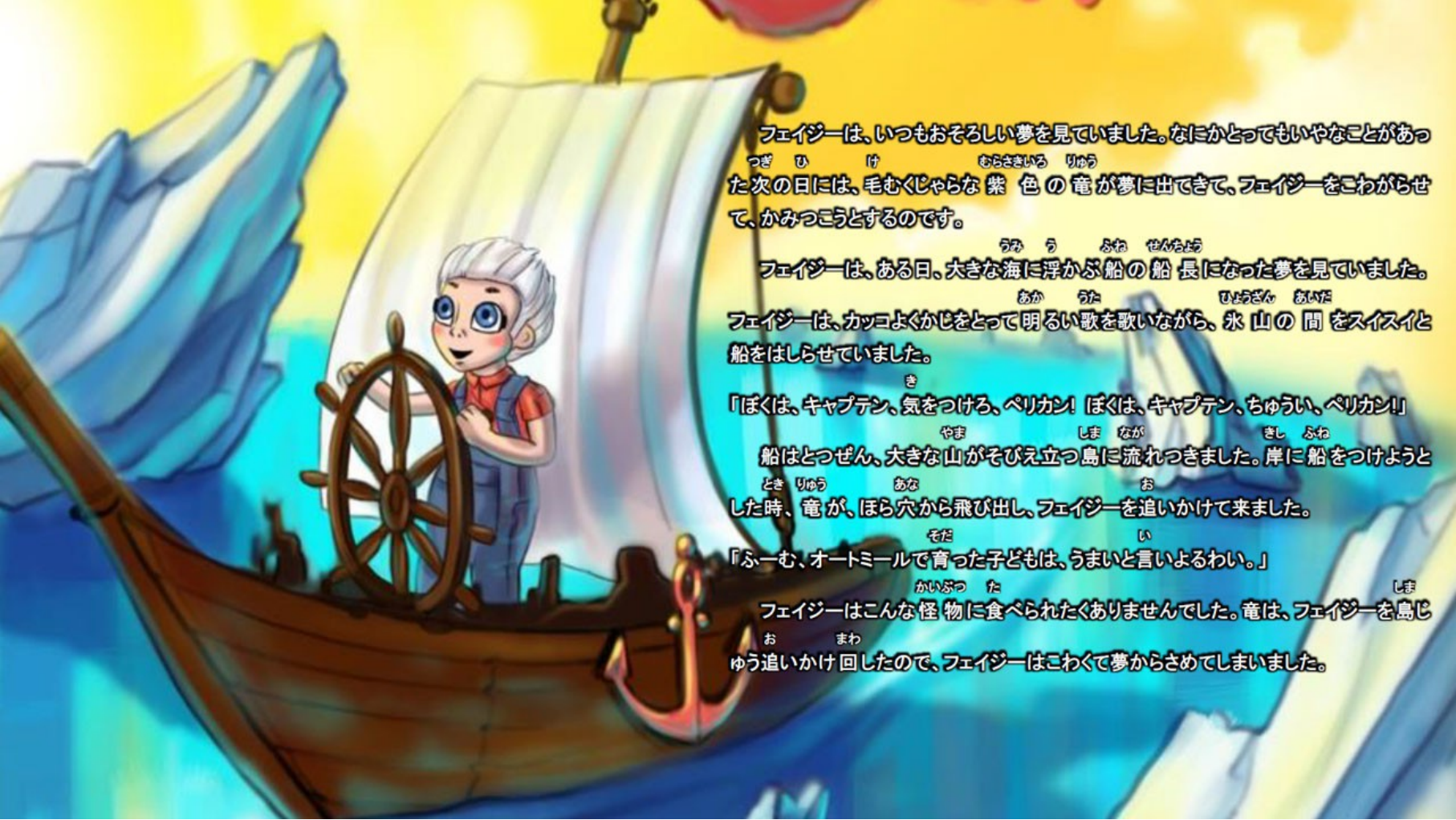
好物はオートミールだと知っているのです。フェイジーは、しゅしゅお家へ帰って行き
ました。

フェイジーは、ごくふつうの小さな男の子でしたが、大きな問題 がありました。
もんだい

それがなければ、まいにち楽しいのに、、、
たの

でもだれもフェイジーを助けてあげることはできませんでした。
たす





フェイジーは、いつもおそろしい夢を見ていました。なにかとてもいやなことがあつ
つぎ ひ け むらさきいろ りゆう
た次の日には、毛むくじゃらな 紫 色 の 竜 が夢に出てきて、フェイジーをこわがらせ
て、かみつこうとするのです。

フェイジーは、ある日、大きな海に浮かぶ船の 船 長 になった夢を見ていました。
あか うた ひょうざん おいだ
フェイジーは、カッコよくかじをとって明るい歌を歌いながら、氷 山 の 間 をスイスイと
船をはしらせていました。

き
「ぼくは、キャプテン、気をつける、ペリカン! ぼくは、キャプテン、ちゅうい、ペリカン!」
やま しま なが きし ふね
船はとつぜん、大きな山がそびえ立つ島に流れつきました。岸に船をつけようと
とき りゆう あな お
した時、竜 が、ほら穴から飛び出し、フェイジーを追いかけて来ました。

そだ い
「ふーむ、オートミールで育った子どもは、うまいと言いよるわい。」
かいぶつ た しま
フェイジーはこんな怪物に食べられたくありませんでした。竜は、フェイジーを島じ
お まわ
ゆう追いかけて回したので、フェイジーはこわくて夢からさめてしまいました。





つぎの日は、かぜがビュービューふいて、凧をあげるにはもってこいの日でした。

フェイジーの一番の仲良したちが、もう空き地でフェイジーを待っていました。

「なんでそんな悲しい顔をしているの？」アストラという髪の長い女の子が聞きました。

「よく寝れなかったんだよ。」と、フェイジーは、答えました。

「夢の中で、竜から逃げていたんだ。ずーっとぼくを追いかけ回して、1回おしりにかみついたの。痛かった。」

「えー、ほんと！？」と、アストラが、こたえました。

「じゃー、座れないんじゃない。」オビーという男の子がニヤニヤ笑って言いました。

フェイジーは、その子にガツンとヘッドロックをおみまいしました。

3人が、しゃべっていると、ほかの友だちも来て、凧を組立はじめました。

アストラは、思わず、「何でかしら……。フェイジー……」と、ため息をついていました。

「何が？」

「何で知らないのかしら。あなたは夢の中の竜を簡単にやっつける事ができるのよ。」





ゆめ なか たたか

「え？どうやってあいつと夢の中で戦うの、アストラ？」フェイジーは、おどろいて言いました。

い

「おまえ、ウソつきじゃね？」オビーが、思わず言ってしまいました。

はな

フェイジーにむかって、アストラはずかしく話をはじめました。

よるね じぶん なに み ゆめ

「夜寝る時にいつも自分に言うの。”何かこわいものを夢に見ても、これは夢なんだ、

どお

でき

ぜんぶ私の思う通りになる”って。たとえばね、こわいオオカミが夢に出て来ても、その

こいぬ

オオカミを心のかで子犬にかえて遊んじやったりとか。」

とき

あたま

その時です、スパークがあらわれたのは。スパークは、ちょっと頭のにぶい、空き地

としうえ

じぶん

のイタズラっ子なんです。スパークは、フェイジーたちよりも1年半だけ年上で、自分が

つよ ●おも
強いとおもっています。

まえ

ちい

あたら

じてんしゃ

い

「アストラ、お前まだこんな小さいガキと遊んでんのか？おれと新しい自転車見に行こうぜ。」

あか

「えっ、新しい自転車！行く行く。それって赤？」

い

アストラは、かおをかがやかせて、フェイジーとオビーにさよならも言わずにスパークと行ってしまいました。





よる かえ かな たこ せいこう ながいあいだ
その夜、フェイジーは家に帰って悲しくなりました。夙あげは大成功して長い間、

そら
空をとんでいたものの、アストラはスパーと帰ってしまい、見てくれませんでした。その上、一人で小さな子どもたちの世話をしなければなりません。なんてついてない日。くやしくてしょうがない。

ゆう ことば ふか むね
そんなタベ、フェイジーの心にはアストラの言葉が深く胸にひびいていました。
ゆうはん あそ
夕飯がおわって、ミニカーでちょっと遊んだあと、フェイジーはとうとうあのおそろしい
たたか けっしん
竜と戦う事に決めました。かたい決心をしてベッドに入りました。

へん うちゆうせん の け
その夜フェイジーは、変な夢を見つづけました。宇宙船に乗ろうとすると、あの毛
むらさき
むくじやらの紫の竜があらわれるのです。

く と き
「おまえを食ってやる！」竜は、うなって飛びかかって来ました。

ことば おも だ
こういう時こそフェイジーは、アストラの言葉を思い出さなければなりませんでしたが、
こわ かいぶつ ひる
怖くて何もできません。フェイジーは、怪物のお昼ごはんになりたくないと思い、
に だ れんしゅう しっぱい お
怖くて逃げ出してしまいました。この練習は、失敗に終わりました。





この失敗に、フェイジーはとても悔しくて腹を立てました。そしてつぎの日の夕ごはんには、フェイジーの決心はもっと固くなっていました。

「ママ、おかわり。今夜竜と戦うから力をつけなきゃ!」と、フェイジーは言いました。「かっこいいわね。」お母さんは、お皿におかわりをよそいながらフェイジーをほめました。

その夜、フェイジーは夢の中で高層ビルを建てていました。すると、いつもの竜があらわれました。フェイジーは、落ち着いていっしょうけんめい考えて、何かを思い出そうとしましたが、どんなに考えても思い出せません。

「ほう、またお前か、ちょうどいい、タメシがまだなんだ。」と、竜はすごい勢いで言いました。

フェイジーは、すっかりこわくなって、これがただのイヤな夢だということに気づきませんでした。前の日と同じようにフェイジーはおそろしい毛むくじやらの紫の竜から逃げ出すと、竜はフェイジーを追いかけて来ました。やはり今日も失敗。フェイジーは怖さのあまり、ベッドの上で目を覚ましてしまいました。





こんがい しっばい

今回のこの失敗は、今までよりもフェイジーをふるいたたせました。フェイジーは
あきら
まだまだ諦めません。

しろ うま の きし

その夜、フェイジーは、お城のまわりで馬に乗った騎士になる夢を見ました。とつぜ
おと りゆう もり と き ひ
んゴロゴロという音がなると、あの 竜が森から飛んで来て火をふきながらフェイジーに

さま もん はし

むかって来ました。騎士のフェイジー様は、お城の門にむかっていちもくさんに走りま
うらがわ し
した、しかしだれかが門を内側から閉めてしまいました。フェイジーは、いつもの様に

じぶん きし うま も

はじめはおびえていましたが、そのうちに本当の自分は騎士ではないことも、馬も持っ
ていないことも思い出しました。

ゆめ よろこ

「これは、ただの夢なんだ！ そうだ！ これからは、ぼくの思い通りだ！」と、喜びなが
ら言いました。

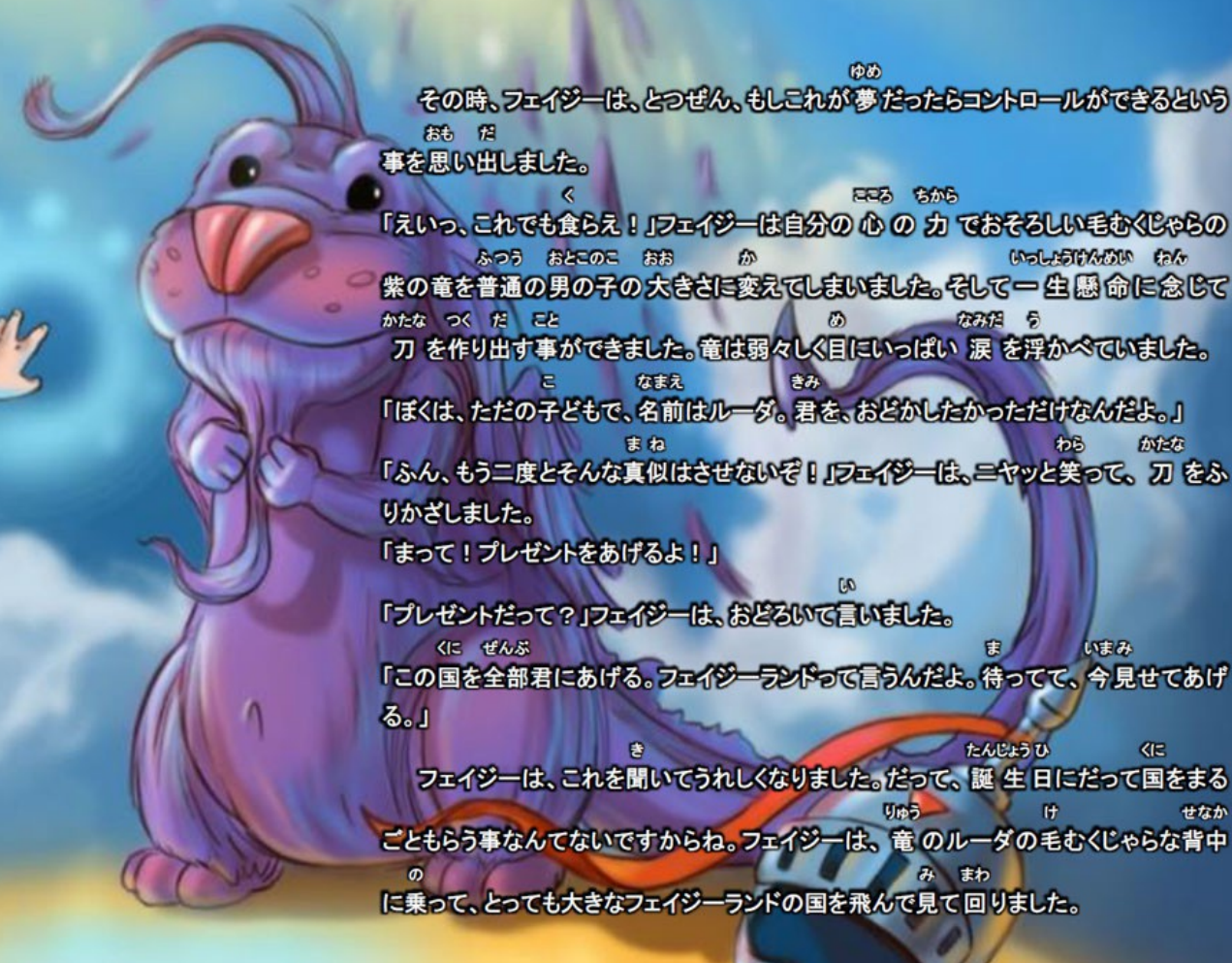
い た わら

「そんなこと言っても食べてやる！」竜は、バカにした笑いをうかべました。

うそ こえ

「えええ、そんな…アストラの言った事は嘘だったのか！？」声を出すこともできず、フ
きようふ るる よ お かくご き
エイジーは恐怖に震え、この世の終わりと覚悟を決めました。





その時、フェイジーは、とつぜん、もしこれが夢だったらコントロールができるという

おも だ
事を思い出しました。

く
「えいっ、これでも食らえ！」フェイジーは自分の心の力でおそろしい毛むくじやらの
ふつう おとこのこ おお か いっしょうけんめい わん
紫の竜を普通の男の子の大きさに変えてしまいました。そして一生懸命に念じて
かな つく だ こと め なみだ う
刀を作り出す事ができました。竜は弱々しく目にいっぱい涙を浮かべていました。

こ なまえ きみ
「ぼくは、ただの子どもで、名前はルーダ。君を、おどかしたかっただけなんだよ。」

まね わら かな
「ふん、もう二度とそんな真似はさせないぞ！」フェイジーは、ニヤッと笑って、刀をふりかざしました。

「まって！プレゼントをあげるよ！」

い
「プレゼントだって？」フェイジーは、おどろいで言いました。

くに ぜんぶ ま いまみ
「この国を全部君にあげる。フェイジーランドって言うんだよ。待ってて、今見せてあげる。」

き たんじょうひ くに
フェイジーは、これを聞いてうれしくなりました。だって、誕生日にだって国をまる
りゆう け せなか
ごともらう事なんてないですからね。フェイジーは、竜のルーダの毛むくじやらの背中
の み まわ
に乗って、とつぜん大きなフェイジーランドの国を飛んで見て回りました。



どこどこに飛んで行っても、何なにを見てもフェイジーランドに終わりはありませんでした。この大きな国くにには何でもあって、オートミールのみずうみまでありました。

その時その、とつぜん空ほのおが炎きにかわり、おそろしいさけびが聞こえ、ルーダはふるえあがりました。

「なんてこった！早く逃げて！」
「どうしたの！？」

「ぼくたずを助けて！」小さな竜ちいは、フェイジーを家のベッドおに下ろすと、さけび声ごえをあげて消えていきました。

フェイジーは、新しい友だちあたに何が起きたのか分かりませんでした、でも、この新しい友だちを何があっても助けてあげようと思いました。

もう、夢ゆめをこわがる事は無く、フェイジーはすがすがしい朝ことをむかえました。

そして、アストラとオビーはやに早くこの事はなを話したかったので、フェイジーは、すぐうちに家を出ました。



マイケルおじさんからのメッセージ

親愛なる友だちしょくん。フェイジーっていう名前のぼくたちのヒーローがあらわれ
たね。いっしょに、ゆめ 怖い夢をこわがらないで、まほう フェイジーランドっていう魔法の国への
行き方が分かったよね。もしかしたら、もう君は、あそこに行った事があるんじゃない
の？

そう、おじさんはまちがってないよ、フェイジーランドで起こった事はみんなホントの
事さ。フェイジーランドは、ほんとうにあって、だれ 誰でも行くことができるのだよ。大人も知
らない大きなヒミツだけどね。

お話 は、まだまだ続くよ。すごい冒険が、ぼくらの友だちを待っている。竜のル
ーダになにがおこったかも、アストラとフェイジーが仲よくなるのもこれから分かるよ。
今日は、きょう ねる時に魔法の国の事を かんが 考えてね。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®



2

フェイジーランドのおとぎ話

竜のルーダを地下牢からたすけた事と魔法の
時間

(おやすみの前にお話してあげて下さいね。)

作～マイケル・ラドゥーガ

訳～中山利一

編集～近藤五百子

イラスト～アンドレイ・グッドコフ

下のアドレスで 10 のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



ね しあわ おとこのこ
寝るのがこわくなくなったフェイジーは、とても 幸 せな男の子になりました。オート

さんぽ おな す
ミールや友だちと散歩に行くことと同じくらい、スヤスヤとゆっくり寝るのが好きになりま

りゆう はなし しん
した。でも、小さな 竜 ルーダ の 話 は、みんなが信じてくれたわけではありません。

た もり きち つく
「ぜったいオートミールの食べすぎだよ。」オビーは森に基地を作る手を止めフェイジー
をバカにしました。

ほんとう
「ちがう、みんな本当の話よ。」と、アストラはフェイジーをかばいました。「そうよね、

わたし おし
私 がそう教えてあげたのよね、フェイジー？」

さいしょ し
「そんな事ぼく、最初から知ってたさ。」

い たす
「えっ、それって何？正直に言いなさいよ。私 があなたを悪い夢から助 けてあげたんで
しょ？」

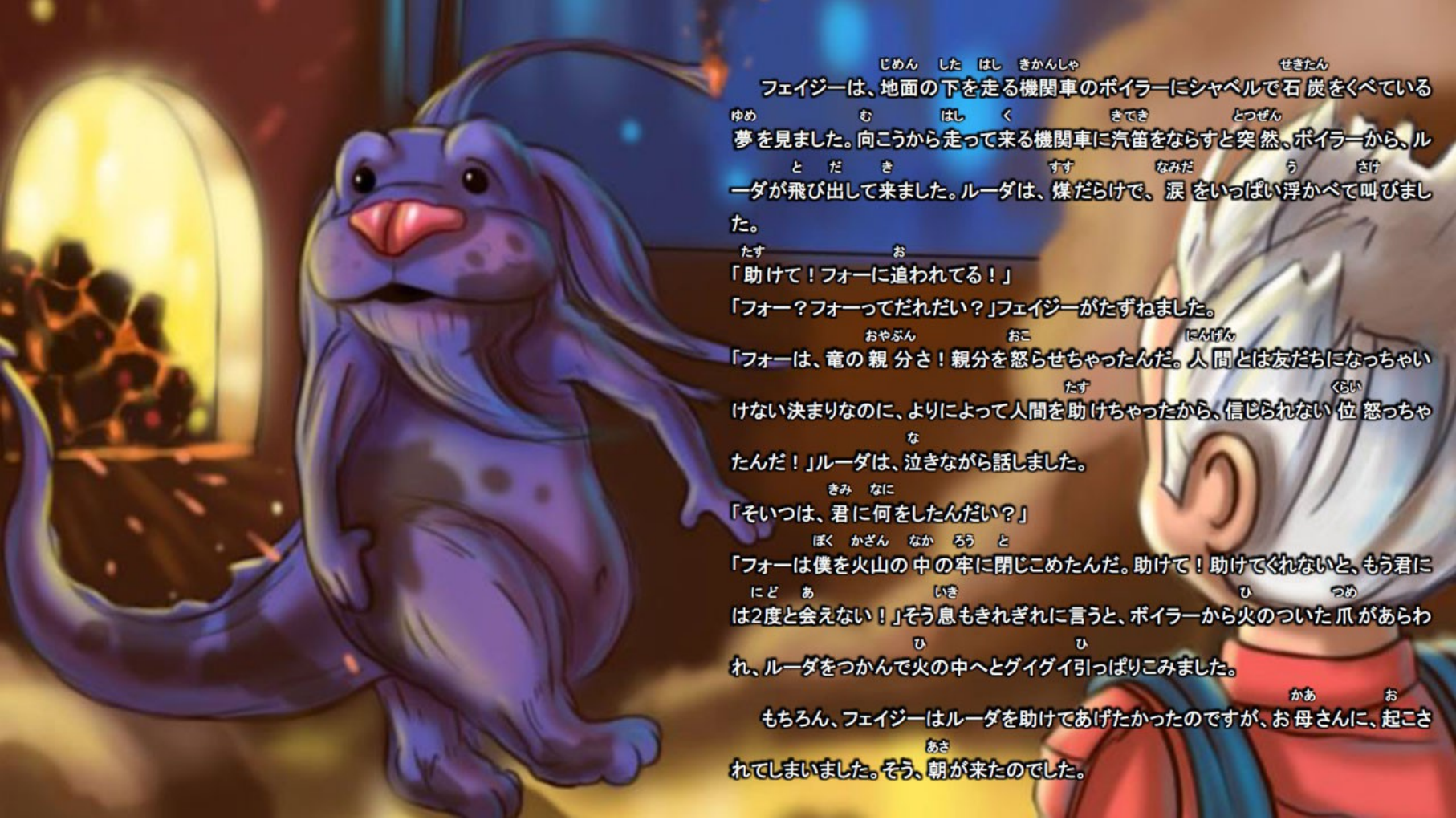
は おんなのこ
フェイジーは、ちょっと恥ずかしくて女の子に助けられたとは言えませんでした。し

こころ い
かし、心 の中では“ありがとう”と言っていたのです。

ふつかかん りゆう こと たの す
次の 2 日間、フェイジーはかわいそうな 竜 の事はわすれて楽しく過ごしましたが、

つぎ よる おも こと お
その次の夜、思いがけない事が起きたのです。





じめん した はし きかんしゃ せきたん
フェイジーは、地面の下を走る機関車のボイラーにシャベルで石炭をくべている
ゆめ む はし く きてき とつぜん
夢を見ました。向こうから走って来る機関車に汽笛をならすと突然、ボイラーから、ル
と た き すす なみだ う さけ
ーダが飛び出して来ました。ルーダは、煤だらけで、涙をいっぱい浮かべて叫びまし
た。

たす お
「助けて！フォーに追われてる！」

「フォー？フォーってだれだい？」フェイジーがたずねました。

おやぶん おこ にんげん
「フォーは、竜の親分さ！親分を怒らせちゃったんだ。人間とは友だちになっちゃい
けな^{たす}い決まりなのに、よりによって人間を助け^{くら}ちゃったから、信じられない位怒^なっちゃ
たんだ！」ルーダは、泣きながら話しました。

きみ なに
「そいつは、君に何をしたんだい？」

ほく かざん なか ろう と
「フォーは僕を火山の中の牢に閉じこめたんだ。助けて！助けてくれないと、もう君に
にど あ いき ひ つめ
は2度と会えない！」そう息もきれぎれに言うと、ボイラーから火のついた爪^ひがあらわ
れ、ルーダをつかんで火の中へとグイグイ引っぱりこみました。

もちろん、フェイジーはルーダを助けてあげたかったのですが、お母^{かあ}さんに、起こ^お
あさ
されてしまいました。そう、朝が来たのでした。





ひる もり きち あつ なに
屋になると、フェイジーは森の中の基地にみんなを集め、夢の中で何があったか

のか話しました。オビーはまたもやフェイジーの言うことを信じようとせず、フェイジーの
わら と
話を笑い飛ばしました。

しんばい いき たす
しかしアストラは心配して、ため息まじりに言いました。「かわいそうなルーダ。助け
てあげられないの？」

「でもルーダなしで、どうやって僕がフェイジーランドにいるかどうかで分かるの？」

まほう じかん し
「あら、“目ざめの魔法の時間”を知らないのかしら？知りたい？」

ことば
「し、知ってるよ、思い出せないだけさ！」と、強がってみましたと言葉につまりました。

ねむ かんぜん さ まほう じかん
「眠りから完全に覚める前に、ぼんやりしている“目ざめの魔法の時間”って言う時間

があるの。その時にね、目を閉じたまま自分の行きたい所に行けるように心の中で繰り

返し念ずるのよ。これがダメな時は、もう一つ方法があるのよ。じっと目を閉じたまま、

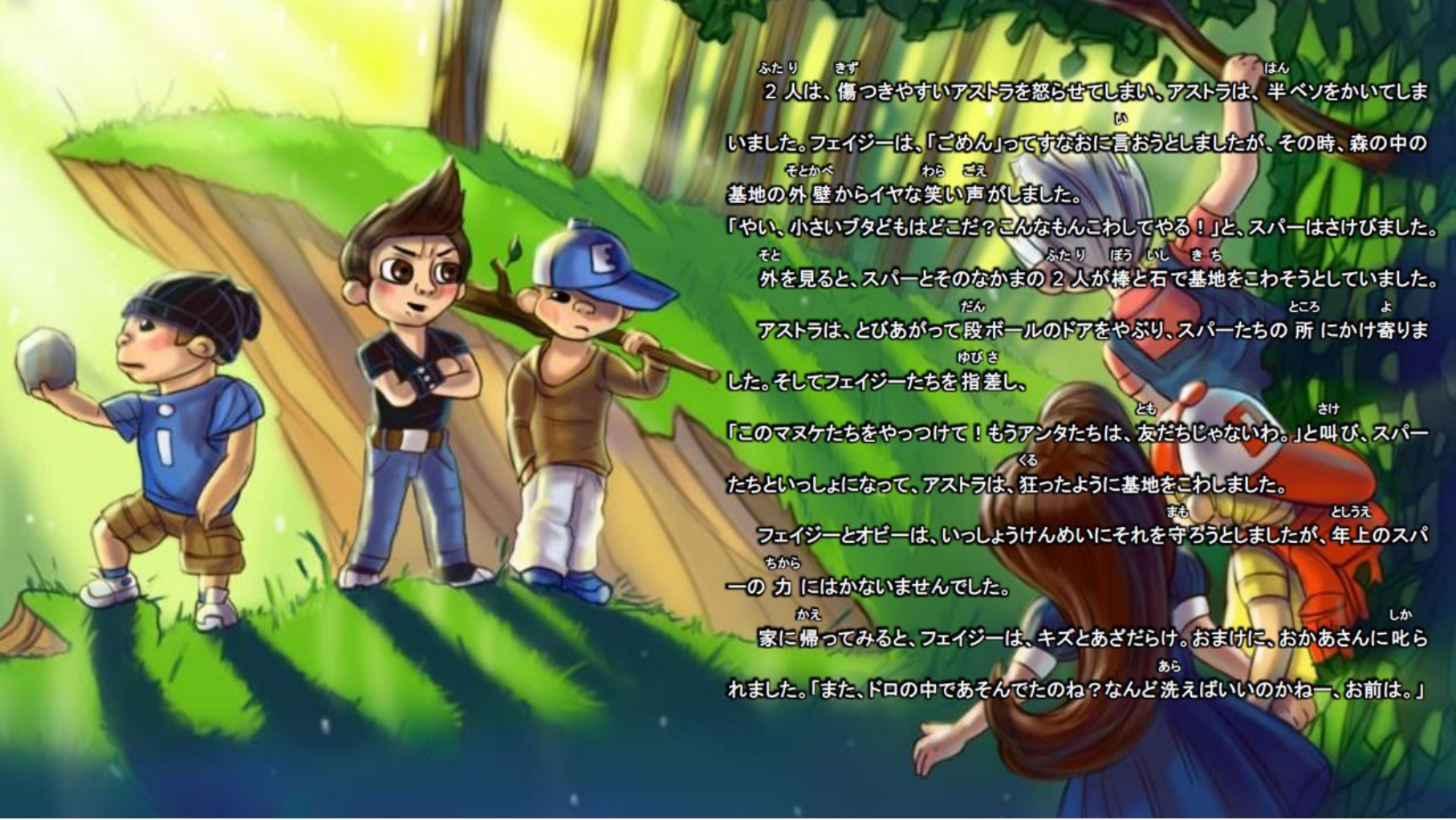
体を動かさなくて、ベッドから起きあがったり、寝がえったり、空 中に浮いたりするイメ

ージをするの。するとフワッと体から抜け出せて、行きたい所に行けるのよ。」

くうちゅう う すがた かお
アストラは空 中に浮く 姿 を見せようとしたのですが、とってもおもしろい 顔をしてし

まったのでフェイジーとオビーは、横っ腹をかかえてゲラゲラ笑い出しました。





ふたり きず

2人は、傷つきやすいアストラを怒らせてしまい、アストラは、半ベソをかいてしま

い

いました。フェイジーは、「ごめん」ってすなおに言おうとしましたが、その時、森の中の

そとかべ わら ごえ

基地の外壁からイヤな笑い声がありました。

「やい、小さいブタどもはどこだ？こんなもんこわしてやる！」と、スパーはさげびました。

外を見ると、スパーとそのなかまの2人が棒と石で基地をこわそうしていました。

だん とこよ

アストラは、とびあがって段ボールのドアをやぶり、スパーたちの所

ゆびさ

にかけ寄りま

した。そしてフェイジーたちを指差し、「このマヌケたちをやっつけて！もうアンタたちは、友だちじゃないわ。」と叫び、スパー

くる

たちといっしょになって、アストラは、狂ったように基地をこわしました。

まも としうえ

フェイジーとオピーは、いっしょうけんめいにそれを守ろうとしましたが、年上のスパ
一の力にはかきませんでした。

かえ

家に帰ってみると、フェイジーは、キズとあざだらけ。おまけに、おかあさんに叱ら

あ

れました。「また、ドロの中であそんでたのね？なんと洗えばいいのかねー、お前は。」





フェイジーが何を言ってもムダでした。

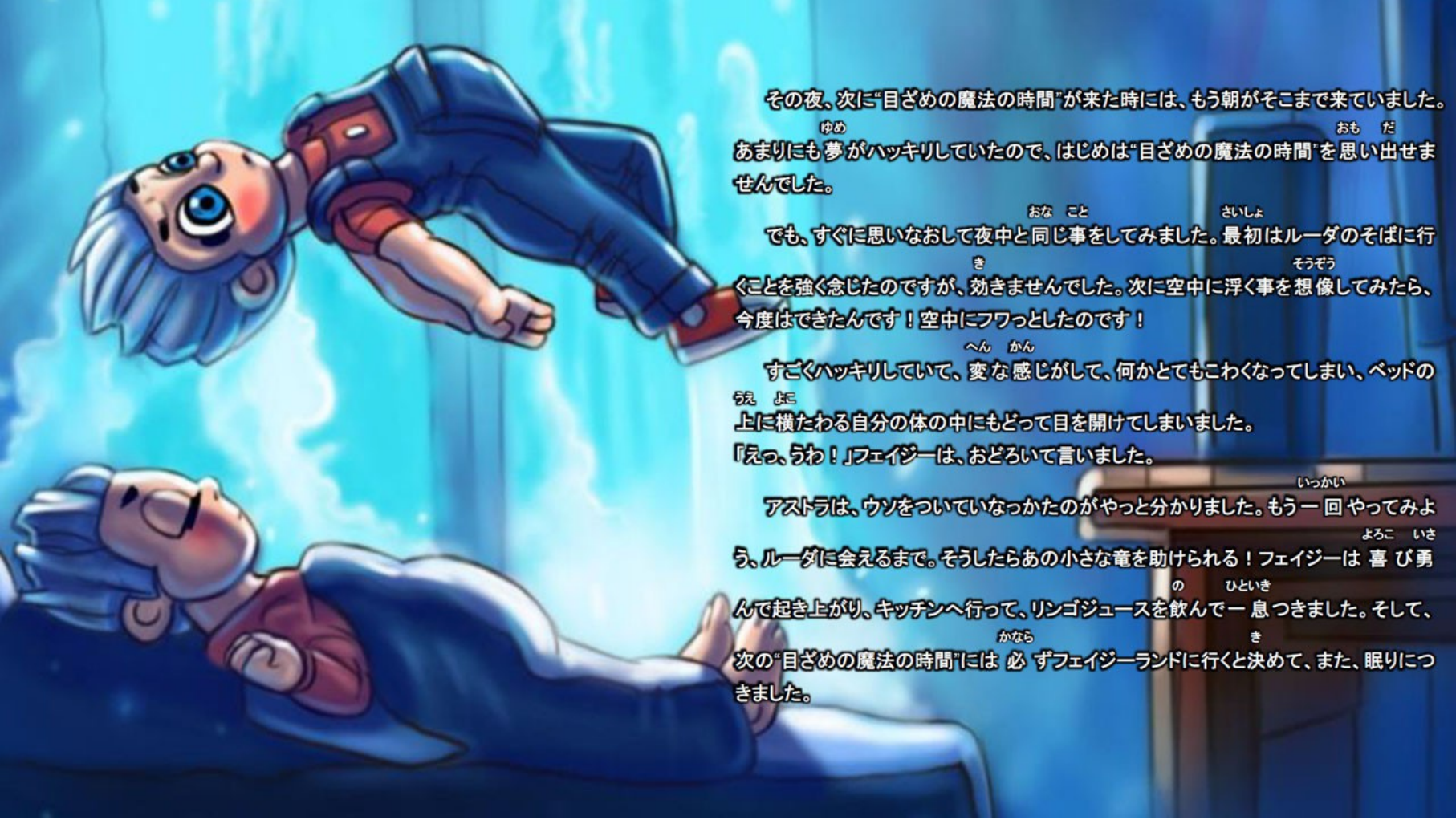
おとな
大人は、子どもの事を分かってくれません。フェイジーは、ムツとしてキズ口につい
ぐち
あら お
たドロを洗い落としました。そしてどうやってルーダを助けるかを考 えながら夕ご飯
かんが ゆうはん
を食べました。

夜ねる時には、“目ざめの魔法の時間”になにをするかをしっかりと思いえがいてか
ねむ はい よなか
ら、スーッと眠りに入りました。そして夜中に眠りがうすくなって目がさめかけた時、フ
そらぞら なに お
エイジーはすぐにルーダのそばにいる自分を想像しました。しかしどうやっても何も起
こりませんでした。

次に、アストラが言っていたように体を動かさず、ベッドから起きあがったり、寝がえ
ね
ったり、空 中に浮いたりする様子を思い描きました。しかし、どれも成功しませんでした。
くうちゆう ようす えが せいこう
た。

あきら つぎ
でも諦めません。また次に“目ざめの魔法の時間”が来た時にがんばることにしま
した。なんとしてでもかわいいそうな友だちを助けてあげなくてははいけません。





その夜、次に“目ざめの魔法の時間”が来た時には、もう朝がそこまで来ていました。

ゆめあまりにも夢がハッキリしていたので、はじめは“目ざめの魔法の時間”を思い出せませんでした。

でも、すぐに思いなおして夜中と同じ事をしてみました。最初はルーダのそばに行くことを強く念じたのですが、効きませんでした。次に空中に浮く事を想像してみたら、今度はできたんです！空中にフワとしたのです！

へん かんすごくハッキリしていて、変な感じがして、何かとてもこわくなってしまい、ベッドのうえ よこ上に横たわる自分の体の中にもどって目を開けてしまいました。「えっ、うわ！」フェイジーは、おどろいて言いました。

いっかいアストラは、ウソをついていなかったのがやっと分かりました。もう一回やってみよう、ルーダに会えるまで。そうしたらあの小さな竜を助けられる！フェイジーは喜よろこび勇いさんで起き上がり、キッチンへ行って、リンゴジュースを飲んで一息つきました。そして、次の“目ざめの魔法の時間”には必かならずフェイジーランドに行く決めて、また、眠りにつききました。





次に「目ざめの魔法の時間」が来た時、もう窓の外には太陽が上っていました。フ

エイジーはそのまま目を閉じて、ルーダの所とこにいる自分を心で強く思い描き続けました。フェイジーは、どうかしようとしているうちに、気がつけばほら穴の中に立っていました。

「やったー、できたー！」と、フェイジーは、おどろいて叫びました。

あたりを見回すと、そこは熱い溶岩の湖みまわ あつ ようがん みずうみでした。その湖の真ん中には島があ

って、その島の真ん中に疲れきったルーダが鎖つかにつながれて座すわっていました。

「あっ、やっと来てくれたんだ！助けて！」

「すぐ行く！」フェイジーは、スイスイと燃えたぎる溶岩をとび越えて走り、ルーダをつな

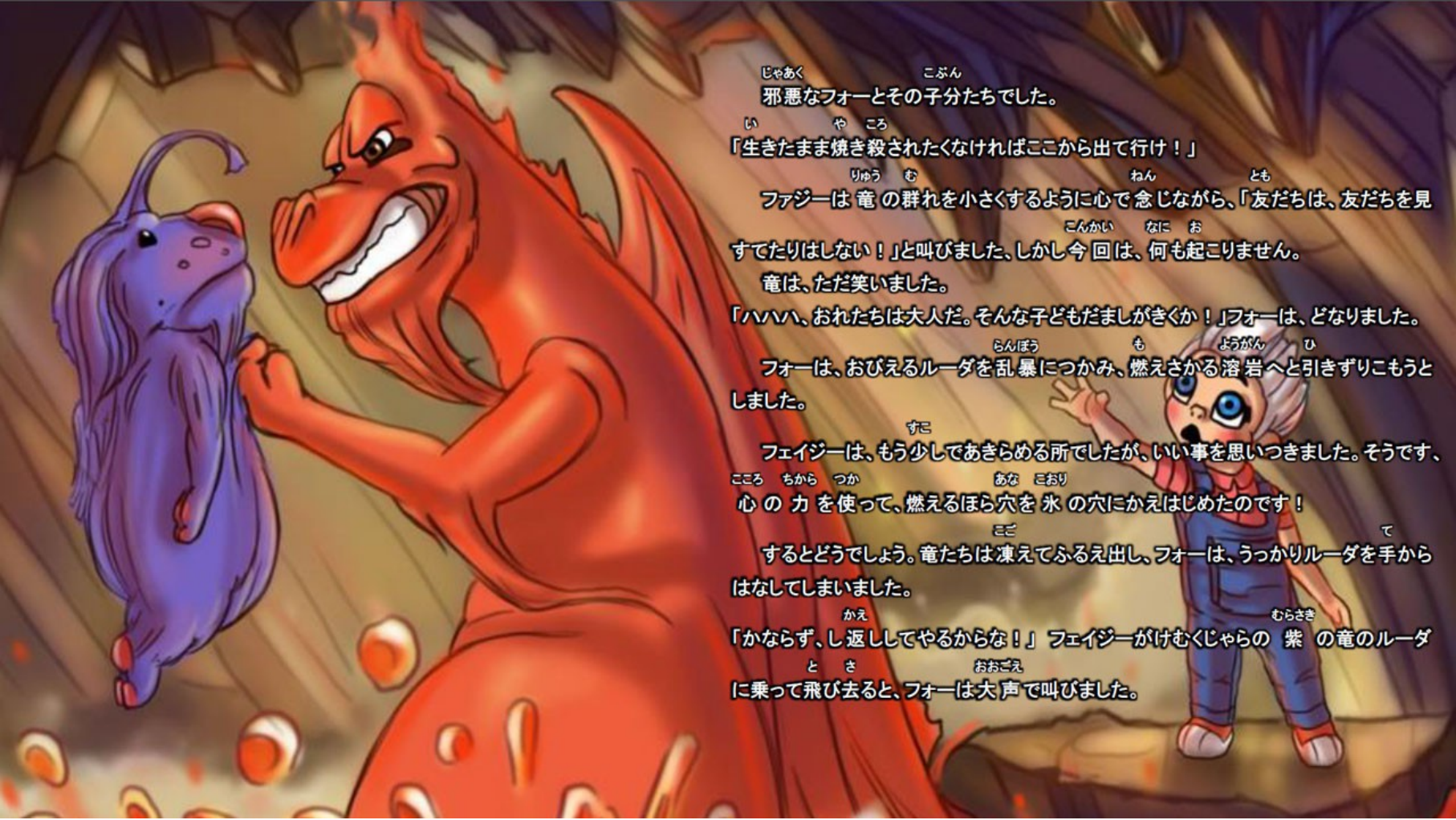
いでいる鎖を石で打ちはじめました。後もう少しと言う時に大きな溶岩のかたまりが

空中くうちゆうに浮かび上がりました。耳をつんざくようなおたけびと共に、メラメラとした火と共

に大きな竜りゆうがあらわれ、その後ろに小さな竜の群れうし むがあらわれました。がまんできな

いほど熱さが襲あつってきました。





じゃあく こぶん

邪悪なフォーとその子分たちでした。

い や ころ
「生きたまま焼き殺されたくなければここから出て行け！」

りゆう む ねん ども
フォーは 竜の群れを小さくするように心で念じながら、「友だちは、友だちを見

こんかい なに お
すてたりはしない！」と叫びました、しかし今回は、何も起こりません。

竜は、ただ笑いました。

「ハハハ、おれたちは大人だ。そんな子どもだましがきくか！」フォーは、どなりました。

らんぼう も ようがん ひ
フォーは、おびえるルーダを乱暴につかみ、燃えさかる溶岩へと引きずりこもうと
しました。

すこ
フェイジーは、もう少しであきらめる所でしたが、いい事を思いつきました。そうです、

こころ ちから つか あな におり
心の力を使って、燃えるほら穴を氷の穴にかえはじめたのです！

こご て
するとどうでしょう。竜たちは凍えてふるえ出し、フォーは、うっかりルーダを手からはなしてしまいました。

かえ むらさき
「かならず、し返してやるからな！」フェイジーがけむくじらの 紫の竜のルーダ
と さ おおごえ
に乗って飛び去ると、フォーは大声で叫びました。





こいぬ さむ
小ちやい竜はネコや子犬のように毛むくじやらだったので寒さはヘッチャラだったので
です。

き まんぞくげ
「これで、あいつらが来た時の逃げ場所が分かったよ。」ルーダは、満足気に言いまし
ゆき ふたり
た。雪のつもった大きな山のでっぺんでキャンプファイヤーをたいて、2人はそれを
か
囲んで座りました。つもった雪はみんなアイスクリームです。2人は、座りながらアイス
クリームをほおぼりました。

するととつぜん「フェイジー、アストラは好き？」と、ルーダがききました。
「だれ、アストラだって？そんな子ぜったい好きじゃないし…」

なかなま
「でもどうやったら、仲直りできるか知ってるよ、ほく。」
「いいよそんな事、べつに…」

けつきよ
まー、しかし友だちは、友だち。結局ルーダは、どんな女の子でもフェイジーと仲
おし
よくなりたくなっちゃう方法を教えました。

しあわ
朝になって起き上がり、フェイジーは幸せいっぱい、オートミールを食べながら
じょう
ルーダのアドバイスをどうやって実行するか考えていました。



マイケルおじさんからのメッセージ

親しんあい愛なるお友だちしょくん。これで君たちは困った友だちを助けて、食べたいだけ
アイスクリームを食べる方法が分かったろ？

忘わすれないで、これはヒ・ミ・ツ。

君たちが思い出さなきゃいけない一番いちばんたいせつ大切な事は、“魔法まほうの時間”さ。この時に、
フェイジーランドに簡かんたん単に行ったり来たりできるんだ。

分ぜんぶかったと思うけど、全部がすんなり行くと言うわけではないんだよ。フォーが出て
来たので、それはよく分かったんじゃないかな？フェイジーはまだまだやる事がいっぱい
あって、ルーダがそれを助けてくれる。アストラは僕らのヒーローとケンカしておこっ
てるけど、もちろん何とかなるだろうね。

さてさて、フェイジーランドと、ぼくらのヒーローがこれまで勉べんきょう強した事はわすれな
いでね。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com[®]

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com[®]



3

フェイジーランドのおとぎ話

スーパーヒーローになってどんな女の子ともな
かよくなる方法

(おやすみの前にお話してあげて下さいね。)

作～マイケル・ラドゥーガ

訳～中山利一

編集～近藤五百子

イラスト～アンドレイ・グッドコフ

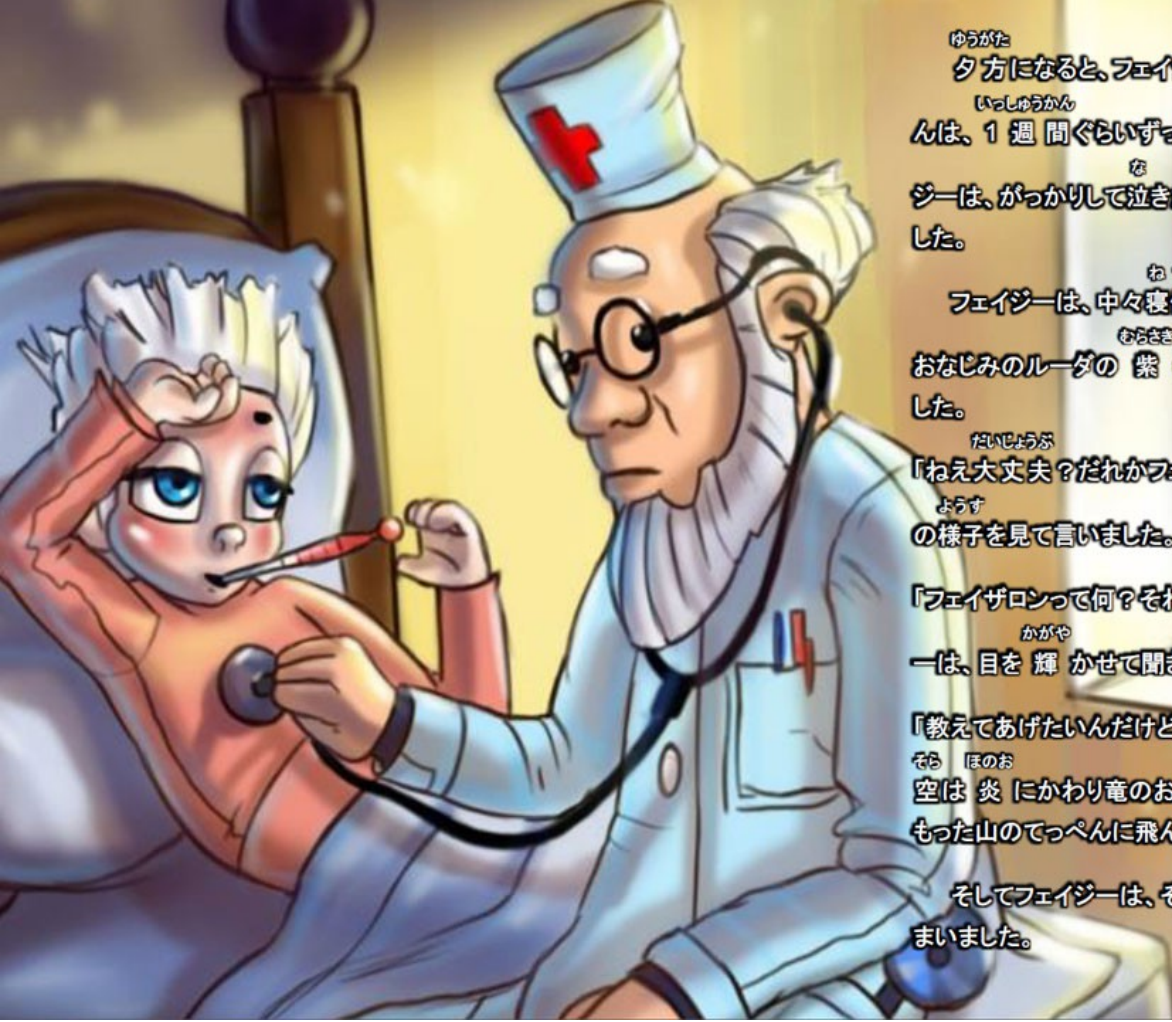
下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



あさ
フェイスは、朝からずっとウキウキしていました。それは、ずっとずっと楽しみに
たの
していた大好きな映画の続きが2日前に公開されたからです。その映画は、空を飛
と
ぶつかまえ こうかい
べるだけではなく、心の力で物の形をかえる事ができるスーパーヒーローの
ほなし
話
ミころ ちから もの かたち
でした。フェイスのお母さんは、もうその映画のきっぷを買っていました。
かあ えいが か
「だれと行くの？」オートミールをがっつきながら、フェイスは聞きました。
い
「これは、アストラとオビーのご両親といっしょに買ったから、みんなで行くのよ。」
りょうしん
このニュースは、フェイスをますます浮き立たせました。ルーダから特別に、仲
う た とくべつ なか
直りの方法を聞いているので、フェイスは、映画に行った時にアストラと仲直りする
な お き なかなお
ことに決めました。しかし、おもみこと
思っても見なかった事が起こることであるのです。フェイス
けいかく
は計画をあきらめなければなりませんでした。





夕方になると、フェイジーは熱が出てクシャミをいっぱい始めました。お医者さんは、1週間ぐらいつと寝ていなければならないと言いました。これを聞いてフェイジーは、がっかりして泣きたくなりましたが、強い男の子になりたかったのがまんじました。

フェイジーは、中々寝付けませんでした。うつらうつらしているうちに夢の中でのおなじみのルーダの紫の毛を見て、フェイジーランドの世界にいるのだと気がつきました。

「ねえ大丈夫？だれかフェイジーにフェイザロンをあげてよ。」と、ルーダは、フェイジーの様子を見て言いました。

「フェイザロンって何？それを飲んだらぼくは良くなるの？どこで手に入るの？」フェイジーは、目を輝かせて聞きました。

「教えてあげたいんだけど、またフォーをおこらせたくないんだよ。」と、言うが早いかな、空は炎にかわり竜のおたけびが聞こえて来ました。するとルーダはずばやく雪のつもった山のでっぺんに飛んで行ってかくれてしまいました。

そしてフェイジーは、そこがフェイジーランドだという事を忘れて、すっかり眠ってしまいました。





翌朝よくあさになってもフェイスくあい わるーは、具合あそが悪くて外に遊びに行けませんでした。
そこにオビーおびがこれ見よがしわものにフェイスおほーのおみまいおほにやってきました。

「この前の映画わものでさ、悪者おほをやっつけたおほの覚えてる？」、オビーはスーパーヒーローの
おもちゃへや と まわ しぐさを、部屋を飛び回る仕草やまをし、笑いながら話しかけました。

「それやまって、悪者に山を投げつけて埋めちゃったんだよね。悪者はそこから出て来るの
に1年かかったんだよね。」

「そう！それで今度は、オレこんどが一番いちばんノリで最新の映画を見るのさ。ハハハ。」
「ずるいよ！友だちえいがだろ、..！」おもちゃのスーパーヒーローを目で追いながらフェイス
ジーかえは言い返しました。

オビーともは、フェイスの友だちじぶんでしたが、オビーは自分が一番ノリで映画を見られる
のがうれしくてたまらないみまいのでした。お見舞えいがに来たのはもしかしたら、ひやかしそうぞうに来ただけかも、...。2人は、その映画のシーンを想像いちにちしながら、一日たつぷりとスーパーヒーローごっこえいごをしました。

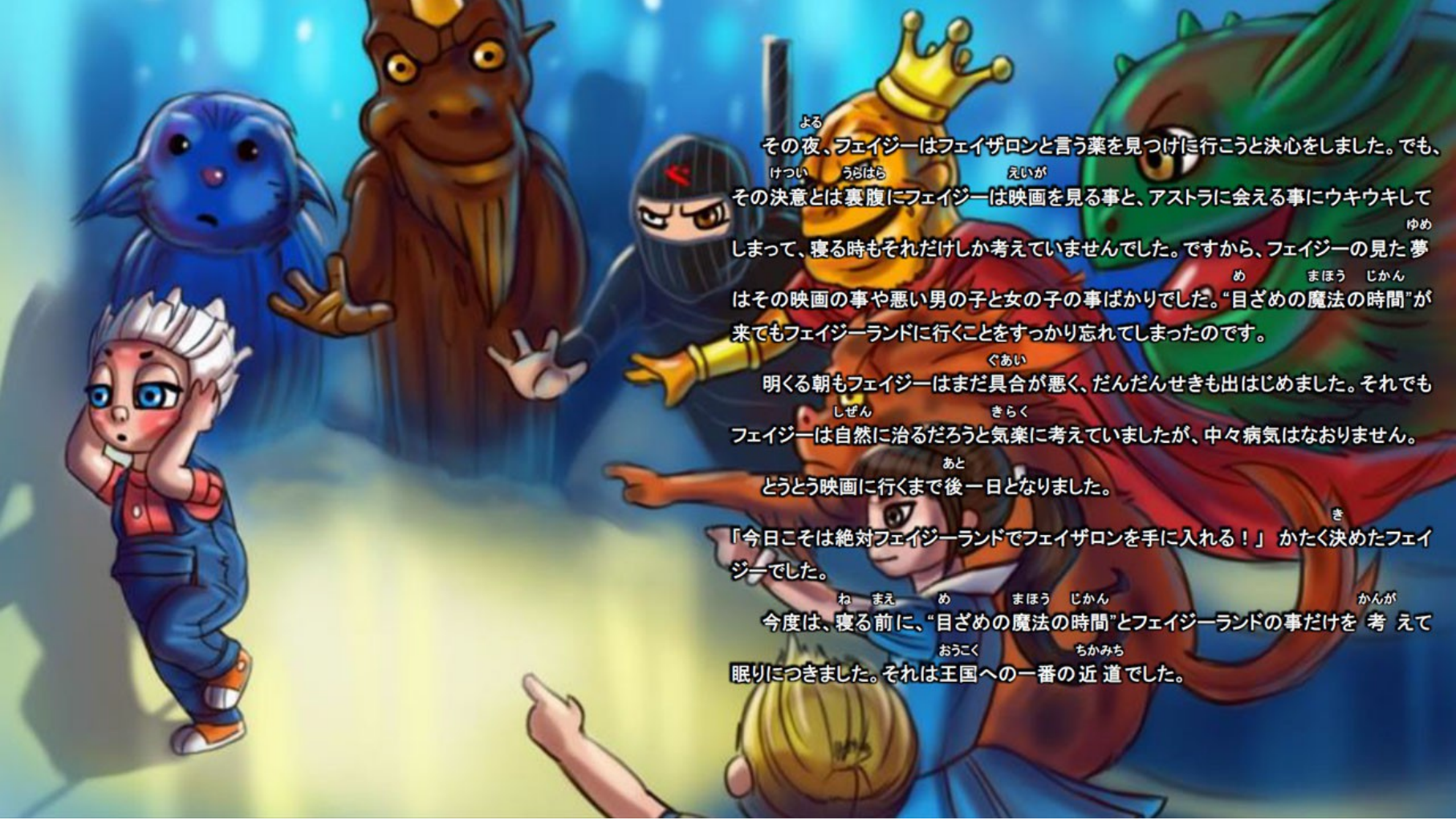






フェイジーは、フェイジーランドの話をしたかったのですが、オビーにバカにされて笑われるだけだと分かっていた。アストラだけが、フェイジーを分かってくれるのであ
す。フェイジーは、アストラに会えないのがとてもさみしくなりました。でも、仲直りしたく
てもフェイジーが思うようにはすんなりと仲直りできそうもありません。
ゆらがちか
夕方近くになってフェイジーのお母さんがかえってきて、なぜかオビーをすぐに家
に追い返してしまいました。
くすり じかん かあ
薬をのむ時間になって、フェイジーは聞きました。「母さん、フェイザロンくれる？」
なに
「何を言ってるんだらうねー、お前は？そんな名前の薬はないよ。」
なまえ
「どういう事、そんな名前のクスリはないって？」まだ、熱のあるフェイジーは、お母さ
へんじ
んの返事におどろきました。
き
そして、気づきました。その薬はフェイジーランドだけにあるので、こちらの世界では
せかい
誰も知らないんだと。だから、ルーダは、どこでそれを手に入れるか教えるのをこわが
し
っていたのです。フェイジーランドで竜が人間を助けたら、悪い竜のフォーが、怒るから
にんげん
です。





その夜、よるフェイジーはフェイザロンと言う薬を見つけに行こうと決心をしました。でも、

その決意とは裏腹にけついでフェイジーは映画を見る事と、アストラに会える事にウキウキしてゆめしまつて、寝る時もそれだけしか考えていませんでした。ですから、フェイジーの見た夢はその映画の事や悪い男の子と女の子の事ばかりでした。“目ざめの魔法の時間”が来てもフェイジーランドに行くことをすっかり忘れてしまったのです。

明るく朝もフェイジーはまだ具合が悪く、ぐあいだんだんせきも出はじめました。それでもフェイジーは自然に治るだろうと気楽に考えていましたが、しぜん中々病気はなおりません。

あとどうとう映画に行くまで後一日となりました。

「今日こそは絶対フェイジーランドでフェイザロンを手に入れる！」きかたく決めたフェイジーでした。

今度は、寝る前に、“目ざめの魔法の時間”とフェイジーランドの事だけを考かんがえて眠りにつきました。それは王国への一番の近道でした。おうこく





よなか その夜、夜中に目がぼんやりと覚めてきて、「目覚めの魔法の時間」がやってきまし

めざ まほう じかん
そうぞう た。フェイジーはすぐにフェイジーランドにいる事を想像しました。しかし、何回 やって

くうちゅう う もうまく行きません。次に、寝がえりや空 中に浮くイメージもためしましたが、うまく行き

えが ませんでした。最後に、心の中で自分が立ち上る事を思い描いた時、ようやくうまくい

めざ まほう じかん きました！さすが“目覚めの魔法の時間”です！

とっこうやく フェイジーは、ルーダが教えてくれた特効薬、フェイザロンを探しにでかけました。

しかし、それはどこに…？

や はや きっとそれはフェイジーランドのくすり屋さんにあるはず。それを早く見つけるため

くうちゅう と に、フェイジーは、空 中を飛び始めました。。

さけ やね と こ 「ぼくは、スーパーヒーロー！」そう叫ぶとスイスイと屋根を飛び越えて行きました。

きんじょ ご近所の上を飛んでいると、くすり屋さんを見つけたので、そこに向かって行きました。

しかし、そのくすり屋さんの前に降り立つと、暗くなっていて、何も見えませんでした。

しゅんかん 次の瞬間、フェイジーランドは消えてしまい、フェイジーは、家のベッドの上で目を

を覚ましました。これには、ビックリ。





せいりょう

フェイジーはあともう少しで成功する所でした。くやしかったのもう一回やって見ようと思いました。それからもう三回ほど“目覚めの魔法の時間”ありましたが、残念ながら何も起こりませんでした。それでも諦めずにその次の“目覚めの魔法の時間”で、くすり屋さんあきらにいるところを強く心に思ったところ、ようやくフェイジーはフェイジーランドの中のくすり屋さん行く事ができました。

「中は暗いから、物がよく見えなかったら、全部部手にとって触ってみて。よく、よく見てみて。」どこからともなくあらわれたルーダが、教えてくれました。「あ！来てくれたんだ！」フェイジーは、よろこんで友だちを抱きしめました。

2人は、カウンターに行って、フェイザロンがあるかたずねました。でも、そこにはくすりさんの代わりに、フォーのバカでかい頭あたまがあったのです！「ハハハ、フェイザロンなんぞやるものか！お前にやるフェイザロンはない！」ビックリした2人は、カウンターから飛び離れました。するとまた、部屋がどンドンぼやけて来ました。

フェイジーは、このままでは映画に行けず、アストラにも会えないと思うと、とても腹が立って来ました。





じゆんかん その瞬間、フェイジーは先ほどルーダの言った事を思い出し、自分の両手をよー

りょうて く、よく見てみました。手をじっとみつめ、手と手をこすり合わせてみると、ぼんやりと
あ
消えかかった光景が、はっきりと戻ってきました。

みせ フェイジーは、ルーダにつかまって、店の外に飛びたちました。
「すごいちからだ！ぼくってスーパーヒーロー！」

フォーも、フェイジーの後をピッタリとつけて、店の外に飛び出して来ました。

フェイジーには、いい考えがありました。フェイジーは、心の力を使って、町のはず
つか まち
れにある大きな山を持ち上げて、フォーに投げつけたのです。

した 「やったー！あの下から出るのは、タイヘンだぞー！」ルーダが喜んで言いました。
よろこ

そして、フェイジーは手をさし出し、自分がフェイザロンを手に入れる姿を想像しま
そうぞう
した。するとどうでしょう。突然「フェイザロン」とラベルのついた金色の箱がポトンとあ
とつぜん きんいろ はこ
くすり
らわれました。薬をのむと、フェイジーはたちどころに良くなりました。

そして、この2人のスーパーヒーローは、フェイジーランドの上を長い間飛び回りました。
なが あいだ





つぎ

次の朝、ベッドから起き上がってみると、フェイジーはすっかり気分が良くなってい

きぶん

ました。もちろん、お医者さんは映画に行っていていいと言ってくれました。逆にオピーが
びやく
病気になるてしまい、フェイジーだけがアストラと映画に行く事になりました。

じよし

「女の子には、シラミがいるぞー！シラミ女子！」アストラの長いかみを引っぱってフェ
おおごえ
イジーは大声で言いました。何とこれがルーダのくれた、どんな女の子とも仲良くな

なかよ

れるというアドバイスだったのです。アストラは、最初ものすごく怒り、追いかけて来ま
おこ
したが、追いかっこしているうちに、2人はふざけ出しとうとう笑い出していました。

えいが

いよいよ映画がはじまりました。映画を見ている人たちはみんな、スーパーヒーロー
ーは映画の中だけにしかないと思っています。でもフェイジーとアストラだけは、ほん
とうの事を知っているのです。本当はだれでもスーパーヒーローになれるという事を。

ごえ

その時、フェイジーランドの大きな山の下から大きなうなり声が聞こえて来ましたー

とお なかま

たお

「必ず仕返してやる、、、遠くの仲間にしたので、、、お前たちを倒す！」



マイケルおじさんからのメッセージ

親愛なるお友だちしょくん。絶対にあきらめちゃいけないのは、知ってるよね？
無理だと思ふ事でも手に入るチャンスはいつでもあるのさ。フェイジーはどうやったらス
ーパーヒーローになれるか、お手本を見せてくれたよね。フェイジーのように、フェイジ
ーランドでは空を飛べて、見つめるだけで山は動かせるんだよ。アイスクリームをたら
ふく食べられるだけじゃなくて、フェイジーランドでは自分の病気は自分で治せるよ。新
しい冒険が、フェイジーを待ち受けている。さあ君たちも、魔法の国、フェイジーランド
に行くための“目ざめの魔法の時間”の使い方を忘れないでくれたまえ。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®



4

フェイジーランドのおとぎ話

そらと えんぼん うちゅうりょこう うちゅうじん ゆうかい
空飛ぶ円盤の宇宙旅行と宇宙人の誘拐

(おやすみの前にお話してあげて下さいね。)

作～マイケル・ラドゥーガ

訳～中山利一

編集～近藤五百子

イラスト～アンドレイ・グッドコフ

下のアドレスで 10 のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



いちどうしよう こと きも
一等賞になる事、そして人ができない事をするのは、とても気持ちのいいもので

す。フェイジーがしているような冒険ぼうけんはほとんどの人は経験けいけんする事ができないので、

フェイジーは、ちょっと自慢じまんしたい気分になってきました。

「お母さん、フェイジーランドのオートミールよりもこれの方がずっとおいしいよ！」フェ

イジーは、いつも夜の冒険ぼうけんの事を話はなしたくてウズウズしていたので、ついついこんな
事を言ってしまったのです。

「また、その夢ゆめの話ね・・・」

「夢なんかじゃないよ。フェイジーランドは本当ほんとうにあるんだから、ほくはあそこでやりたい
事はなんでもできるんだよ。」

「フェイジーランドなんて所はやたはないんだよ。さあ、さっさと早く食へやべて部屋をかたしてちょう
うだい。」

こまった事ことに、フェイジーを信しんじて分わかってくれる人はほとんどいませんでした。こ
れは、フェイジーのお母さんだけではなくて、一番仲なかよしのオビーもそうでした。

でも実は、オビーもすごく不思議ふしぎな体たい験けんをしたことがあったのです。





ある日、オビーはある宇宙旅行のアニメを見た後にいつもように眠りにつきました。

でもおどろいた事に、夜中に目が覚めた時におそろしい物を見してしまったのです。

部屋の中に一つ目で、腕が一本しかない頭でっかちの緑色の宇宙人が2人いたのです。

「ウー！」と叫び、宇宙人たちがオビーを脅かしました。

「さわるな！」オビーは叫びました。

オビーは、自分よりも大きい宇宙人をなぐってやりたいと思いましたが、手と足がしっかりとしばられているのが気がつきました。

すると、窓の外の空に浮いている空飛ぶ円盤から、突然まぶしい光がやって来ました。光は、オビーを持ち上げて宇宙船の中に引きこんでしまいました。

緑色の宇宙人は、オビーを1晩宇宙船に閉じこめました。宇宙人はオビーが泣き出すほどくすぐったり、つねったり、ものすごくこわい顔をして脅かしました。





あきち くち あ き
次の日、空き地の子どもたちは、口をポカーンと開けてオビーの話の話を聞きました。
「かわいそう・・・」とオビーに同情する子どももいましたが、ほかの子どもたちはスパ-

わら
のように、笑い出しました。

「ハハハ！ウソツキ！」

「ほんとだぜ！」オビーは必死です。

うそ
「嘘言な！ぶっ飛ばしてやる！」そう言ってあやうくオビーに飛びかかろうとしたスパ
と
ーを、アストラが止めました。

とした
「年下をいじめるなんてサイテー、はずかしくないの！こんなにこわがってるじゃない
の！」

「まー、そう言うんだったら、このちっせーバカどもとあそべ！オレは、あたらしいヘリコ
プター飛ばすからよー！」と言うと、らんぼう者のスパーはアストラをフェイジーの方へ
ほう
へと
突き飛ばしました。

き とたん わす
ヘリコプターと聞いた途端、男の子たちはみんな宇宙人の事は忘れて、ウキウキ
のこ
とスパーについて行ってしまいました。残ったのは、フェイジーとアストラとオビーだけ。

ふしぎ にん けっしん
この不思議な宇宙人の話がどうい事なのかつきとめようと、3人は決心しました。

こんな事って本当に起こるのでしょうか？





おな
オピーはちょうど同じような話を、アニメの中で見た事を思い出しました。

ゆうれい おも だ
アストラは、夜中に幽霊を見た事を、思い出しました。

こえ
「なんかあやしいなー。」と、フェイジーは、大きな声で言いました。

しず はなし
アストラは、いつものように静かに話 はじめました。

よ なか ふしぎ うちゅうじん きゆうけつき おとこ ゆうれい せかい
「この世の中は不思議な事だらけ。宇宙人、吸血鬼、オオカミ男と幽霊 … 世界にはこわいものがいっぱいあるわ。テレビでやってた。」

「オレもテレビで見た事がある。」オピーが言いました。

この時に、フェイジーはひらめきました。

ぜんぶ よる
「全部、夜に起こってる。もしかしたら、オピーはフェイジーランドに知らずに行っちゃっ

わる りゆう しわざ
たんじゃないの？ 悪い竜のフォーの仕業かも…？」フェイジーはだまって考えました。

たし うたが ぶか
フェイジーは、この自分の考えを確かめてみて、疑い深いオピーにフェイジーラ
き
ンドの事を信じてもらおうと決めました。





さいしょ

最初の夜、フェイジーは、フェイジーランドに2回行きました。しかし、2回とも、ル

かい

えんぱん
ーダのせいで円盤の事はすっかり忘れてしまいました。円盤のかわりに、あっちこつ
ちでアイスクリームを食べて、空の旅を楽しみながらフェイジーランドの色々な所を

た たび たの いる ところ
見て回りました。その時やっとフェイジーは空飛ぶ円盤の事を思い出しました。

そらと えんぱん

うちゅうじん
「ルーダ、宇宙人はどうやったら見つかるの？」

「一つの方法は宇宙に飛び出しちゃう事。もう一つはフェイジーランドでドアを見つけて、

も ところ えが あ
「ドアの向こうに宇宙人がいる」と心に描いてごらん。そしたら会えるよ。」アイスクリ
ームをペロペロしながらルーダは説明しました。

やま したじ

しんぱい

竜のフォーは、まだ山の下敷きになっているのでルーダは、フォーに心配する事
もなくてフェイジーを手伝う事ができました。

あ
フェイジーはすぐにも飛んで行って、宇宙人と会ってみたかったのですが、ストロ
ベリーアイスクリームを食べている間に、フェイジーはすっかり深く寝込んでしまってフ
ェイジーランドから出て行ってしまっていたのです。

ふか ねこ





つぎ ひ こご ひるね つか
次の日、フェイジーは午後のお昼寝の時に、“目ざめの魔法の時間”を使ってみる

こと からだ うご
事にしました。お昼寝に入ってウトウトして来たところで、体 を動かさずに心の力で起

へや
き上がる様にイメージしたら、フェイジーランドの中の部屋に行く事ができました。部屋

そらと えんぼん
のドアを開けると、フェイジーの目前に空飛ぶ円盤の Cockpit がひろがりました。そ

えんぼん そうじゆうせき にぎ ほし わくせい あいだ ひかり
じて、フェイジーは円盤に乗り、操縦席でハンドルを握り、星や惑星の 間 を 光

はや
の速さで飛びまわりました。

あ、あぶない……！円盤が、もう少しで星にぶつかるというその時、

だれ うし
「そこにいるのは誰だ？」と、とつぜん後ろで声が聞こえました。

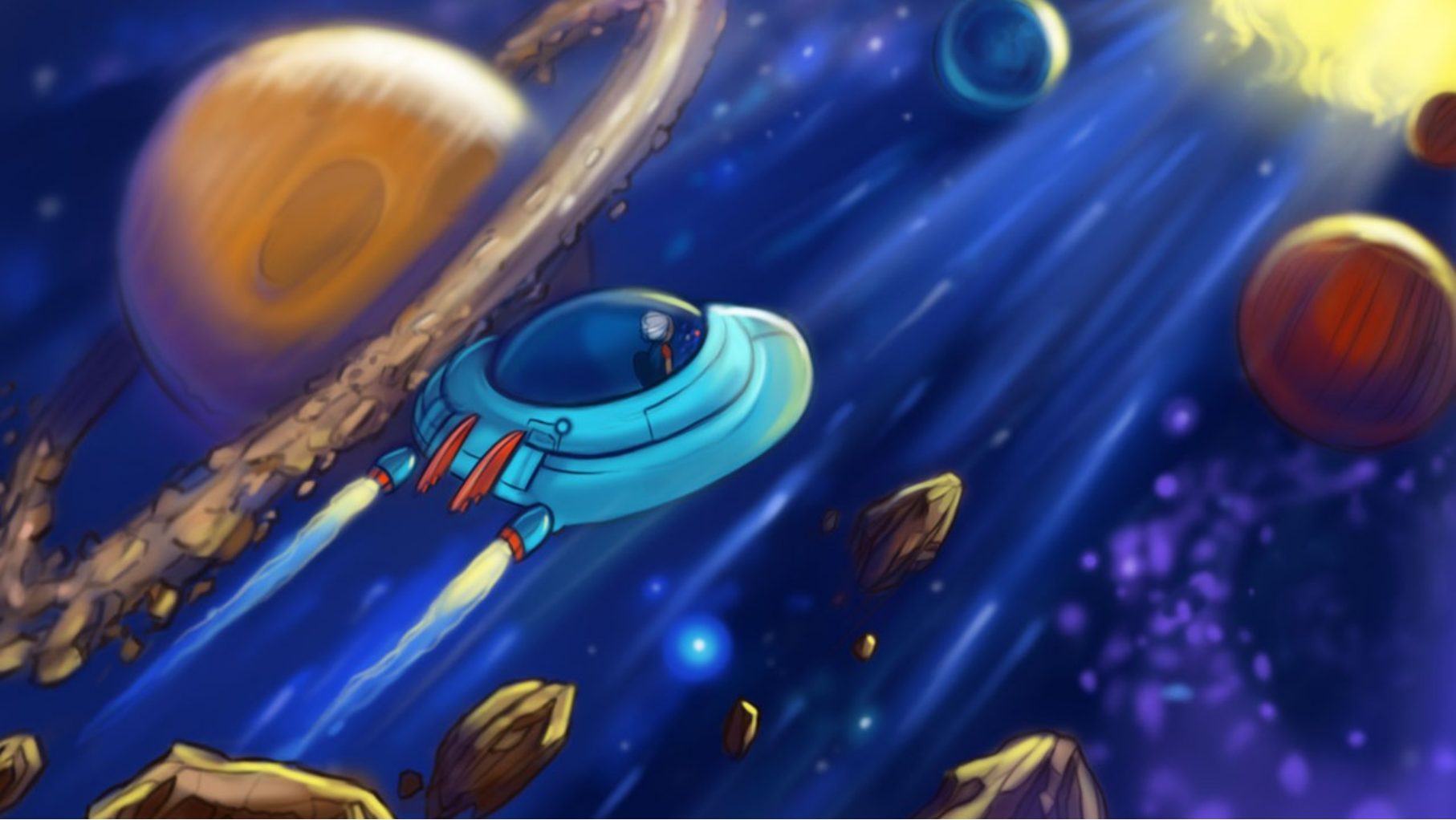
うちゆうじん
「アンタ(君)が、ぼくの友だちのオビーをさらった宇宙人か？」 フェイジーは、眠そうな

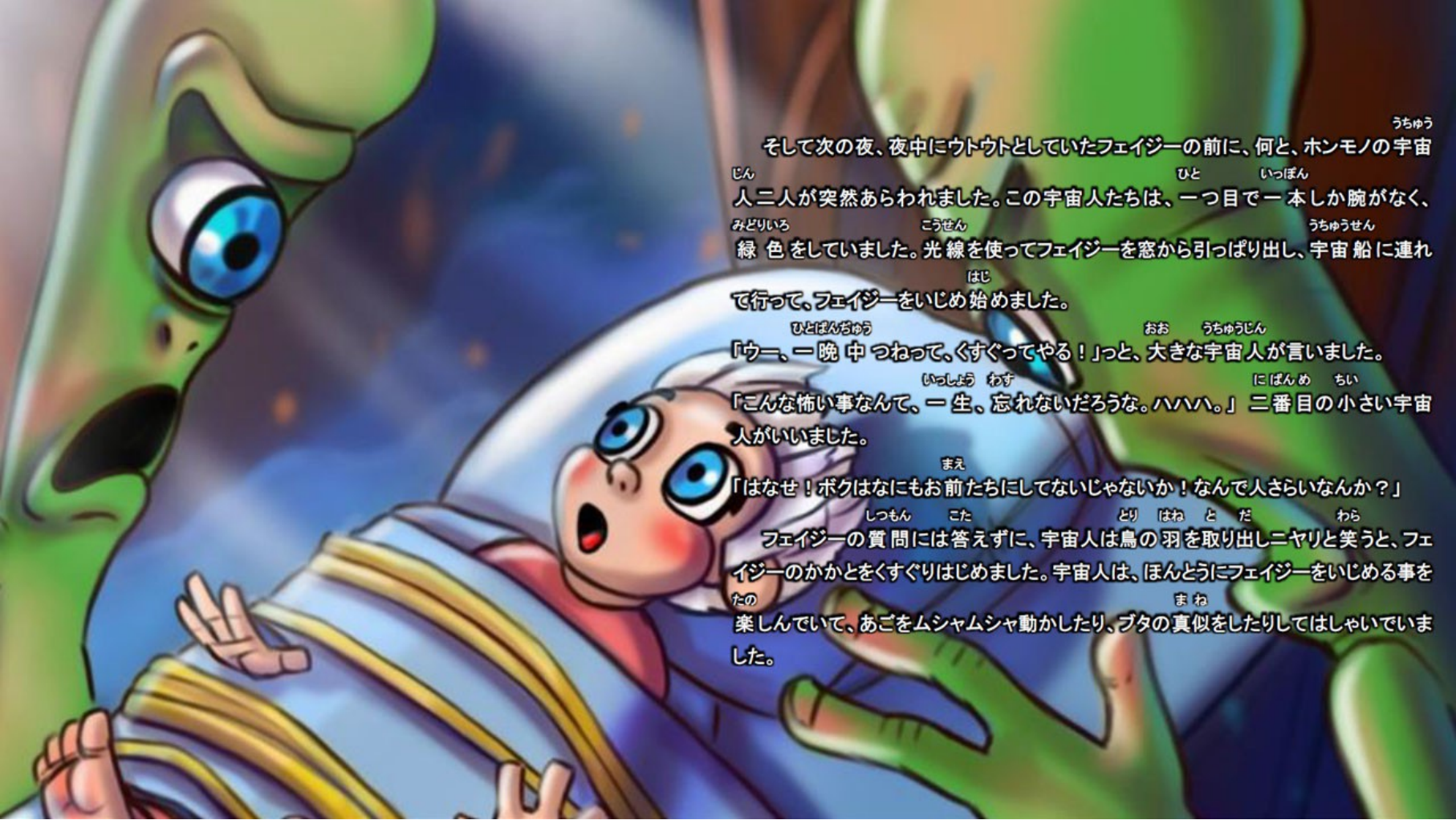
ほんうで あお
顔をしている3つ目で3本腕がある青い宇宙人にききました。

ざんねん やさ ようき
残念ながらこの宇宙人たちは人ちがいでした。この宇宙人たちは、優しく、陽気

まわ
な宇宙人で、フェイジーを円盤にのせたまま、もっとほかのところを飛び回ってくれまし

た。





そして次の夜、夜中にウトウトとしていたフェイジーの前に、何と、ホンモノの宇宙
人二人が突然あらわれました。この宇宙人たちは、一つ目で一本しか腕がなく、
緑色をしていました。光線を使ってフェイジーを窓から引っぱり出し、宇宙船に連れ
て行って、フェイジーをいじめ始めました。

「ウー、一晩中つねって、くすぐってやる！」と、大きな宇宙人が言いました。
「こんな怖い事なんて、一生、忘れないだろうな。ハハハ。」二番目の小さい宇宙
人がいいました。

「はなせ！ボクはなにもお前たちにしてないじゃないか！なんで人さらいなんか？」
フェイジーの質問には答えずに、宇宙人は鳥の羽を取り出しニヤリと笑うと、フェ
イジーのかかとをくすぐりはじめました。宇宙人は、ほんとうにフェイジーをいじめる事
を楽しんでいて、あごをムシャムシャ動かしたり、ブタの真似をしたりしてはしゃいでいま
した。





よこ ばら
フェイジーは、すごくすぐたくて、笑いすぎて横っ腹がはりさけそうになりました。

うちゅうじん
小さい宇宙人は、フェイジーをつかんで言いました。「フォーがよるこぶぜ！」

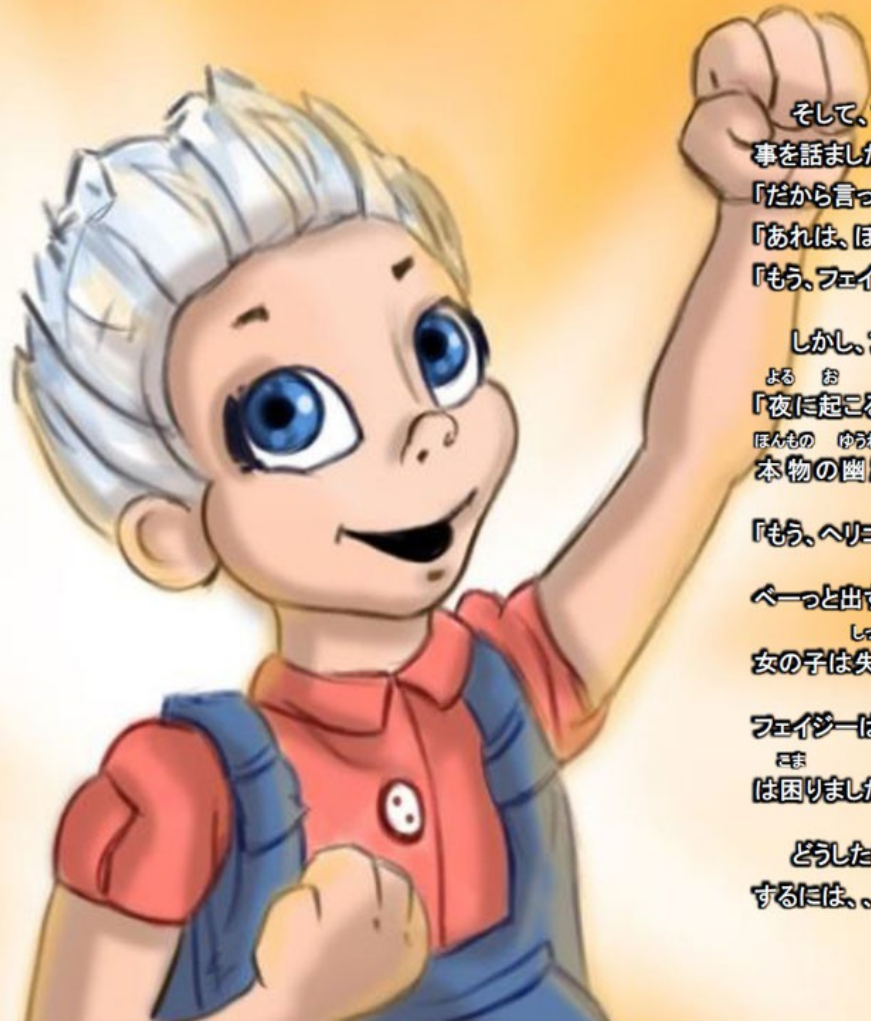
く
それを聞いて、大きい方の宇宙人が小さい方の一つ目にパンチを食らわせました。
「フォーだって？」フェイジーはすかさずたずねました。

き はね
「聞こえちゃったか。」宇宙人たちが羽でくすぐりながら言いました。

その時、フェイジーはフェイジーランドにいた事に気づきました。もしそうだとしたら、
フェイジーは、すべてをコントロールできるはずです。

しば つ ころ き
フェイジーは縛り付けているローブを、心 の力で切ってしまいました。この宇宙人
なぐ きゅうめいえんばん の に
たちを殴ってやりたかったのですが、宇宙人たちは救命円盤に乗って逃げようと
ひ うちゅうせん
しました。フェイジーは2人の宇宙人をレーザーで引きずり出して宇宙船に乗り込み、長
い時間宇宙を飛び回りました。





そして、また次の日、フェイジーは、友だちに向かって自分の考^{かんが}えが正^{ただ}しかった事を話しました。

「だから言ったじゃないか、オビーはフェイジーランドにいたんだよ！」

「あれは、ほんとうにあった事だよ！」まだ信じられないオビーは言いました。

「もう、フェイジーランドにこだわりすぎ！」アストラが言いました。

いっぽ
しかし、フェイジーは一步も引きません。

よる お
「夜に起こるヘンテコな事や、こわいやつは、みんなフォーと子分たちの仕業なんだ。
ほんもの ゆうれい
本物の幽霊や、宇宙人じゃないんだ！」

「もう、ヘリコプターを見ていた方がマシよ。つきあいきれないわ！」アストラは、舌を
しな
べーっと出すと、おどろき顔のフェイジーとオビーを置いてどこかに行ってしまいました。

しっぱい い かえ
女の子は失敗したり、言い返す事ができなくなった時、よくこんな事をするのですが、

きも
フェイジーはまだ小さかったので、アストラの気持ちが分かりませんでした。フェイジー
こま
は困りました。

おこ なかなお
どうしたらいいんだろう？またアストラを怒らせてしまった。アストラとまた、仲直り
するには、。。。



マイケルおじさんからのメッセージ

しんあい とも きみ いま

親愛なるお友だちしょくん。君たちは、友だちを言い負かしたらその友だちが逃げ

ちゃう事を知っているよね。自分が、正しいと知っていても仲のいい人とケンカをする
なか

とき じゅうぶん き
時は、十分気がつけた方がいいぞ。

ぼうけん

フェイジーの冒険のおかげで夜におこる、こわーいお話がどこから来るのか分
く
かったよね。そう、フェイジーランドからさ。

ひるね

それから、フェイジーランドに行くのは夜だけじゃなくて、昼寝の時にも行けると分
わ
かっただろ。どこかに行きたいとか、だれかに会いたい時は、フェイジーランドでドアを
見つけて、ドアの向こうにいると心に思うだけでじゅうぶんなんだ。

あたら

ま

新しい冒険が、フェイジーとその友だちを待っている。さあ、宇宙船であそんで、
むげん ひろし うちゅう ほし と
無限に広い宇宙にある星に飛んでおいで！



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®



5

フェイジーランドのおとぎ話

おそろしいお墓の冒険と秘密の待ち合い場所

(おやすみの前にお話してあげて下さいね)

作～マイケル・ラドゥーガ

訳～中山利一

編集～近藤五百子

イラスト～アンドレイ・グッドコフ

下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



つく だいす じつ
フェイジーはお母さんの作るオートミールが大好きな事は有名でしたが、実は、おばあちゃんが作るアップルパイの方が、もっともっと好きだったのです。

とお いなか す
フェイジーのおばあちゃんは、遠い田舎に住んでいて、フェイジーはおばあちゃんに会うのをいつも楽しみにしていました。もちろん、パイだけじゃなくおばあちゃんも大好きでした。

きょう はや かえ あした
「フェイジー、今日は、早く帰ってらっしゃい。明日おばあちゃんの所へ行く、、、」とお母さんがテーブルの上を片付けながら言うが早いか、

あつ
フェイジーは「やったー！」と叫び、大好きなおもちゃを集めはじめました。

だいごぶつ かんが
フェイジーは、大好物のアップルパイの事を考えながら、おばあちゃんの家に行く準備を始めました。おばあちゃんは、おとぎ話をしてくれたり、フェイジーが小さく
じゆんび ばなし
かった時のおもしろい話をしてくれたりしてくれて、とても優しいのです。でも、夕方
ちか なに お
近くになって、何かが起こりました。





フェイジーのお母さんは、おばあちゃんがとつぜん^{ほか せかい}他の世界へ行ってしまったと告^つ

げました。でも、フェイジーには、何の事だか分かりません。

「それで、おばあちゃんは、いつもどってくるの？」

「フェイジー、おばあちゃんは多分^{たぶん}、もうもどって来ないわ。」と、お母さんは答えまし^{また}

た。お母さんは、ただただ、ウーンウーン泣いていました。

その夜、フェイジーは、フェイジーランドにやっ^きて来^{くら}ました。暗い森のなかをルーダ^{もり}と歩いている時、フェイジーは、この小さな^あ竜^{ちい}におばあちゃんの話^{りゆう}をしました。

「ルーダ、どう思う？もう、おばあちゃんに抱きついたり、パイを食^{おも}べられ^だないって、

本当^{ほんとう}の事^{こと}だと思う？」

「普通^{ふつう}はそうだね。……でも、君^{きみ}はちがう。よく考^{かんが}えてごらん。」ルーダは、奇妙^{きみょう}な事^{こと}を言^いいました。

すると、急^{きゆう}に空^{そら}が炎^{ほのお}にかわり^{かわ}りました。きつと竜^{りゆう}のフオーが、またもや人間^{にんげん}をたず^{たず}助けようとしているルーダに感^{かん}づいたにちがいありません。ルーダは、すばやく雪^{ゆき}のつもった山^{やま}の上^{うへ}にかくれてしまいました。

フェイジーは眠^{ねむ}りから覚^さめた後^{のち}もしばらくルーダの言^いった事^{こと}の意味^{いみ}が分^わらず、考^{かんが}えていました。





いちにちめがう し
次の日は一日中、フェイジーとオビーは、死んだ人がどこに行つて、死ぬ事はど
ういう事なのか考えていました。

ひこうき の く
「たぶん、死んだ人は、飛行機に乗ってあたたかい国に行くんじゃないか？」オビーが
言いました。

あ
「じゃー、なんで普通の飛行機の中で死んだ人と会えないの？」
い さき み
「バツカだなー、フェイジー。死んだ人は行き先を言わないのにどうやって見つけれら
るんだよ？」

り いま
2人は、アストラに聞きたかったのですが、今アストラは2人とは目もあわせないので、話
ができません。

いぜんため かみ け ほうほう
そこでフェイジーが、以前試した髪の毛を引っばる方法をまた試してみたのです
く
が、何とフェイジーは突然スーパーからパンチを食らってしまいました。どうやら、今のア
いちばん なか よう こうか うご
ストラの一番の仲よしは、スーパーの様です。スーパーは、高価なりモコンで動くヘリコ
あか じてんしゃ
ターと赤い自転車で、アストラの気をひいているんです。





とつぜんき ふしぎ
2人には、人がただ突然消えてしまうと言うのが不思議でなりません。

えいえん
「何でだろう。」フェイジーはどうして人が永遠にいなくなってしまって、なぜお母さんも
かな
みんな悲しんでいるのが分かりません。

あ ほうほう ぜったい
「おばあちゃんに会える方法があるはずだ！絶対にどこかでまたあのアップルパイを
た
食べられるはずだ！」

「うそつけ！みんな言ってるだろ、お・わ・り・。すべてはおわりなんだ。ばーちゃん
はいないし、パイももうない！」

「うそだ！」

「お前のフェイジーランドこそウソだ！」

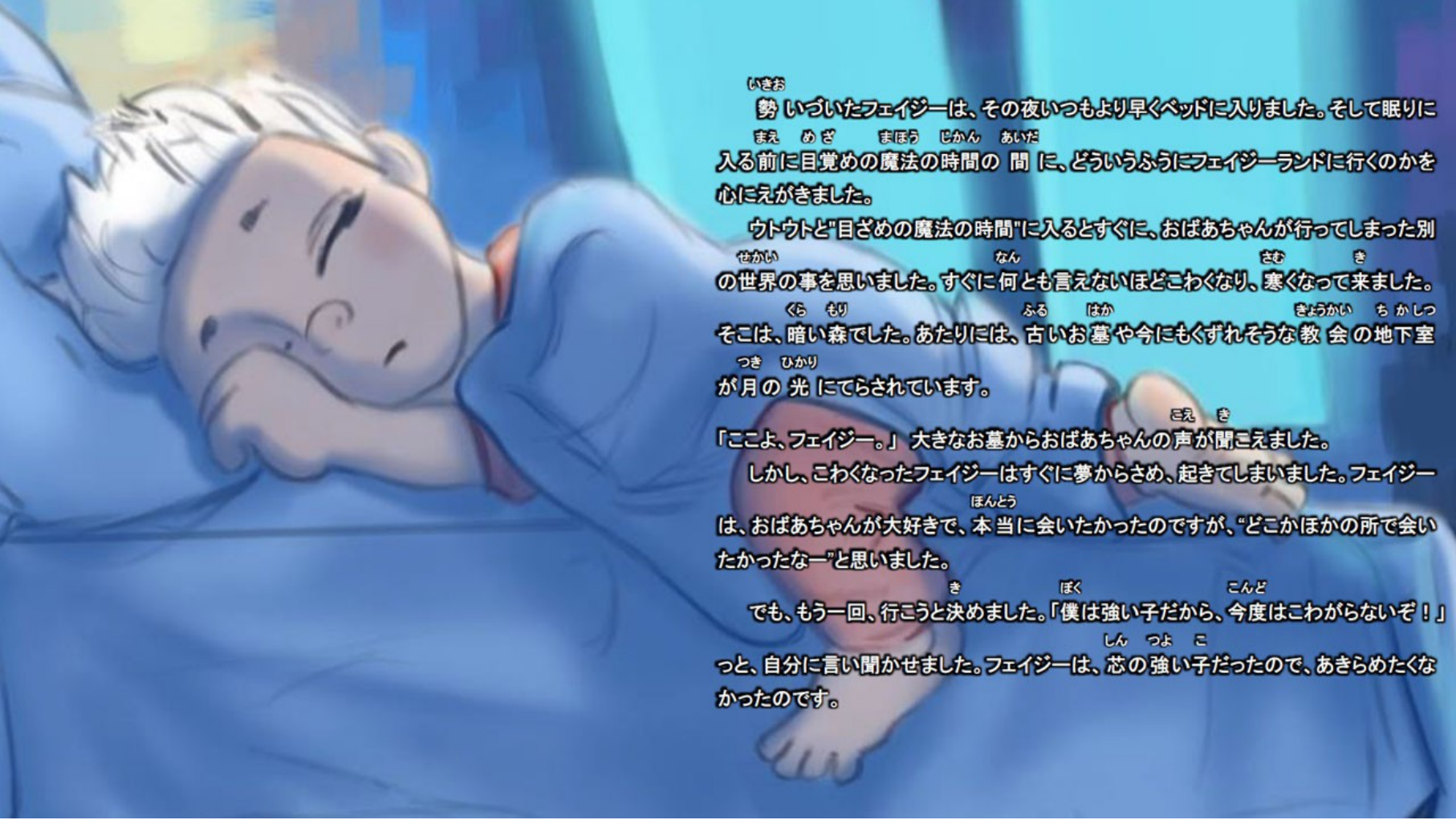
いき と つよ だ
「……………それだっ！」フェイジーは、オビーを息が止まるほど強く抱きしめました。

く
「きっとおばあちゃんを見つけて来る！」

わら ところ き
オビーはバカにして笑っていましたが、フェイジーは、あのパイを食べると心に決
めていました。

さあ、フェイジーはフェイジーランドでおばあちゃんを見つけて、パイを作ってもら
事はできるのでしょうか？





いきお

勢いついたフェイジーは、その夜いつもより早くベッドに入りました。そして眠りに
まえ めざ まほう じかん あいだ
入る前に目覚めの魔法の時間の間に、どういふふうにフェイジーランドに行くのかを
心にえがきました。

ウトウトと“目ざめの魔法の時間”に入るとすぐに、おばあちゃんが行ってしまった別
せかい なん さむ き
の世界の事を思いました。すぐに何とも言えないほどこわくなり、寒くなって来ました。
くら もり ふる はか きょうかい ちかしつ
そこは、暗い森でした。あたりには、古いお墓や今にもくずれそうな教会の地下室
つき ひかり
が月の光にてらされています。

「ここよ、フェイジー。」大きなお墓からおばあちゃんの声が聞こえました。

しかし、こわくなったフェイジーはすぐに夢からさめ、起きてしまいました。フェイジー
ほんとう
は、おばあちゃんが好きで、本当に会いたかったのですが、“どこかほかの所で会
いたかったな”と思いました。

でも、もう一回、行こうと決めました。「僕は強い子だから、今度はこわがらないぞ！」
き ぼく こんど
と、自分に言い聞かせました。フェイジーは、芯の強い子だったので、あきらめなくな
しん つよ こ
かったのです。





じかんご ほんぶん

いっかい

1時間後に半分目をさましたフェイジーは、もう一回おばあちゃんの所へ行こうと

がんばん

くちゆう う

がんばりました。でも残念。中々行けませでした。そこで、空中に浮くイメージのため

こんど

てんじゆう

してみたところ、今度はすぐに天井をぬけて、ロケットのように飛んでしまいました。

はかば と

ちか

フェイジーは、墓場へ飛んで行きました。近づくともた、すごくこわくなって、寒くなっ

おお はかいし

くるま

できました。月の光は、古い大きな墓石をまるで車のライトのようにてらしていました。

「ここよ、フェイジー。」またおばあちゃんの声がしましたが、ちょっと変な声でした。

「いま行くよ、おばあちゃん・・・」おばあちゃんに気を使って、こわがっていないふりをして

答えましたが、やはり、あまりにもこわくてうまくいきません。教会の地下室のドアを

あ
開けると、突然ドアが「ギー」といって、カラスが「カー」となきました。

あま

余りにもこわくてフェイジーは、またしてもベッドの上で目を開け、起きてしまいました。





「こんなこわい思いをしたのは、生まれてはじめて！」でもフェイジーの中では、こわい
せいこう おも ほう ぼち
事よりも、成功したいと言う思いの方が強かったです。すぐさま、またあの墓地を心
にえがき、フェイジーランドに戻りました。

フェイジーはあっという間にさっきの教会の地下室のドアの前に立っていました。
きょうかい ち かしつ
そして今度は「こわいヨ！」なんて思う前に、ドアを思い切り開けました。
おも き

ドアの向こうの光は、あまりにもまぶしくてなにも見えないので、フェイジーは両手
りょうて
お
で目を押さえました。
「こっちょ、フェイジー。」

それは今までに聞いた事もないような、気味が悪いおばあちゃんの声でした。両手
きみ りょうて
みまわ
を目からはなすと、フェイジーはすばやくまわりを見回しました。目の前にいたのはお
ばあちゃんではなく、それは何とフォーでした！すぐに、おばあちゃんの声がなんであ
んなに気味悪かったのかが分かりました。

「パーさんと会って、アップルパイなんぞ食べるものか！」フォーはおどかすように、シ
あ く
のど おと ひ
ュ〜つと、喉で音をたてて、フェイジーにむかって火をはきました。





でも、フェイジーは立ち向かいます！フェイジーは心の力を使って、お墓の床に大きな穴を掘りました。するとフォーはバランスを失って、うなりながら穴に落ちて行きました。

「これで、じゃま者はいない！」穴を元通りにもどしながらフェイジーは、思いました。そして、教会の地下室に行って、おばあちゃんの姿を心に思いながらドアを開けました。

ドアが開くと、そこは、おばあちゃんの家のお台所でした。おばあちゃんはフェイジーを見るなり、よろこんでフェイジーを抱きしめてくれました。そして、アップルパイテーブルの上に出してくれ、フェイジーは椅子にすわりました。

「あー、今日はここまで来るのに長かったよ、おばあちゃん！」アップルパイをたくさんほおばりながら、フェイジーは言いました。

「フェイジーは、ほんとうにいい子だね。どうもありがとう。」っと、笑って言うと、田舎でおばあちゃんが育った時代の苦労話や楽しい思い出を話してくれました。





あさお

朝起きた時、フェイジーは、おばあちゃんのアップルパイが食べられた事と、いつでもおばあちゃんに会いに行ける事が分かり、うれしかったのです。そして、すばらしい考えが浮かびました。

た

あ

「フェイジーランドなら、会いたい人全員に会えるのか!？」

えいが

そこで、フェイジーは、会いたい人リストを作りました。それには、映画のスーパーヒー

ロー、どでかい恐竜、有名なスポーツ選手と多くの名前がありました。

まだ

リストを見なおしている時に窓のそばに行くと、アストラが外にいました。アストラは、

おんなのこ

なに

女の子たちといっしょにいて、何かを話していました。

「アストラとも、ぜったいに仲直りする!」フェイジーは、思いました。

1つだけフェイジーには、分からない事がありました。「フェイジーランドでアストラ

いっしょ たのす

おぼ

と一緒に楽しく過ごせば、こっちの世界でも覚えていてくれるのかな?」

はや

その答えを知るには、またトライするしかありません。なんでもっと早くフェイジーは

き

それに気づかなかったのでしょうか?



マイケルおじさんからからのメッセージ

しんあい とも かな
親愛なるお友だちしょくん。この話は君たちをこわがらせちゃったかな。悲しい話
だけど、ためになったのではないかな。これからの人生、近くにいない人とも会う事が
できるなんて、素晴らしいことなんだよ。
じんせい

あ
もう君は、会いたい人に会える所があるのが分かったよね。"目ざめの魔法の時間"
に会えるようにがんばるか、フェイジーランドのドアの向こうにその人を見つけるだけで
いいのさ。
む

はじ
でも、何で初めからフェイジーはフェイジーランドでアストラに話しかける事を思い
つかなかったんだろうね。アストラもフェイジーランドの事を知っているんだからね。

ちようせん
まちががなく、フェイジーはまた、挑戦するよ。
きみ くに ぼうけん
さあ、君も魔法の国フェイジーランドで冒険ができるよ。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®

6

フェイジーランドのおとぎ話

危ないスポーツカーの競争とアストラがもどって
来た

(おやすみの前にお話してあげて下さいね)

作~マイケル・ラドゥーガ

訳~中山利一

編集~近藤五百子

イラスト~アンドレイ・グッドヨフ

下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



なんにち あいだ い や
 フェイジーは、何日かの間 フェイジーランドに行くのを止めていました。アストラと
あ けいかく かんが
 会う計画をじっくり 考えたかったからです。フェイジーは、アストラを何かでびっくりさ
おも
 せてやろうと思っていました。

おんなのこ おとこのこ す だいこうぶつ た
 「女の子はどんな男の子が好きなの？」 大好物のオートミールを食べながら、フェイ
かあ き
 ジーはお母さんに聞きました。

まえ
 「えっ？お前は、だれか好きな子がいるの？」

べつ また
 「別に。ただ聞いただけ。」 ちょっと、はにかみながらフェイジーは答えました。

せいこう
 「女の子はね、ヒーローとか成功した人が好きだと思うね。」

き い
 フェイジーは、お母さんの答えがとっても気に入りました。フェイジーは、アストラの
ちゅうもく
 ヒーローになりたかったからです。どんな女の子でも、注目されている男の子を好きに
よ わる かんけい
 なるのを知っていたからです。その男の子が良い子か悪い子かなんて関係ありませ
かんたん
 ん。女の子というのはそういうものなのです。しかし、いつものように、フェイジーが
 簡単にヒーローになれるのはフェイジーランドだけでした。





つ けいかく じっこう
フェイジーランドに着くと、フェイジーは計画を実行しはじめました。その計画とは、

み
アストラが見ている前で、レースに勝つ事。するときとアストラはフェイジーにかけよつ
き なかよ
て来て、仲良くなるはず。フェイジーランドで仲良くなればきっとほんとうの世界でもま
ちが
たアストラと友だちになれるはずに違いない、そうフェイジーは思いました。

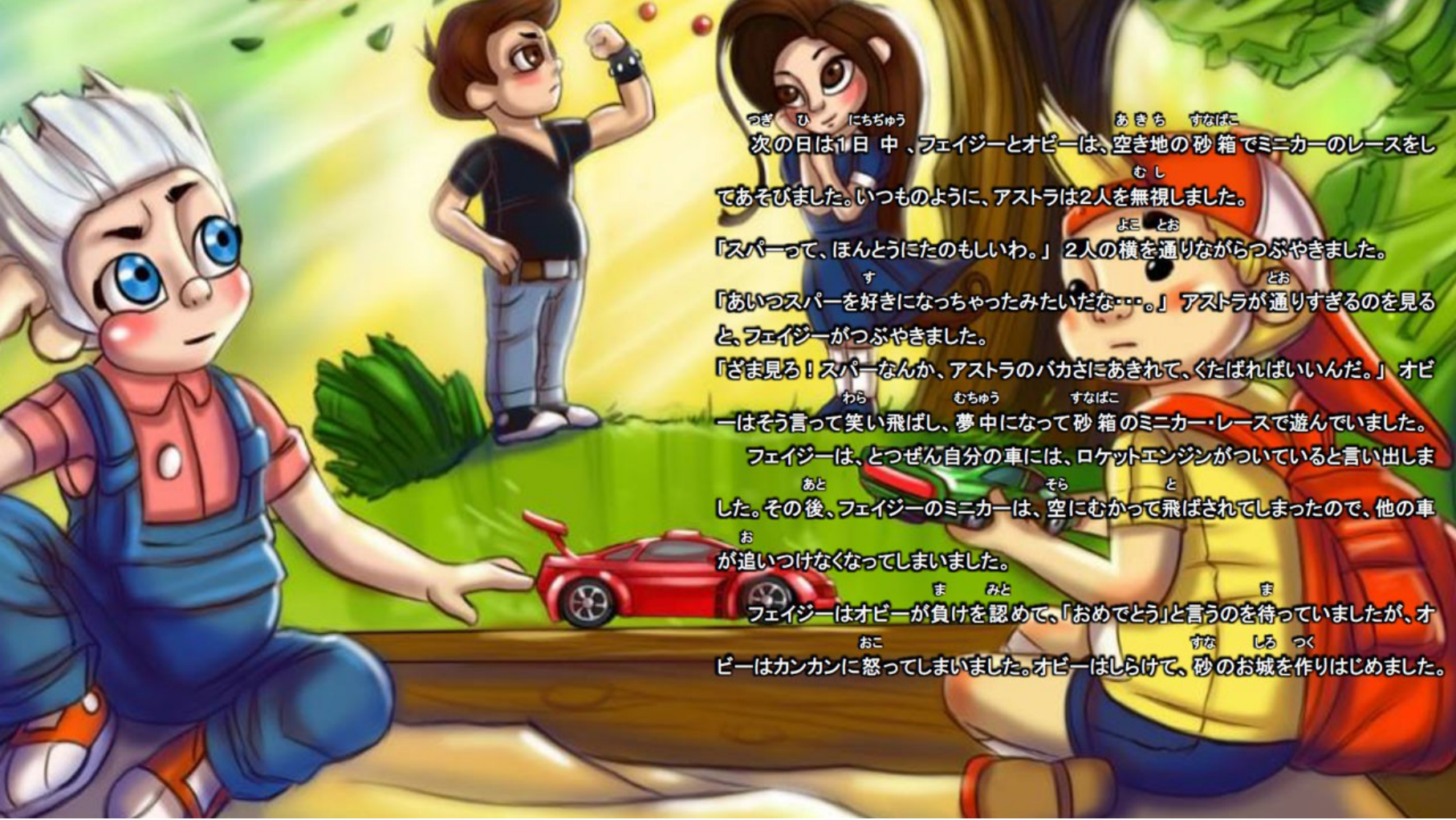
じょう つ ところ だい くるま
フェイジーが、レース場に着いた時、スタートラインの所にはすでに5台の車が
いちばん あか の な
ありました。フェイジーは、一番カッコいい赤いやつに乗ってスタートのピストルが鳴
るのを待ちました。

きやくせき
「見てろよ！」アストラが客席にいるのを見ると、フェイジーは、自分にそう言いま
した。

とも くるま おと
レースがはじまりました。スタートと共に、車がブーンとすごい音をあげて、全部フ
でおく
ェイジーの車の前へ出てしまいました。フェイジーは何と出遅れてしまったのです。

ところ ちから さいそく
でも大丈夫。すぐに心の力を使って、車のエンジンを最速のロケットエンジンに
ほか しゅう さ か
かえてしまいました。フェイジーは、他の車に5周の差をつけて勝ちました。みんな
「おめでとう」って言ってくれました。でも、たった一人、アストラだけは「おめでとう」を言
あ
ってくれませんでした。フェイジーと目も合わせてくれません。計画がうまく行かなかつ
おも いき あと
たので、フェイジーは「ハー」と重いため息をつき、フェイジーランドを後にしました。





つぎ ひ にちちゆう

次の日は1日 中、フェイジーとオビーは、空き地の砂箱でミニカーのレースをし
むし

てあそびました。いつものように、アストラは無視しました。

よ三 とお

「スパーって、ほんとうにたのしいわ。」2人の横を通りながらつぶやきました。

す

とお

「あいつスパーを好きになっちゃったみたいだな……。」アストラが通りすぎるのを見ると、フェイジーがつぶやきました。

「ざま見る！スパーなんか、アストラのバカさにあきれて、くたばればいいんだ。」オビ

わら

むちゆう

すなばこ

ーはそう言って笑い飛ばし、夢中になって砂箱のミニカーレースで遊んでいました。

フェイジーは、とつぜん自分の車には、ロケットエンジンがついていると言い出しま

あと

そら

と

した。その後、フェイジーのミニカーは、空にむかって飛ばされてしまったので、他の車

お

が追いつけなくなってしまいました。

ま みと

ま

フェイジーはオビーが負けを認めて、「おめでとう」と言うのを待っていましたが、オ

おこ

すな

しる つく

ビーはカンカンに怒ってしまいました。オビーはしらけて、砂のお城を作りはじめました。





その時、フェイジーは目の前のオビーとフェイジーランドでのアストラの反応には

なにか関係がある事に気づきました。どちらも、レースに勝ったのに、何も言ってくれません。

「怒ったの？」

「当たり前だ、お前はズルした！」

「なにが悪いんだよ？ほくの車にはロケット・エンジンがついてるから、しょうがないじゃないか！」

「お前が悪いだろー！インチキ！どんなバカだってあーすりゃ勝てる！」オビーは

フェイジーを叱りました。

フェイジーはその時、自分がズルをした事に気づきました。ズルい事をして一人勝

ちをするだけでは、だれも認めてくれません。正々堂々と戦わなければいけなかったのです。そうしなければ自分が勝った事を、だれも褒めてくれません。

また全てやり直しますが、フェイジーは、正々堂々と戦えばアストラとまた仲よくなれると思いました。





よる
その夜、フェイジーは、大きなダンプカーに追われている夢を見ました。初めは、
こわかったのですが、それが夢だとフェイジーは気づきました。夢を見ている事に気が
つくのは、もうフェイジーランドにやって来ているというしょうこです。

いちど
そして、もう一度レース場にやって来ると、フェイジーはスタートラインの赤い車を選
びました。客席でアストラとルーダが応援してくれているのが見えます。

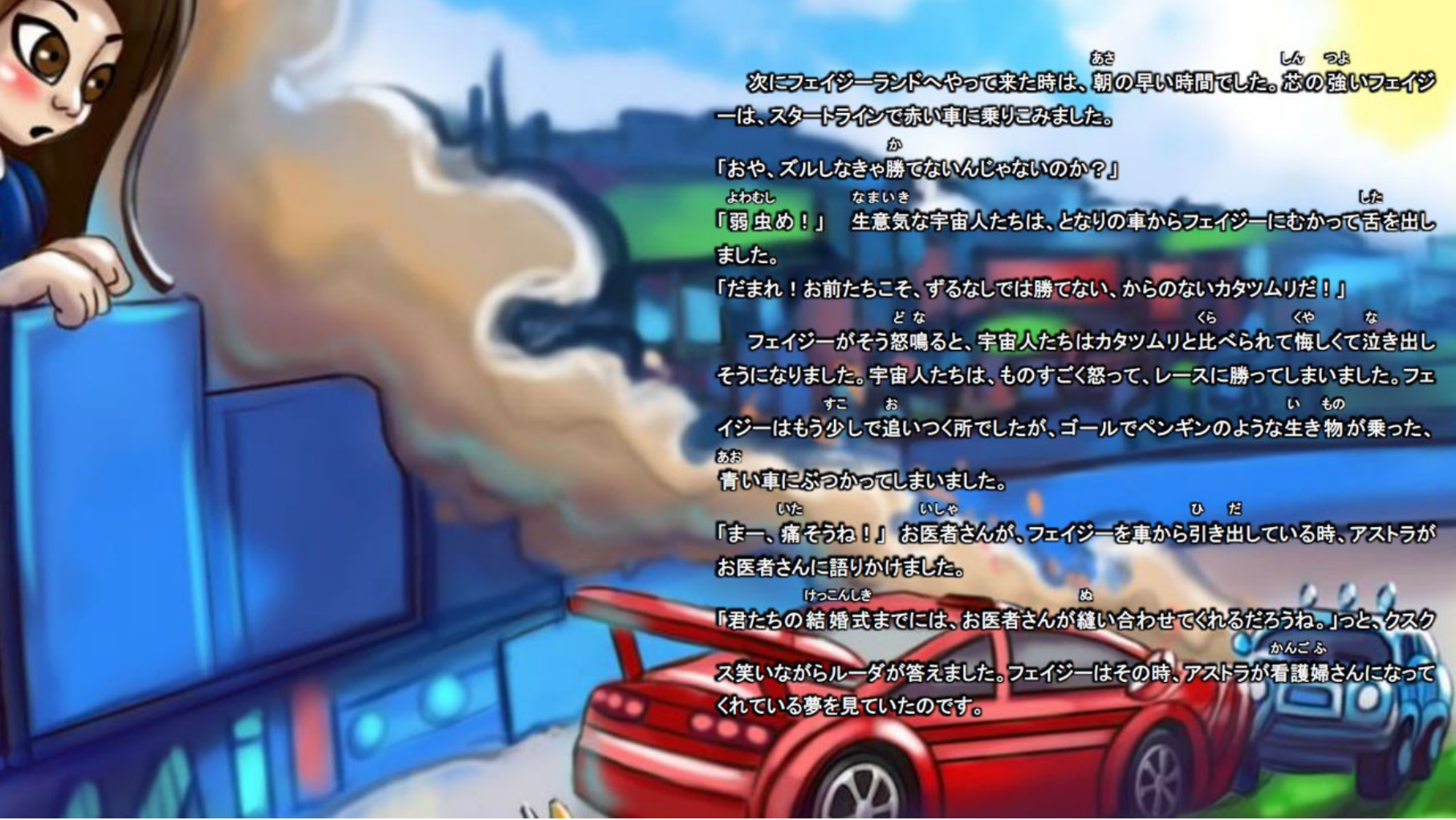
こえ
とつぜん、どこかで聞いた事のある、イヤな声が近くから聞こえました。
ま いぬ
「負け犬！お前にはチャンスなんかない！」

みまわ ひと めこぞう うで いっほん うちゆうじん
フェイジーは見回しました。いつかの一つ目小僧で、腕が一本しかない宇宙人
がとなりの黄色の車に乗っていました。

はじ いっせい でおく
レースが始まると、みんな一斉に前へ出ました。またしてもフェイジーは出遅れて
びりになってしまいました。インチキをせずに車の運転する方法が分かったのはゴー

ちよくぜん
ルの直前でした。
けっきよくうちゆうじん
結局宇宙人が勝ってしまいました。





次にフェイジーランドへやって来た時は、朝の早い時間でした。芯の強いフェイジーは、スタートラインで赤い車に乗りこみました。

「おや、ズルしなきゃ勝てないんじゃないのか？」

「弱虫め！」 生意気な宇宙人たちは、となりの車からフェイジーにむかって舌を出しました。

「だまれ！ お前たちこそ、ずるなしでは勝てない、からのないカタツムリだ！」

フェイジーがそう怒鳴ると、宇宙人たちはカタツムリと比べられて悔しくて泣き出しそうになりました。宇宙人たちは、ものすごく怒って、レースに勝ってしまいました。フェ

イジーはもう少しで追いつく所でしたが、ゴールでペンギンのような生き物が乗った、

青い車にぶつかってしまいました。

「まー、痛そうね！」 お医者さんが、フェイジーを車から引き出している時、アストラがお医者さんに語りかけました。

「君たちの結婚式までには、お医者さんが縫い合わせてくれるだろうね。」と、クスク

ス笑いながらルーダが答えました。フェイジーはその時、アストラが看護婦さんになってくれている夢を見ていたのです。





ゆうしょう

“もう少しで優勝できたのに”と思ったフェイジーは、また“目ざめの魔法の時間”を

つか

使いました。フェイジーは、うっすらとした眠りの中で赤い車に乗っている自分を心に加え

じゆんかん

じょう

がくと、次の瞬間にはレース場にいました。さあ、またまたレースの始まりです。

きみ

さけ

「ゴー、フェイジー！みんな、君を信じてる！」アストラとルーダがスタンドで叫びました。

ちから

「やるぞっ！」と、さけぶとフェイジーはアクセルを力いっぱいふみました。

おぬ

せんどう

ほかのレーサーたちを追い抜くと、フェイジーは先頭を走る宇宙人たちに追いつき

りやうほう

しゆう

せつせん

ました。赤と黄色、両方の車は、追いついては追い抜き、最後の周まで接戦を続け

さいご

ちやくせん

ぜんりよく

ました。最後の直線コースで、フェイジーは、全力で追い抜きをかけました。

あともう少しで勝てる！

すんぜん

みどりいろ

でも、ダメでした。ずい宇宙人たちはゴール寸前でフェイジーの車を緑色の手

お

さき

さ

で押しのけて、先にゴールに差しかかってしまいました。





しかし、バカ者は地球人にだけでなく、遠い宇宙の果てにもいるのです。一本しか腕がないのをすっかり忘れてしまった宇宙人たちは、フェイジーの車を押しつけるのに必死で、自分のハンドルをにぎっていなかったのです。

黄色い車はスリップしてゴール前のフェンスにすごい勢いでぶつかりました。そうなんです、正々堂々とがんばり抜いた結果、フェイジーが優勝したのです。

「良かったわ！」と、言ってアストラはフェイジーを抱きしめました。

「ぼくの羽がとれちゃうかと思ったよ。」ルーダはブツブツ言いました。

「いやあ、簡単、かんたん！」すごく疲れていたのでフェイジーはそれだけしか言えませんでした。

何千ものお客さんが、フェイジーに拍手をして、「おめでとう」と、言ってくれました。フェイジーが、大きなトロフィーをもらった後、3人はフェイジーランドのとてもきれいな所に行ってチョコレートアイスクリームを食べました。

アストラはどうとう、フェイジーと仲直りしました。そして、レースに勝った事よりも、アストラとの仲直りの方がフェイジーには大切でうれしかったのです。





よくあさ
あさ はん
いそ
翌朝、お母さんの作ってくれた朝ご飯を食べてから、フェイジーは急いでアストラ

にんぎょう
の所へ行きました。アストラはほかの女の子たちと、お人形ごっこをしていました。
「どうやってぼくがフェイジーランドのレースに勝ったかおぼえてる？」

い ひみつ かん
「レース？」はじめはおどろいたアストラが言いました。しかし、何か秘密めいた感じ
で、「ええ、もちろんよ、ヒーロー。」と、言いました。

「ぼくたち、また友だちにもどった？」

わたし
「えっ？もどったって？私たちって、もともとお友だちじゃなかったと思うけど。」

いみ
「どういう意味？」

ちやめ け しゅうまつ みずうみ
「うそよ！」と、アストラは茶目っ気たっぷりに言いました。「今度の週末、湖に行
く
くんだけど一緒に来る？」

「ぜったい行く。泳ぎ方はもう知ってるからね！」

ふあん
フェイジーは、アストラと仲直りできた事はうれしかったのですが、ちょっと不安があ
じつ
りました。フェイジーは、実は泳げなかったのです。フェイジーはなんとかしなければな
ねん
りませんでした。アストラはもう1年前から泳げるようになっていて、いつも泳げない人
をバカにして笑っていたのです。

わら
このままではフェイジーも笑われでしまいます…



マイケルおじさんからのメッセージ

親愛なる友だちしよくん。もう、ズルをして勝つことは良く無い事だって分かったよ
ね？何回勝っても、ズルをしたら人は認めてくれない。

フェイジーランドでは、空飛ぶ円盤だけじゃなくて、レーシング・カーも運転できる
事が分かっただろ？バイクだって、戦車だって試せるさ。ただのコンピューターゲーム
じゃなくてぼくたちが起きている間にいる本当の世界でも起こる事なんだよ。

フェイジーがアストラとの問題を解決してる間に、是非君もフェイジーランドに行
ってごらん。昼だけでなく、夜寝ている間にも、友だちとあそべるんだ。ぼくたちのヒ
ーローのフェイジーがやった事を君もおさらいして、“目ざめの魔法の時間”を自由に使
えるようになってごらん。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®



7

フェイジーランドのおとぎ話^{はなし}

深い海の冒険と海の怪獣との戦い

(おやすみの前にお話してあげてくださいね)

作～マイケル・ラドゥーガ

訳～中山利一

編集～近藤五百子

イラスト～アンドレイ・グッドコフ

下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



みずうみ みずあそ
フェイジーはピクニックに行って 湖 で水遊びをするのが大好き。いつもだったら

ま き こんかい
湖でのピクニックは待ち切れなかったのですが、今回はだけはちょっとちがいました。

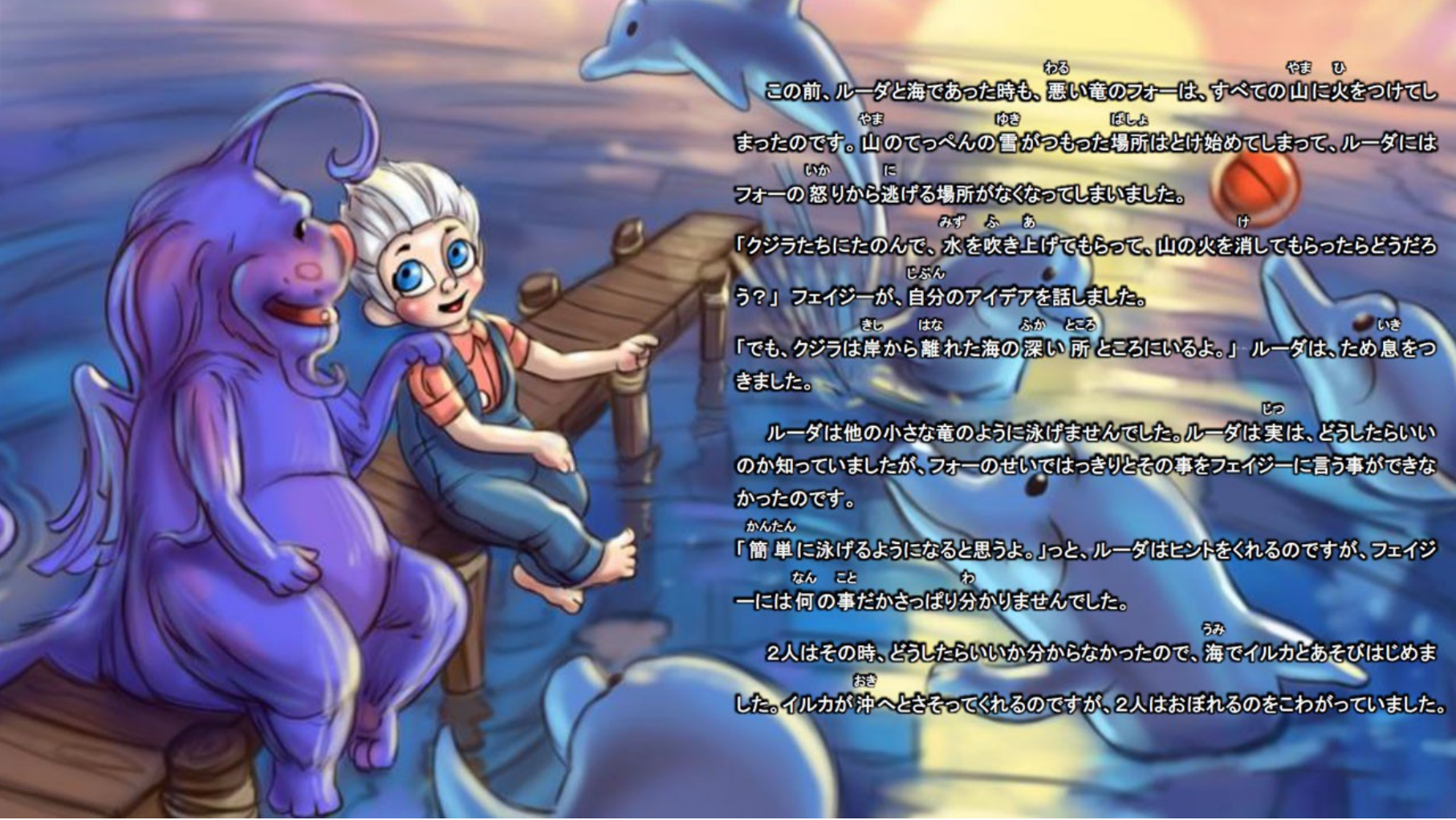
かあ はん
「お母さん、湖に行く？ 別に行かなくてもいいんじゃない？」 フェイジーは、朝ご飯を
た のぞ
食べながら、小さな望みをかけてお母さんにたずねました。

どう ぐ
「どうして、フェイジー？ ダメよー。他のお父さんとお母さんたちだって来る事になってる
わたし にはこうよく
し、私 も日光浴もしたいし。」

こんかい て せんぶ
フェイジーは、今回のピクニックをあらゆる手をつくしてつぶそうとしましたが、全部
しっぱい お たいおんけい でんき わっ けびよう
失敗に終わりました。体温計を電気ストーブで熱して仮病を使おうと思いましたが、
あつ す ど
体温計を熱くし過ぎてしまい、77度になってしまったので、お母さんにばれてしまいました。

すいえい なら なかなかい だ
フェイジーは、ずっと水泳を習ってみたかったのですが、中々言い出せずにいた
はじ
のです。このままでは、アストラの前で恥をかいてしまうでしょう。泳ぎの事ばかりでなく、
ちい りゆう こま
小さな竜のルーダにも困った事が起きてしまいました。





この前、ルーダと海であった時も、悪い竜のフォーは、すべての山に火をつけてしまったのです。山のでっぺんの雪がつもった場所はどけ始めてしまって、ルーダにはフォーの怒りから逃げる場所がなくなってしまいました。

「クジラたちにたのんで、水を吹き上げてもらって、山の火を消してもらったらどうだろう？」 フェイジーが、自分のアイデアを話しました。

「でも、クジラは岸から離れた海の深い所ところにいるよ。」 ルーダは、ため息をつきました。

ルーダは他の小さな竜のように泳げませんでした。ルーダは実は、どうしたらいいのか知っていましたが、フォーのせいではっきりとその事をフェイジーに言う事ができなかったのです。

「簡単に泳げるようになると思うよ。」と、ルーダはヒントをくれるのですが、フェイジーには何の事だかさっぱり分かりませんでした。

2人はその時、どうしたらいいか分からなかったので、海でイルカとあそびはじめました。イルカが沖へとさそってくれるのですが、2人はおぼれるのをこわがっていました。





よる あめ ふり つぎ ひ あさはや
その夜は雨がはげしく降りました。フェイジーとオビーは次の日の朝早くに、小さな川でミニボートのレースをし始めました。話をしているうちに、オビーも泳げない事が分かりましたが、オビーはその事を、ちっとも気にしていませんでした。

はじ はな こと
「泳げないからって、なに？オレは、岸边でいつもやってるようにバシャバシャやるけど
き す
ね。気まぐれな女の子を好きになつたりしないから。」

「君が、あの子を好きになったんだろ！ぼくたちは、ただの友だちさ！」 フェイジーは
かお
顔を赤くして言いました。

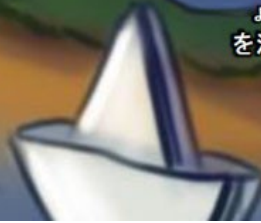
「そんな事言っても、すぐにキスしはじめるぜ、ゲー、キモワリー！」

がまん おな
フェイジーは、我慢できずにオビーのボートをけとばしました。オビーも同じようにフ

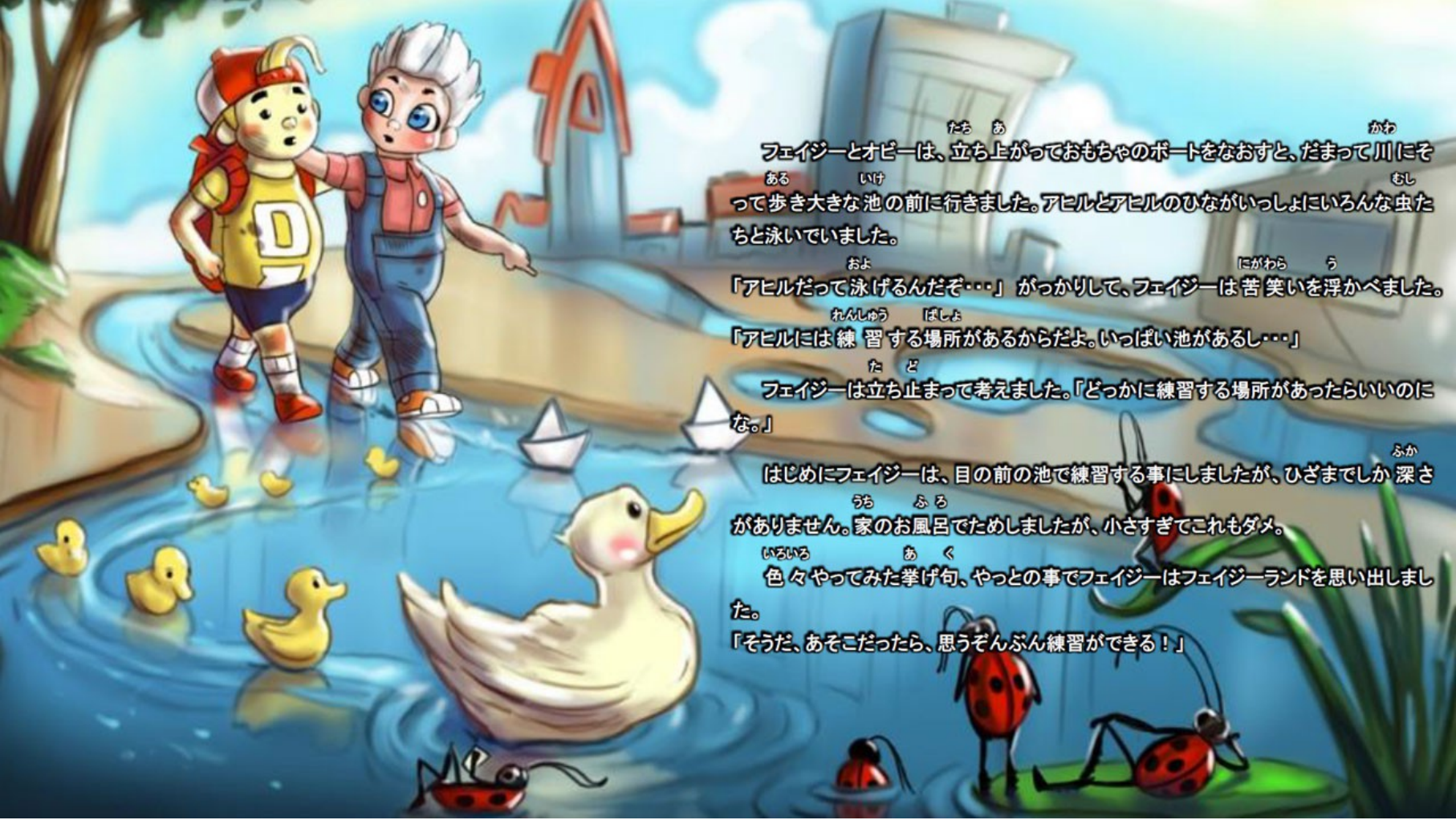
とくみあ
エイジーのボートをけり上げました。そして、2人は取っ組み合いをはじめました。ひどい

かわ お ふく
ケンカになって、2人は川に落ちました。その時、2人はケンカをやめました、だって服

よご どう おこ
を汚したらお母さんとお父さんに怒られちゃいますから。







フェイスとオビーは、立ち上がっておもちやのボートをなおすと、だまって川にそ
ある いけ かわ
って歩き大きな池の前に行きました。アヒルとアヒルのひながいっしょにいろんな虫た
ちと泳いでいました。

およ にがわら う
「アヒルだって泳げるんだぞ…」がっかりして、フェイスは苦笑いを浮かべました。

れんしゅう ばしよ
「アヒルには練習する場所があるからだよ。いっぱい池があるし…」

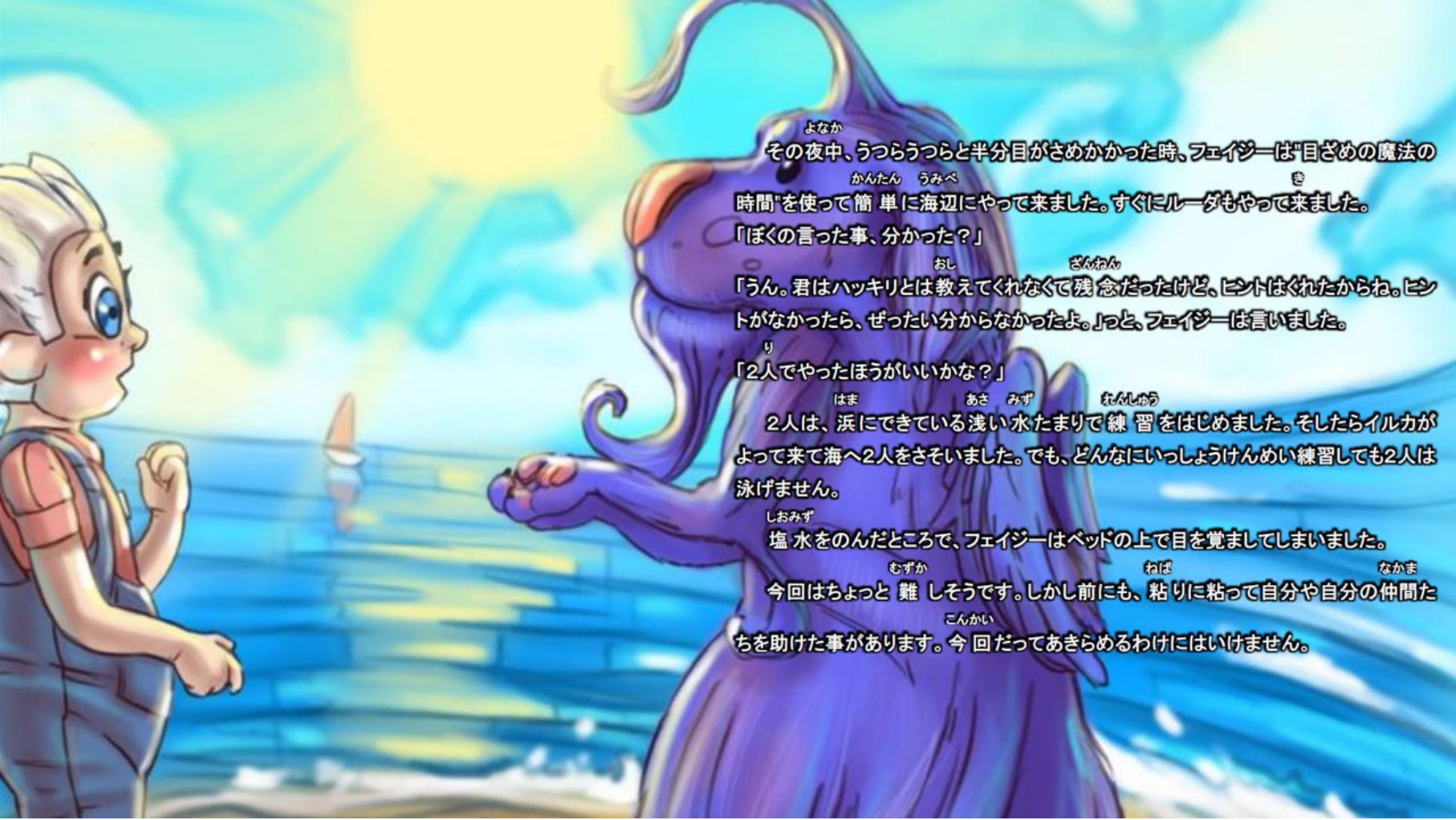
た ど
フェイスは立ち止まって考えました。「どっかに練習する場所があったらいいのにな。」

ふか
はじめにフェイスは、目の前の池で練習する事にしましたが、ひざまでしか深さ
うら ふろ
がありません。家のお風呂でためしましたが、小さすぎてこれもダメ。

いろいろ あ く
色々やってみた挙げ句、やっとの事でフェイスはフェイスランドを思い出しまし
た。

「そうだ、あそこだったら、思うぞんぶん練習ができる！」





よなか

その夜中、うつらうつらと半分目がさめかかった時、フェイジーは“目ざめの魔法の

かんたん うみべ

時間”を使って簡単に海辺にやって来ました。すぐにルーダもやって来ました。

き

「ぼくの言った事、分かった？」

おし

ざんなん

「うん。君はハッキリとは教えてくれなくて残念だったけど、ヒントはくれたからね。ヒントがなかったら、ぜったい分からなかったよ。」と、フェイジーは言いました。

り

「2人でやったほうがいいかな？」

はま

あさ みず

れんしゅう

2人は、浜にできている浅い水たまりで練習をはじめました。そしたらイルカがよって来て海へ2人をさそいました。でも、どんなにいっしょうけんめい練習しても2人は泳げません。

しおみず

塩水をのんだところで、フェイジーはベッドの上で目を覚ましてしまいました。

むずか

ねぼ

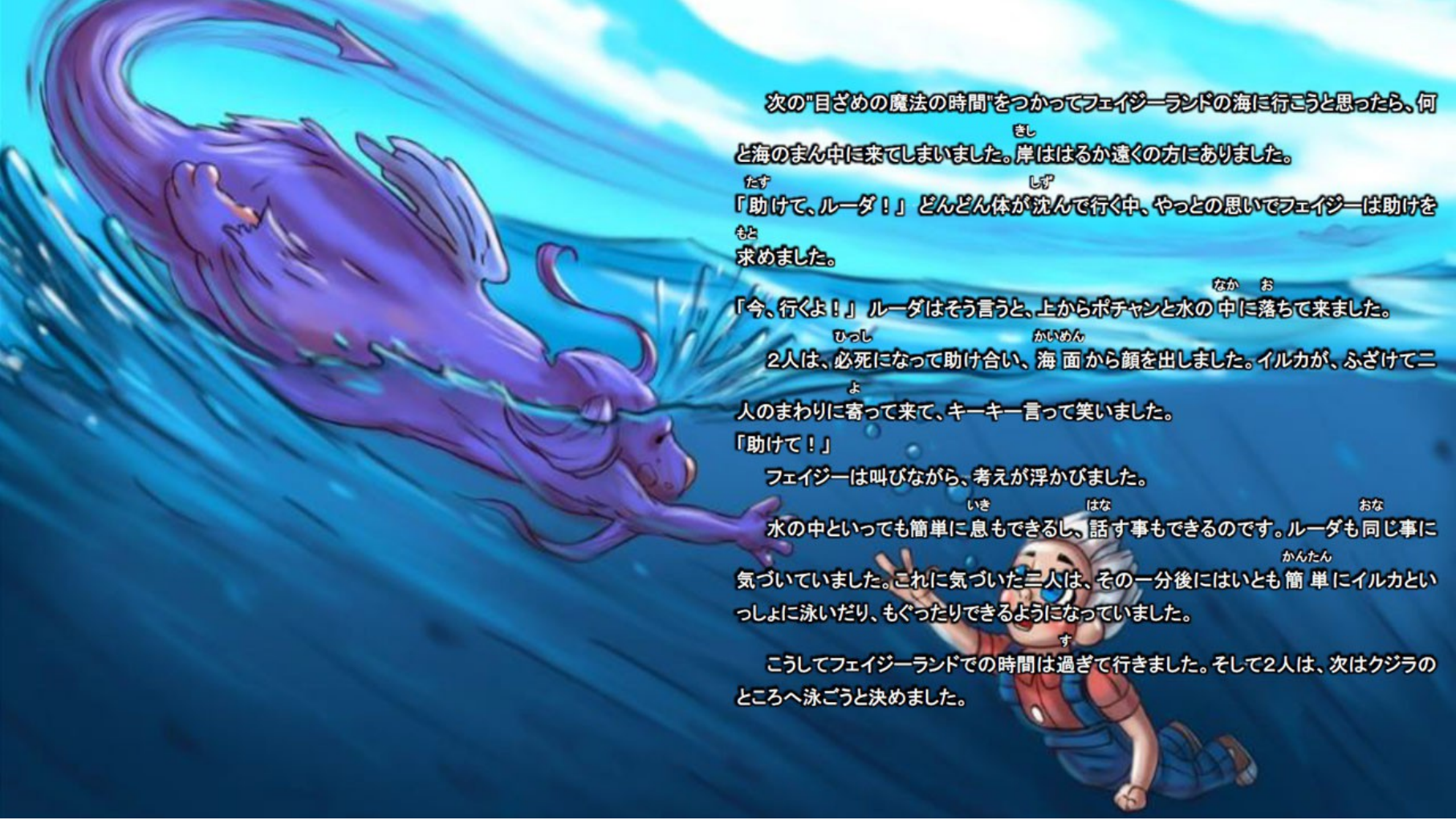
なかも

今回はちょっと難しそうです。しかし前にも、粘りに粘って自分や自分の仲間た

ごんかい

ちを助けた事があります。今回だってあきらめるわけにはいけません。





次の“目ざめの魔法の時間”をつかってフェイジーランドの海に行こうと思ったら、何
と海のまん中に来てしまいました。岸ははるか遠くの方にありました。

「助けて、ルーダ！」 どんどん体が沈んで行く中、やっとの思いでフェイジーは助けを
求めました。

「今、行くよ！」 ルーダはそう言うと、上からポチャンと水の中に落ちて来ました。

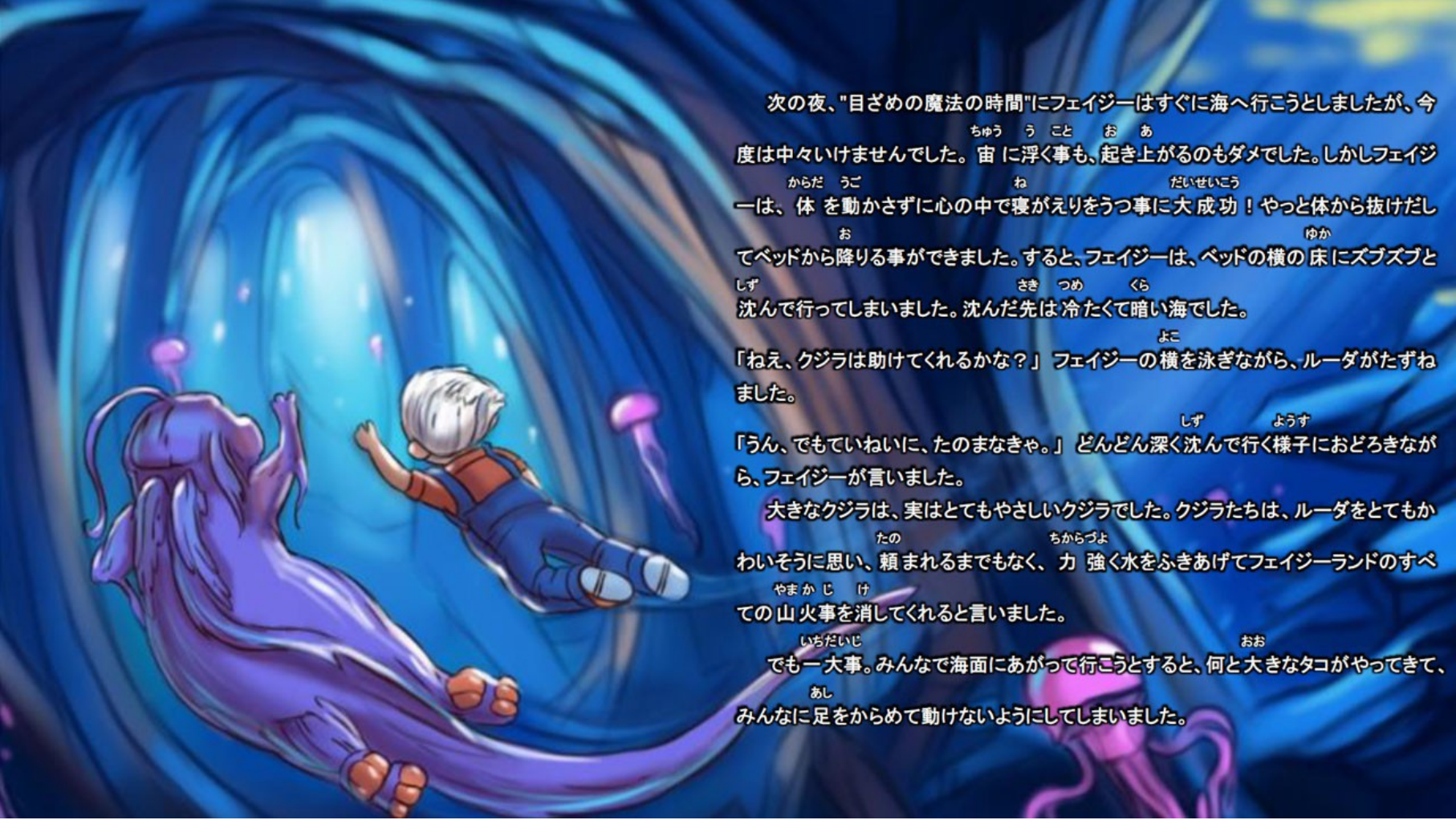
2人は、必死になって助け合い、海面から顔を出しました。イルカが、ふざけて二
人のまわりに寄って来て、キーキー言って笑いました。
「助けて！」

フェイジーは叫びながら、考えが浮かびました。

水の中といっても簡単に息もできるし、話す事もできるのです。ルーダも同じ事に
気づいていました。これに気づいた三人は、その一分後にはいとも簡単にイルカとい
っしょに泳いだり、もぐったりできるようになっていました。

こうしてフェイジーランドでの時間は過ぎて行きました。そして2人は、次はクジラの
ところへ泳ごうと決めました。





次の夜、「目ざめの魔法の時間」にフェイジーはすぐに海へ行こうとしましたが、今度ちゆう う こと お あは中々いけませんでした。宙ちゆう う ことに浮く事も、起き上がるのもダメでした。しかしフェイジーは、体からだ うごを動かさずに心の中で寝がえりをうつ事に大成功だいせいこう！ やっと体から抜けだしてベッドから降りる事ができました。すると、フェイジーは、ベッドの横よかの床にズブズブと沈しずんで行ってしまいました。沈んだ先は冷たくて暗い海でした。

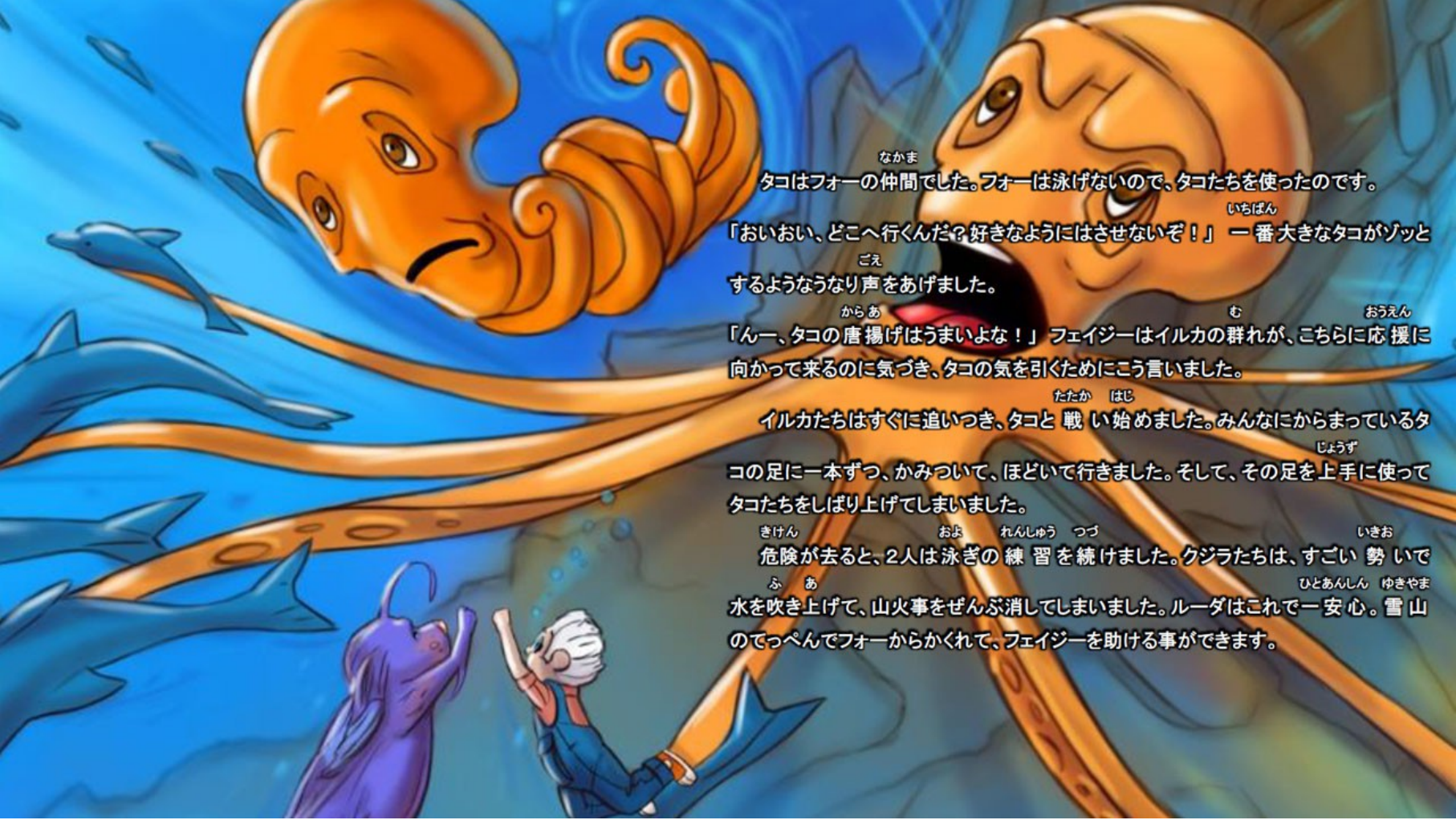
「ねえ、クジラは助けてくれるかな？」 フェイジーの横よかを泳ぎながら、ルーダがたずねました。

「うん、でもいいいに、たのまなきや。」 どんどん深く沈しずんで行く様子におどろきながら、フェイジーが言いました。

大きなクジラは、実はとてもやさしいクジラでした。クジラたちは、ルーダをとともかたの ちからづよわいそうに思い、頼まれるまでもなく、力強く水をふきあげてフェイジーランドのすべやまかじけでの山火事を消してくれましたと言いました。

でも一大事いちだいじ。みんなで海面にあがって行こうとすると、何と大きなタコがやってきて、みんなに足をからめて動けないようにしてしまいました。





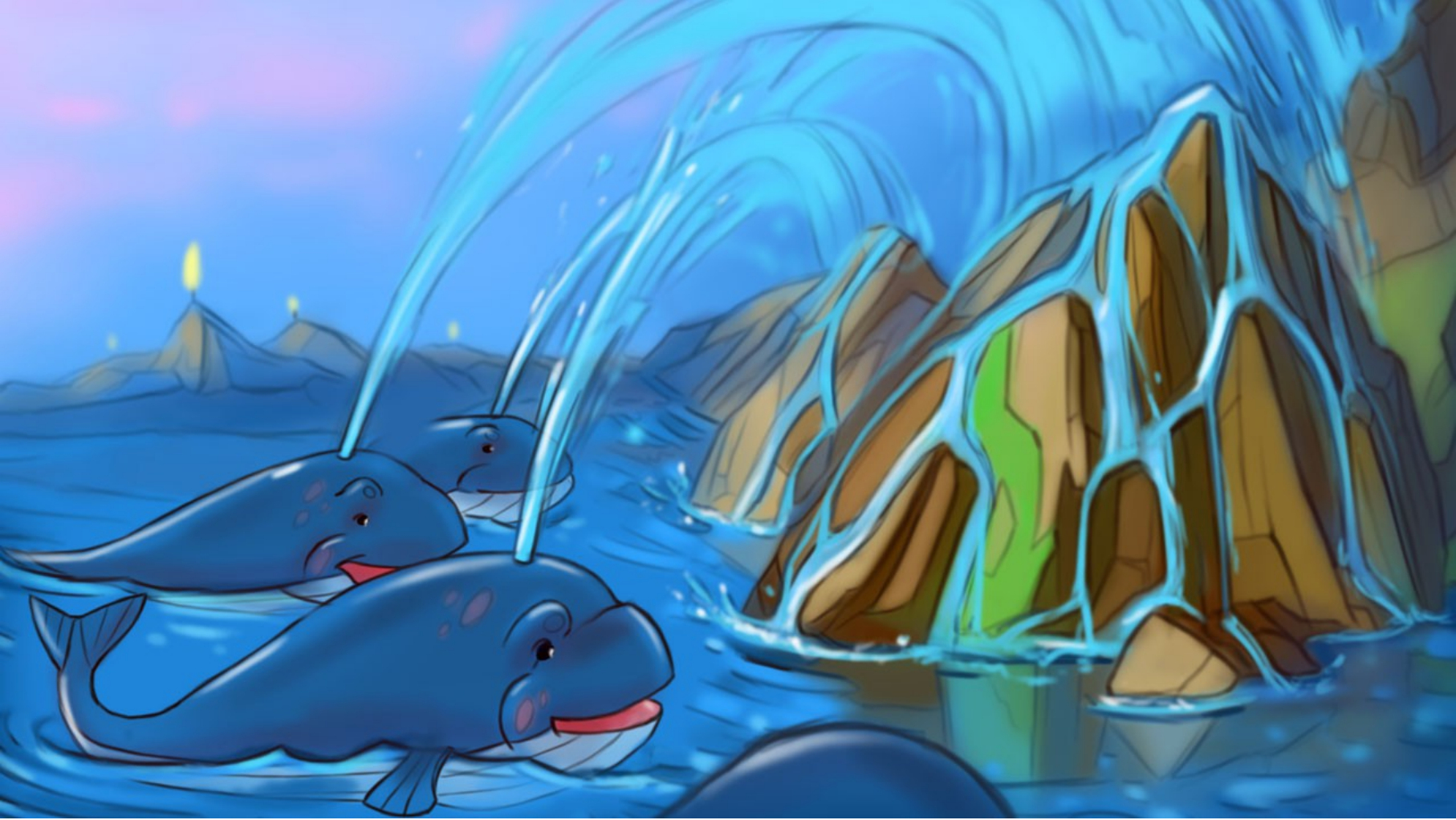
なかま
タコはフォーの仲間でした。フォーは泳げないので、タコたちを使ったのです。

いちばん
「おいおい、どこへ行くんだ？好きなようにはさせないぞ！」一番大きなタコがソツと
ごえ
するよううなり声をあげました。

からあ む おうえん
「んー、タコの唐揚げはうまいよな！」フェイスはイルカの群れが、こちらに応援に向かってくるのに気づき、タコの気を引くためにこう言いました。

たたか はじ
イルカたちはすぐに追いつき、タコと戦い始めました。みんなにからまっているタ
じょうず
コの足に一本ずつ、かみついて、ほどいて行きました。そして、その足を上手に使って
タコたちをしばり上げてしまいました。

きけん おぶ れんしゅう つづ いきお
危険が去ると、2人は泳ぎの練習を続けました。クジラたちは、すごい勢いで
ふ あ ひとあんしん ゆきやま
水を吹き上げて、山火事をぜんぶ消してしまいました。ルーダはこれで一安心。雪山
のでっぺんでフォーからかくれて、フェイスを助ける事ができます。





あきら

せんいん

みずうみ

次の日、空き地の友だちが全員、お父さんお母さんたちと一緒に湖にピクニック

みずぎ

よ

クにやって来ました。アストラは、最初に水着にきがえて、みんなを呼んでいます。スーパーは、フェイジーが泳げるようになった事は知りませんでした。アストラの前でフェイジー

をバカにするために、スーパーは、フェイジーにどちらが早く赤いブイにたどり着けるか、

競争しようと言いました。

かんたん

ちょうせん う

「簡単、かんたん！」フェイジーは、挑戦を受けました。

しんばい

「ほんとかよ？」オビーは、心配そうに聞きました。

「イーチ、ニー、サーン、スタート！」アストラが叫ぶと、男の子たちは湖に飛びこみました。

なん

か

フェイジーは、最初の何メートルかでみんなを追い抜き、ラクラクと競争に勝ちました。アストラはフェイジーのほっぺにキスをして、スーパーはみんなの前で、大恥をかきました。

おおはじ

友だちはみんな、泳いだり水あそびをしたりして楽しい時間を過ごしましたが、スパー

お

すわ

かえ

ほうほう

ーだけは落ちこんで、一人座りながらフェイジーへのし返しの方法を考えていました。



ルおじさんからのメッセージ

しんあい とも たび じっさい せいかつ やく た
親愛なるお友だちしょくん。もう、フェイジーランドの旅が実際の生活でも役に立

こと なら
つ事が分かったよね。フェイジーランドでは、習いたい物は、何でも習える。もちろん、

いき
水の中で息ができるのは、フェイジーランドでだけ。でも泳ぎはむこうでも、こちらでもで

おな やくだ とくぎ み
きる。同じように、こちらの世界で役立つ特技をむこうで身につけることができるんだ。

お く ゆうじょう
フォーは、しつこく追いかけて来るけど、ルーダとの友情が2人をいつも助けてくれ
る。もしかしたら、いつかあの2人が完全にこの魔法の国を、悪い竜から救ってくれる

し
かも知れないね。

はげ ちょうせん
それから、これまでアストラがどれほどフェイジーを励まし、色々な事に挑戦する
いよく
意欲を高めてきたか見て来たよね。次はなにが起こるかな？次の話でそれが分かる

つく ぼなし わす
よ。さあ、ここの話は作り話じゃないんだよ、忘れないで。ぜんぶ君にだってできるんだから！



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®



8

フェイジーランドのおとぎ話^{ほなし}

動物への変身とオオカミの群れ

(おやすみの前にお話してあげてくださいね)

作~マイケル・ラドゥーガ

訳~中山利一

編集~近藤五百子

イラスト~アンドレイ・グッドコフ

下のアドレスで 10 のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com





フェイスは、フェイスランドのどこかのジャングルに着きました。そこで四つん這いで歩いてみて、強いトラになろうとしました。

「ちょっと、新人さん、そこあたらしい人！」っと、頭の上でサルが言っているのが聞こえました。

「どっから来た？」クマが、おどかさように、通せんぼをして聞きました。

「散歩してるんだよ。」フェイスは、答えました。フェイスはもうすでにシマもようのシッポがついたトラに変身しているのに気がつきました。

フェイスは、動物たちみんなとお友だちになり、長い間楽しくみんなとあそびました。

でも、とつぜん怖い灰色のオオカミたちが森にやって来ました。みんなをおどかしたので、動物たちは、みんな逃げてしまいました。実は竜のフォーが、オオカミたちを裏であやつっていた事が分かりました。フェイスが、フェイスランドで何かやろうとしていた事が気に入らなかったのです。

フェイスはそのまま朝を迎えました。しかし、困った事は、目がさめた後も続いたのです。朝、家を出た時にスパーがやって来て、明日の夕方決闘をしようと言うのです。





フェイジーは、年上のスーパーにコテンパンにやっつけられてしまうのは分かっていますが、1日しっかりトレーニングをして決闘にのぞむ事にしました。

「おっ、受けて立つのか！でも、あいつ年上だぜ？」オビーはたずねました。

「もう引き下がれない。アストラは弱いヤツはきらいなんだ。」鉄棒に上りながら、フェイジーは答えました。

「バカな女の子は手におえない。もう、あきらめればいいじゃん！」

オビーは正しかったのかもしれません。

しかしフェイジーはアストラが好きなのです。そして、もう後もどりはできません。夜おそくまで、フェイジーは、腕立てふせとけんすい、そしてヒミツのパンチを練習しました。

一方、スーパーはただベッドに寝ころんで、フェイジーに勝つ事を思い描いていました。特にアストラがよろこんで、スーパーの力こぶにさわっている姿を想像してニヤニヤしていました。どちらにしろ、これがフェイジーをけ落して、アストラをとりもどす最後のチャンスなのです。





ひ ごご あ どうぶつ
その日の午後おそく、フェイジーはアストラと会って、ジャングルでの動物たちとの

ぼうけん はなし
冒険の話をしました。

に
「それで、いっぱいオオカミがいたんだよ！みんなかみつかれてこわがって、逃げちゃった！」

「それで、これからどうするの？」

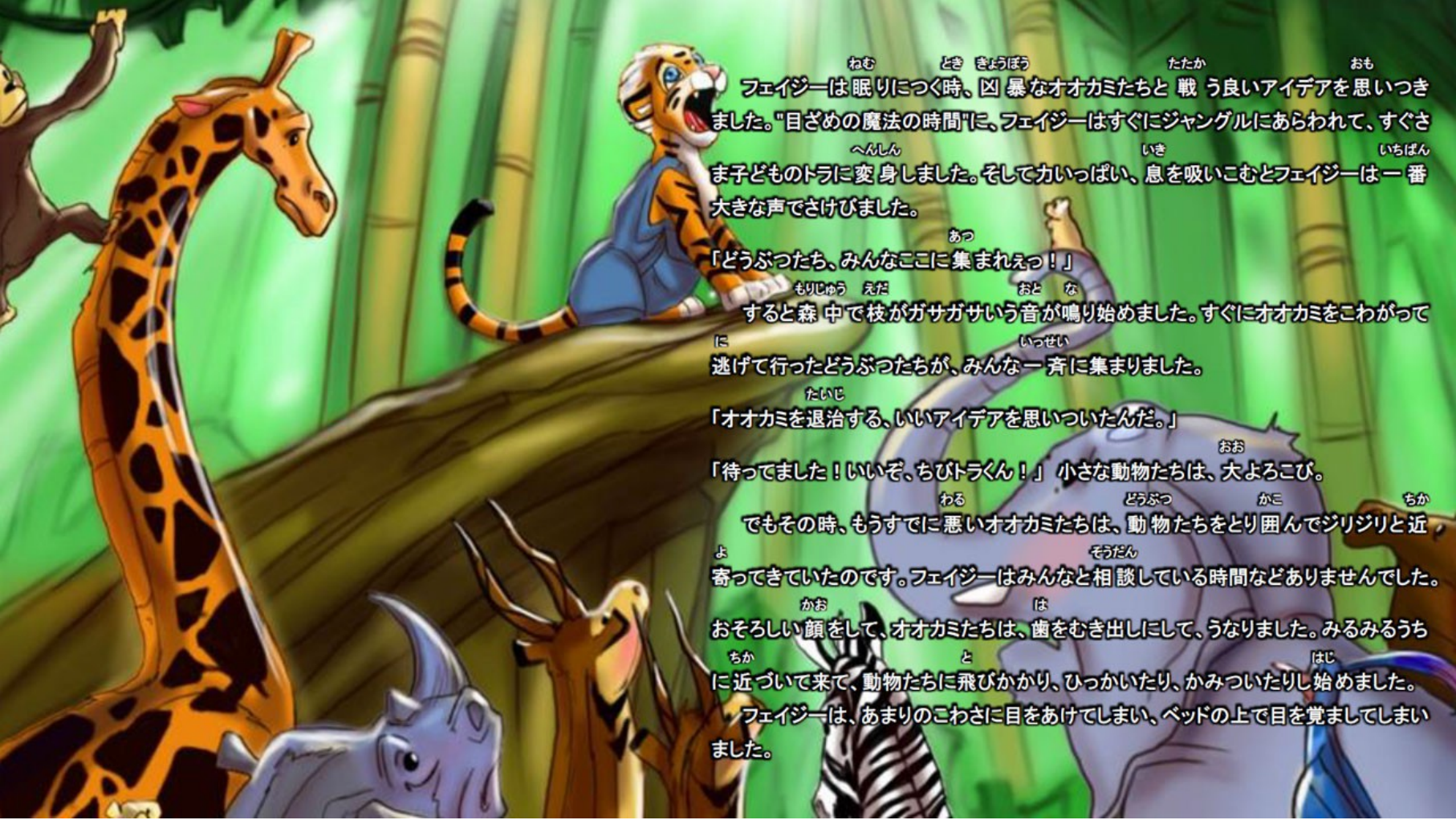
「分かんない。でも、あそこに行くのはこわいよ」

たす わたし ゆうき
「あのかわいそうな小さな動物たちを助けないの？私、あなたにはもっと勇気があると思ってたわ。それとも、わたしの思い違いだったのかしら？」アストラは、ちょっとイライラして言いました。

あした よろこ
き しょうしゃ
こういう様子だったら、もし明日スパーにまけてしまったら、アストラは喜ばないだろうなとフェイジーは思いました。気まぐれな女の子たちの目の前では、いつでも勝者でいなければならないのです。

たいじ
たたか けつとう やくだ
フェイジーは、まずはオオカミたちを退治して、フェイジーランドの動物たちを助ける事にしました。フェイジーは何とはなしに、「この戦いがスパーとの決闘にも役立てばいいな」と思っていました。





ねむ とき きょうぼう たたか おも
フェイジーは眠りにつく時、凶暴なオオカミたちと戦う良いアイデアを思いつきました。"目だめの魔法の時間"に、フェイジーはすぐにジャングルにあらわれて、すぐさ

へんしん いき いちばん
ま子どものトラに変身しました。そして力いっぱい、息を吸いこむとフェイジーは一番大きな声でさけびました。

あつ
「どうぶつたち、みんなここに集まれえっ！」

もりじゆう えだ おと な
すると森中で枝がガサガサいう音が鳴り始めました。すぐにオオカミをこわがってに逃げて行ったどうぶつたちが、みんな一斉に集まりました。

たいじ
「オオカミを退治する、いいアイデアを思いついたんだ。」

おお
「待ってました！いいぞ、ちびトラくん！」小さな動物たちは、大よろこび。

わる どうぶつ かこ ちか
でもその時、もうすでに悪いオオカミたちは、動物たちをとり囲んでジリジリと近寄ってきていたのです。フェイジーはみんなと相談している時間などありませんでした。

かお は
おそろしい顔をして、オオカミたちは、歯をむき出しにして、うなりました。みるみるうちに近づいて来て、動物たちに飛びかかり、ひっかいたり、かみついたりし始めました。

ちか と はじ
フェイジーは、あまりのこわさに目をあけてしまい、ベッドの上で目を覚ましてしまいました。





いつもの通り、粘り強いフェイジーは、ぜったいにあきらめず、次の"目ざめの魔法
お
の時間"ですぐさま、あのジャングルにもどろうとしました。残念ながらこの時はなにも起
こりませんでした。しかし、心の力を使って寝ている体からスッと抜け出す事を強く思い
あ
描いたら、ベッドからおき上がる事ができました。そして、すぐさまジャングルにもどる事
ができました。

フェイジーはすかさず空を見上げ、鳥を見つめました。「オオカミは空を飛ぶ鳥をつ
ひ つか
かまえられない。そしてヤツらは火をこわがる。」・・・それを、うまく使えないかとフェイ
ジーは、考えていたのです。

「アストラ、君なの？」 フェイジーは小鳥に語りかけました。小鳥はオオカミが怖くて、
きみ ことり こわ
えさを探さず事ができません。
さが

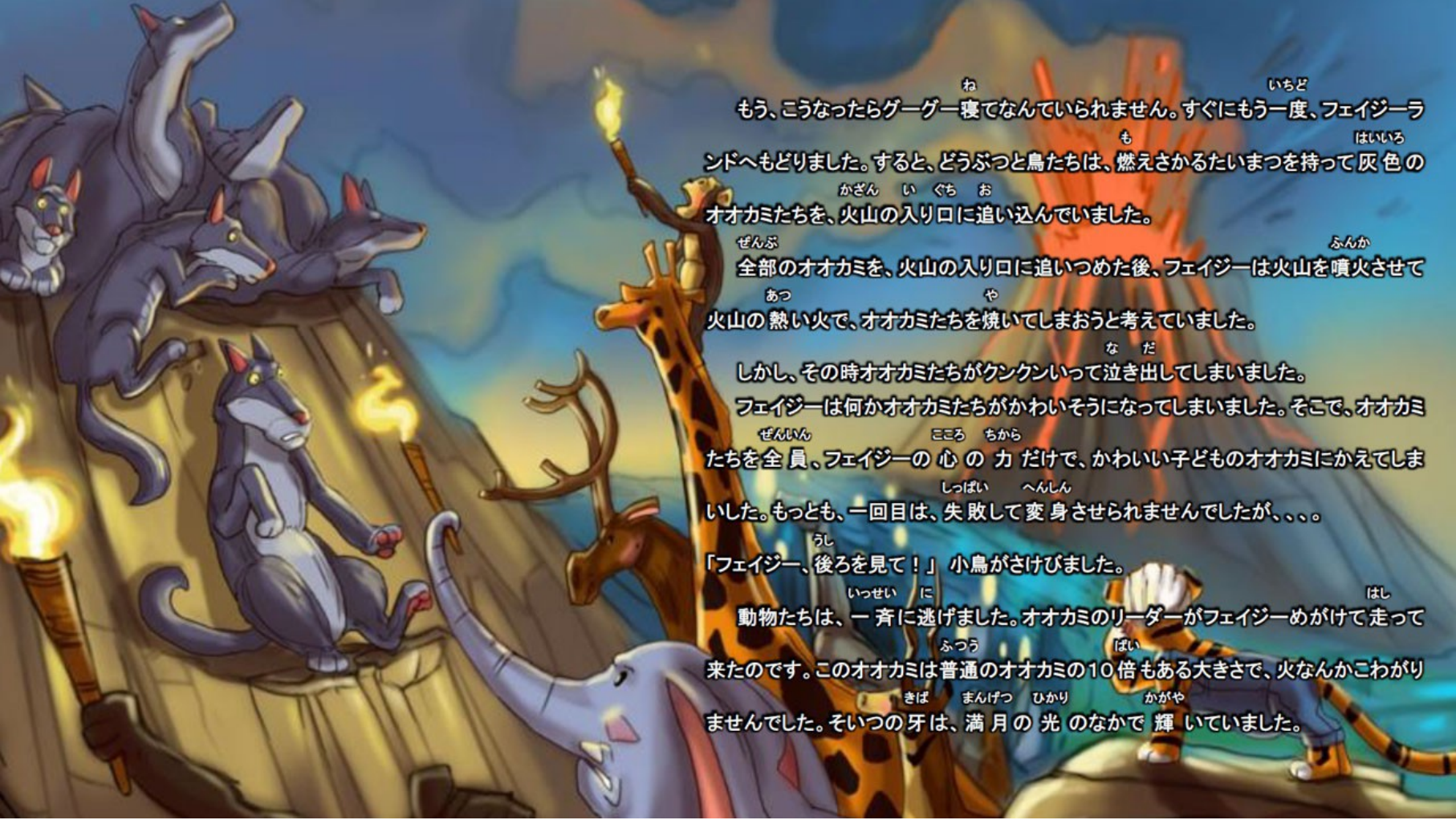
「何か 考 えついたの、フェイジー？」
かんが

「フェイジーランドの動物たちに、たいまつを持つように伝えてくれ。そしてオオカミをあ
も つた
かざん い ぐち
の火山の入り口まで追いこむんだ！」

それだけ伝えると、オオカミたちがおそいかかって来てしまい、フェイジーはアストラ
こま しじ
に細かく指示をする時間などありませんでした。

オオカミは、ものすごい牙を持っていて、フェイジーは、あまりの怖さにまたしても
きば
目を開けてしまい、ベッドの上で目を覚ましてしまいました。





もう、こうなったらグーグー寝てなんていられません。すぐにもう一度、フェイジーラ

ンドへもどりました。すると、どうぶつと鳥たちは、燃えさかるたいまつを持って灰色の

オオカミたちを、火山の入り口に追い込んでいました。

全部のオオカミを、火山の入り口に追いつめた後、フェイジーは火山を噴火させて

火山の熱い火で、オオカミたちを焼いてしまおうと考えていました。

しかし、その時オオカミたちがククンいって泣き出してしまいました。

フェイジーは何かオオカミたちがかわいそうになってしまいました。そこで、オオカミ

たちを全員、フェイジーの心で、かわい子どものオオカミにかえてしま

いました。もともと、一回目は、失敗して変身させられませんでした。...

「フェイジー、後ろを見て！」小鳥がさげびました。

動物たちは、一斉に逃げました。オオカミのリーダーがフェイジーめがけて走って

来たのです。このオオカミは普通のオオカミの10倍もある大きさで、火なんかこわがり

ませんでした。そいつの牙は、満月の光のなかで輝いていました。





オオカミのリーダーは、もうゾツとするくらいおそろしく、ちびトラのフェイジーの足は
うし あし さ は ふる
ふるえ、シッポは後ろ足の間に下がり、歯がカチカチって震え出しました。

「こわい…どうしよう…？」

もう、逃げる所なんてありません。ちびトラ・フェイジーは、おそろしいオオカミのリー
ほ にひき つ ひ あ
ダーに、吠えて立ちむかって行きました。二匹は、かみ付いて、引っかき合いました。フ
きば め つめ は
ェイジーは、とつぜんオオカミの牙をすり抜け、後ろにまわり、爪と歯でオオカミのシッ
く わか も
ポに喰らいつきました。どんなにふり落とそうとしても、若くてするどい歯を持ったちびト
お ひっし
ラ・フェイジーを、ふり落とす事はできませんでした。フェイジーは必死でオオカミにかみ
ついたままです。

まえ か つか
「こうさんだ！お前の勝ちだ！」疲れきったオオカミは、ヒーヒー言いました。

やくそく
「もう、みんなをいじめないって約束するか？」食いしばった歯の間からちびトラはうなり
をあげました。

ひっし たの
「約束する！ぜったいに！」オオカミは、必死にフェイジーに頼みました。

動物たちは、ワーワーと声を上げてよろこびました。その中でフェイジーはオオカミ
にが
を逃してやりました。





次の日の夕方、子どもたちはみんな、スーパーとフェイジーの決闘を見にバスケットボールのコートに集まりました。アストラは、決闘の事は知っていましたが、自分が原因であるとは知りませんでした。

スーパーは、何も知らないのに、楽チンで勝てると思っていましたが、フェイジーの身のこなしも、見かけが、いつもどちがってものすごく強そうに見えました。フェイジーは、相手をおどすようにシャツをまくり上げ、まるで威張る事しか知らないオオカミと戦うように、決闘の用意をしました。

すると、おどろいた事に、自信満々で決闘にのぞむフェイジーを見ただけで、スーパーは悲鳴をあげて、逃げてしまいました。みんな大よろこびしました。

「あんなに臆病だって、知らなかった！」アストラは、クスクス笑いました。

「ほくも、これからもう一つ大きな仕事が残っているんだ。フェイジーランドから悪い竜を永遠に追放しなくちゃ。」フェイジーが、答えました。

「そんな事できるの？」

フェイジーは、意味ありげに笑いました。あたらしいアイデアが、浮かんでいたのです。



マイケルおじさんからのメッセージ

親愛なるお友だちしょくん。フェイジーはとうとうアストラを横取りしようとするライブ
ルをやっつける事ができたね。そうする中で勇気を持って、決断する事が大事なことを
フェイジーはみんなにおしえてくれたね。フェイジーは、全部手に入れた。この大切
なレッスンを、フェイジーははたして、活かす事ができるかな？

フェイジーは、灰色のオオカミをやっつけただけではなく、やつらをこわがる事も
止める事ができた。もし、君たちにもこわいと思うものがあつたら、それはフェイジーラン
ドの中で克服する事ができる。するとこちらの世界でもそれを「こわい」と思う事を止める
事ができるんだ。私たちが、「もうこんなのできっこない。」と思うようなことはフェイジー
ランドには無いんだ。

この物語を全部読んできたきみたち、他にどこでトラ、鳥、イルカやらチョウチョに
変身することができると思う？ どうぶつと話せるなんて、フェイジーランドでしかできな
い事だよ。"目ざめの魔法の時間"をしっかり覚えておきなさい、君の夢はフェイジー
ランドでかなうんだから。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com[®]

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com[®]

9

フェイジーランドのおとぎ話^{はなし}

タイムマシンの旅行とファラオの秘密

(おやすみの前にお話してあげて下さいね)

作~マイケル・ラドゥーガ

訳~中山利一

編集~近藤五百子

イラスト~アンドレイ・グッドヨフ

下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



さいきん おお せいちょう おとこのこ
最近のフェイジーは、どんどん大きく成長して、たくましい男の子になりました。

まいあさいきお た
毎朝 勢い良くよく起きて、オートミールをモリモリ食べています。

でも頭の中はどうやって悪いフォーの手から、フェイジーランドを自由に上げてあげるかと言う事で一杯。フェイジーは、竜という生き物はどこから来て、なぜ人間をきらうのかを、つきとめる事から始めなくてはいけない事に気づきました。これをつきとめたら、フォーの弱点を見つけて、やっつけるのに絶対役立つと思っていました。

「なんでフォーは、人間がきらいなの？」 フェイジーは、お母さんに聞きました。

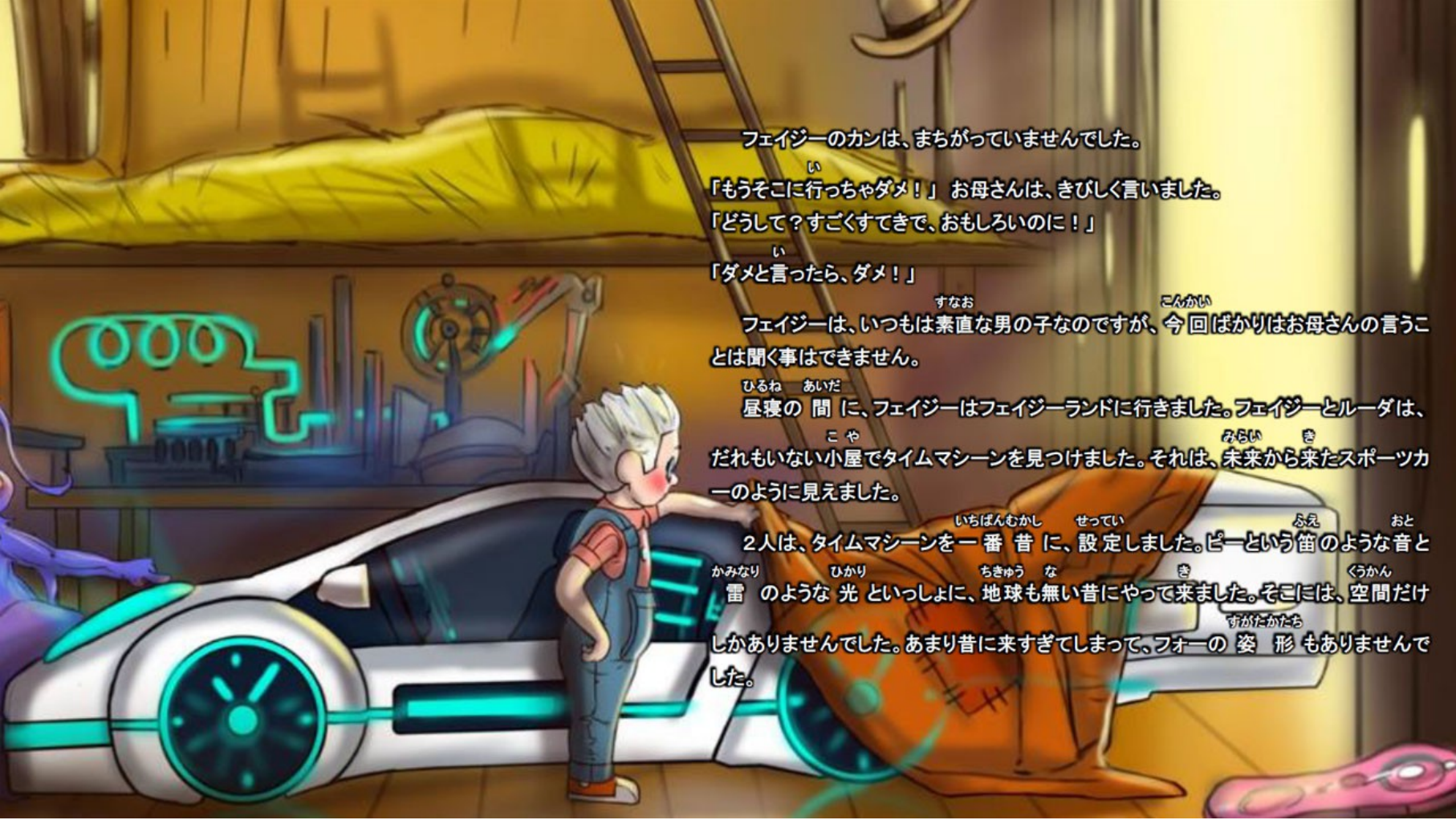
「フォーって誰？近所の人？」

「ちがう、フェイジーランドの竜だよ。前にも言ったじゃない。」

「あらっ、そっ、、知らないわ。」お母さんはフェイジーを疑うように見つめて、イライラしながら脚をゆすり始めました。

「何か…、何かよくない事が起ころうとしています。」





フェイジーのCANは、まちがっていませんでした。

「もうそこに行っちゃダメ！」 お母さんは、きびしく言いました。
「どうして？ すごくすてきで、おもしろいのに！」

「ダメと言ったら、ダメ！」

フェイジーは、いつもは素直な男の子なのですが、今回ばかりはお母さんの言うことは聞く事はできません。

屋敷の間に、フェイジーはフェイジーランドに行きました。フェイジーとルーダは、だれもない小屋でタイムマシンを見つけました。それは、未来から来たスポーツカーのように見えました。

2人は、タイムマシンを一番昔に、設定しました。ピーという笛のような音と雷のような光といっしょに、地球も無い昔にやって来ました。そこには、空間だけしかありませんでした。あまり昔に来すぎてしまって、フォーの姿形もありませんでした。





フェイジーはタイムマシンの旅から戻り、^{ひるね}屋寝から覚めました。そして、いつものと^がも^りなか^ある^るだちといっしょにイチゴ狩りに行きました。森の中を歩いている時、アストラとフェイジーのお母さんたちは、子どもたちの奇妙な^{きみよう}「フェイジーランドごっこ」^{はな}について話していました。この問題^{もんだい}はもう、笑い事では^{わら}ありません。^{ごと}

「なんか悪い事したの、私^{わたし}たち？」アストラもお母さんから叱^{かあ}られたよう^{しか}です。

「お前^{ゆめ}ら、アホか。ただの夢^{くち}なの^に。」イチゴを口^{くち}にほおぼ^つって、オビーはニヤツとわ^らいました。

「アストラ、だいじょうぶだよ。なんか考えてみよう。」

フェイジーは、アストラをなぐさめると、オビーにきつい^くピンタを喰^くらわ^せました。もう少^っしで、イチゴをのどに詰^{おこ}ま^らせ^はせ^じそうにな^らったオビーは、怒^{はら}って森の端^{はら}っこにある^ある^る原^{はら}っぱ^ありに歩いて行^あってしま^あいました。





こと ゆうがた
フェイジーとアストラは、これからの事について夕方まで考えました。フェイジーはお母さんが誰かに似ているような気がしてなりませんでしたが、どんなに考えてもその誰かが分かりませんでした。

とき ことごと
夕ごはんの時、フェイジーはまた、お母さんのお小言を聞かなければなりませんでした。

「そのフェイジーランドって言うのは、だれがお前にふきこんだの？」お母さんはきびしいと言いました。

なんかい
「ルーダだよ。何回も言ったでしょ。」

す
「どこに住んでんのよ、その子？どの家？」

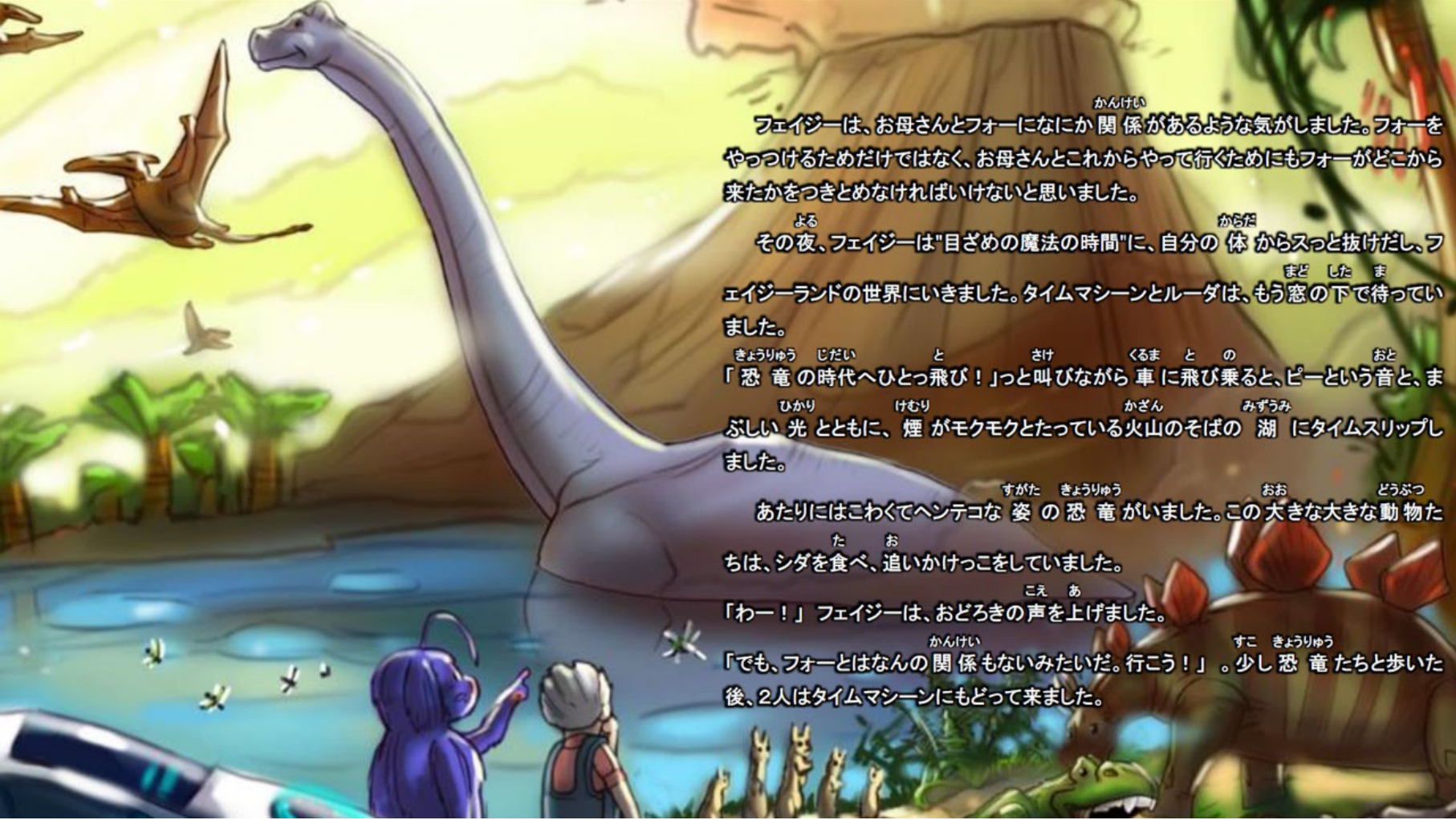
「ハハハ！」

わら
「笑うんじゃないの！もう、ルーダって子と話すのも、フェイジーランドに行くのもダメ。分かった？」

かあ かせ
「でも、お母さん、、、」フェイジーはそう言い返そうと思ったそのとき、おもしろい事が分かりました。

わる りゆう に
そう、お母さんは悪い竜のフォーに似ていたのです。どうして、お母さんはフォーのように振るまったり、話したりするのでしょうか？お母さんが悪い竜だなんて事があるのでしょうか？





フェイジーは、お母さんとフォーになにか^{かんけい}関係があるような気がしました。フォーをやっつけるためだけではなく、お母さんとこれからやって行くためにもフォーがどこから来たかをつきとめなければいけないと思いました。

その夜、フェイジーは“目ざめの魔法の時間”に、自分の^{よる}体^{からだ}からスッと抜けだし、フェイジーランドの世界にきました。タイムマシンとルーダは、もう窓の下で待っていました。

「^{きょうりゆう}恐^{じだい}竜の時代へひとつ飛び！」と叫びながら^と車^{さけ}に飛び乗ると、ピーという音と、ま^{ひかり}ぶしい光^{けむり}とともに、煙^{かざん}がモクモクとたっている火山のそばの^{みずうみ}湖^{みずうみ}にタイムスリップしました。

あたりにはこわくてヘンテコな^{すがた}姿^{きょうりゆう}の恐^{おお}竜^{どうぶつ}がいました。この大きな大きな動物たち^たは、シダ^おを食べ^お、追いかけてこしていました。

「わー！」フェイジーは、おどろきの声^{こえ}を上げました。

「でも、フォーとはなんの^{かんけい}関係^{かんけい}もないみたいだ。行こう！」。少し^{すこ}恐^{きょうりゆう}竜^{どうぶつ}たちと歩いた後、2人はタイムマシンにもどって来ました。





そして今度は、未来に行く事にしました。もしかしたら、だれかがそこで、フォーがど

こから来たか教えてくれるかもしれません。タイムマシンはピーといって、ピカッと光
ると、2人は高いビルの空間を自由に飛び交う車たちの間に移動しました。

「未来だ！」フェイスの顔は、喜びでかがやきました。
「だれかにフォーの事をきかなきゃ！」ルーダが、言いました。

2人は、空とぶカフェでタイムマシンを止めました。ソーダを注文しようと店の前
で並んでいると、電気なべのような妙な帽子を頭にかぶった男の子がとなりに立っ
ていました。

男の子と話しをすると、未来ではみんなフェイスランドの事を知っているという事
が分かりました。大人でも、子どもでも毎日長い間フェイスランドにいるそうです。

でも、みんなフォーの事は知りませんでした。おどろいたと同時に、ガックリもした2
人は、タイムマシンのいすにドツシリと座りました。

次は何をしようか考えている時に、フェイスはとつぜんタイムマシンから戻り、
いつものベッドの中で目がさめてしまいました。





だいへん いそ
「大変だ！」 急いでフェイジーはタイムマシンに乗っている自分の姿をこころに
もど しゅんかん よこ
描き、ふたたびタイムマシンに戻りました。次の瞬間にはフェイジーはルーダの横
にいました。そして、2人はタイムマシンに乗って古代エジプトにむかって出 発しまし
た。

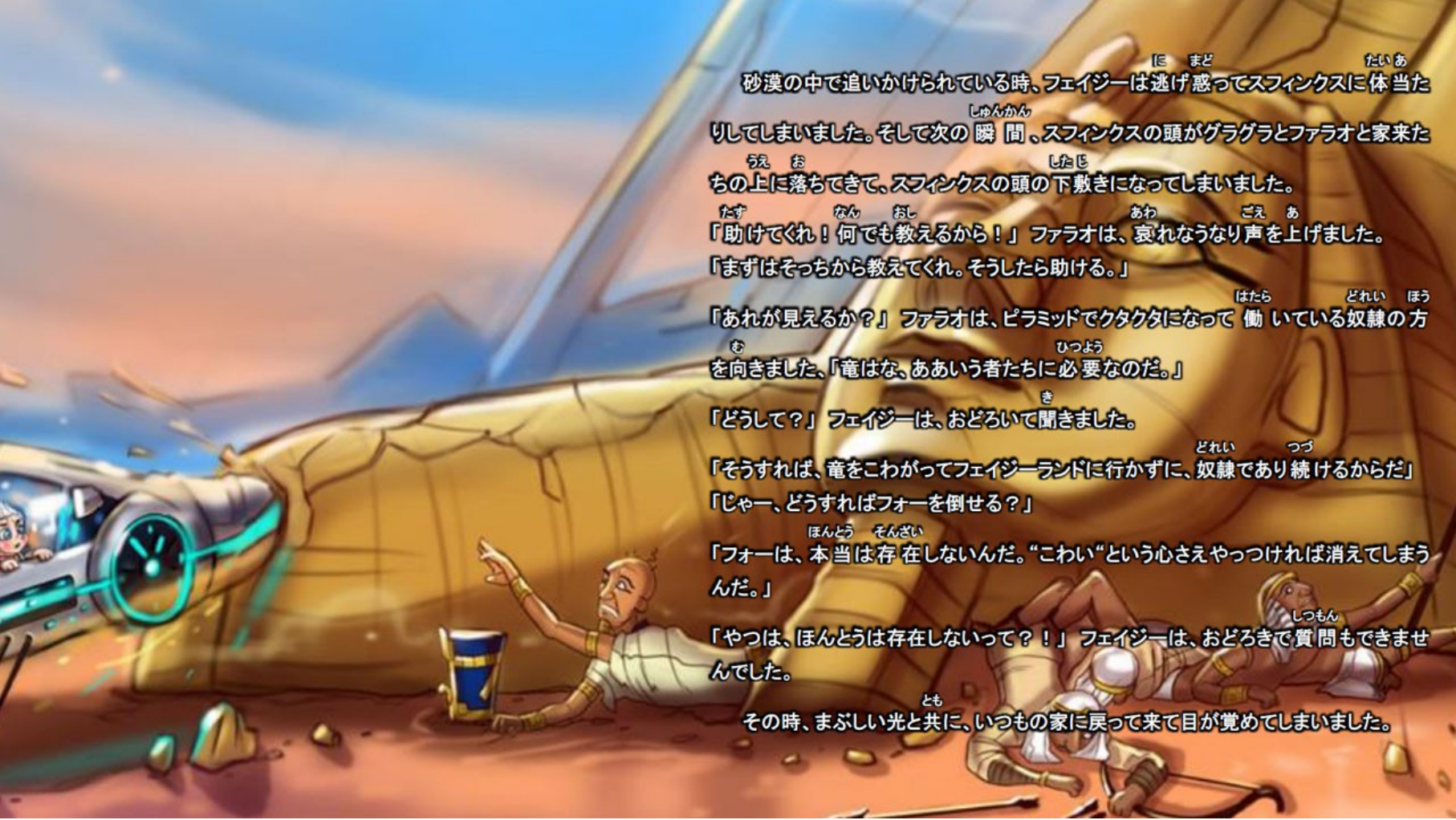
けんはつちゆう
ピーという音と、まぶしい光の後、2人は建設中のピラミッドの合間にあらわれま
した。威張った王様のファラオが、こわい顔をして馬車の中に座っていて、すぐに2人
の横にやってきました。

なにもの
「竜のフォーは何者だった？！お前の知った事ではない。」ファラオは、フェイジーの
しつもん
質問におどろいたようでした。

もの けらい
「この者どもを、つかましろ！」と、家来たちにとどると、ファラオはフェイジーとルー
ダにむかって来ました。

ゆみや やり し ま
そしてものすごいスピードで弓矢と槍がとんで来て、ドアを閉めている間もありません
でした。その一つは、きかい きず
機械を傷つけて、タイムマシンは、こわれてしまいました。フ
エイジーとルーダはひっし
必死で未来へ戻ろうとしましたが、ファラオと家来たちはピラミッドの
まわ さばく お まわ
周りの砂漠で2人を追いかけ回しました。





砂漠の中で追いかけている時、フェイジーは逃げ惑ってスフィンクスに体当た

りしてしまいました。そして次の瞬間、スフィンクスの頭がグラグラとファラオと家来た

ちの上に落ちてきて、スフィンクスの頭の下敷きになってしまいました。

「助けってくれ！何でも教えるから！」ファラオは、衰れなうなり声を上げました。

「まずはそっちから教えてくれ。そうしたら助ける。」

「あれが見えるか？」ファラオは、ピラミッドでクタクタになって働いている奴隷の方

を向きました。「竜はな、ああいう者たちに必要なのだ。」

「どうして？」フェイジーは、おどろいて聞きました。

「そうすれば、竜をこわがってフェイジーランドに行かずに、奴隷であり続けるからだ」

「じゃー、どうすればフォーを倒せる？」

「フォーは、本当は存在しないんだ。“こわい”という心さえやつければ消えてしまっ

た。」
「やつは、ほんとうは存在しないって?!」フェイジーは、おどろきで質問もできませ

その時、まぶしい光と共に、いつもの家に戻って来て目が覚めてしまいました。





翌朝の朝ごはんの時、フェイジーはお母さんに聞いてみました。

ね ゆめ こと
「お母さんは寝ている時に、“夢”を見ている”って気づいた事はある？」

「まだはじまった。ええ、あるわよ。」

「それじゃあ、夢の中で夢を見て、夢から覚めてもまだ夢の中だったっていう事は？」

きのう い
「昨日そう言えば、そんな事があったわ。」

「お母さん、それがフェイジーランドなんだよ！お母さんもフェイジーランドに行っているんだよ！」

ふしぎ ふらよ
フェイジーは、夜中に起こる、不思議な事がフェイジーランドと言う風に呼ばれ、そ

してだれでもそこに行ける事を説明しました。フェイジーのお母さんは、フェイジーの

言う事にびっくりして、じっと考えていました。それ以来お母さんは、フェイジーランドに

行くなどは2度と言いませんでした。お母さんの心からフェイジーランドへの不安が消えたのでした。

と ふあん
そして、フェイジーとアストラは、わる りゆう さいご たたか じゅんび
悪い竜との最後の戦いのために準備をしはじめました。



マイケルおじさんからのメッセージ

親愛なるお友だちしょくん。これで、タイムマシンを見つけて、遠い未来や昔
に行く方法が分かったんじゃないかな。フェイジーみたいに、君たちも恐竜を見たり、
恐竜と一緒に歩きたくないかい？

とうとう、フォーの正体が分かった。他の冒険とおなじく、これもまた本当の話だよ。フェイジーランドの悪い竜は、“こわい”と感じる「思い」が竜となってあらわれた物なんだ。みんなこわがらなければずっとフェイジーランドを旅行してるんだが、、、。

本当の戦いは、これから。あの子たちは、フォーを倒せるかな？あの子たちは、悪い竜を倒せるくらい強いかな？それはすぐに分かる！さてさて、今は、フェイジーランドという魔法の国と"目ざめの魔法の時間"を忘れないでくれ。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®

A young boy with white hair, wearing a tall, pointed wizard hat and blue overalls over a red shirt, is lying on his stomach on a yellow rug. He is holding a wand in his right hand and pointing at an open book with his left hand. The background is a library with wooden bookshelves filled with books. A wooden staircase is visible in the background, and a glowing lantern is on the right side.

10

フェイジーランドのおとぎ話^{おはなし}

悪い竜との魔法の戦い、そしてアストラの心をつかむ

(おやすみの前にお話してあげてくださいね)

作~マイケル・ラドゥーガ

訳~中山利一

編集~近藤五百子

イラスト~アンドレイ・グッドコフ

下のアドレスで 10 のおはなし全てがダウンロード出来ます。

www.phasieland.com



にちまえ まじゆつ つか ひと ほん よ

2-3日前、フェイジーは魔術を使う人の本を読みました。フェイジーは、魔術はぜったいやく た おも 絶対役に立つと思っていました。フェイジーは魔術を使って竜をやっつけることにしたのです。

おどろ

そんな時、フェイジーは、とつぜんアストラにキスをしようとした。驚いたアストラはフェイジー顔に思いつきピンタをしました。それからというもの、フェイジーアストラの横に座るのもこわくなってしまいました。ちなみに、女の子は、好きな男の子にこんな事をしてしまう時もあるのです。しかしフェイジーには、アストラの本当の気持ちはわかりません。

かあ

「なんでアストラは、ほくとキスするのがイヤなんだろう？」フェイジーは、お母さんに、だいこうぶつ あさ はん た き 大好物の朝ご飯のオートミールを食べている時に聞きました。

はや

「キスはちょっと早すぎるんじゃないの？」

「ただ、ほっぺにしようとしただけだよ！」

なに とくべつ

「まあ、それならいいかもね。でも、突然はだめ。何か特別な理由がなければね。」つとい 言ってお母さんは笑いました。

か

「フォーに勝つってすごい事だから、成功したら、キスしてくれるかな…!？」、フェイジーは、お母さんが言った事が気に入りました。





フェイジーは「目ざめの魔法の時間」にフェイジーランドに行き、アストラとルーダに会いました。

「ルーダ、僕がフェイジーランドにいる時に、ぼやけて物がよく見えない時があるんだけど、そういう時はどうしたらいいの？」フェイジーは悪い竜のフォーに聞こえよがしに、わざと大きな声で聞きました。

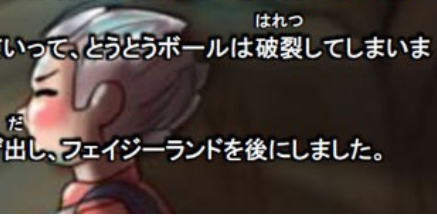
「まずは物を手にとって、じっとよく見て、さわって、、、」と、ルーダが言いかけた時、
そら ほのお ほ ごえ
空が 炎 にかわり上からフォーが吠える声が聞こえました。

き
「来たわ！はじめましょう！」アストラは、ドキドキしながら言いました。

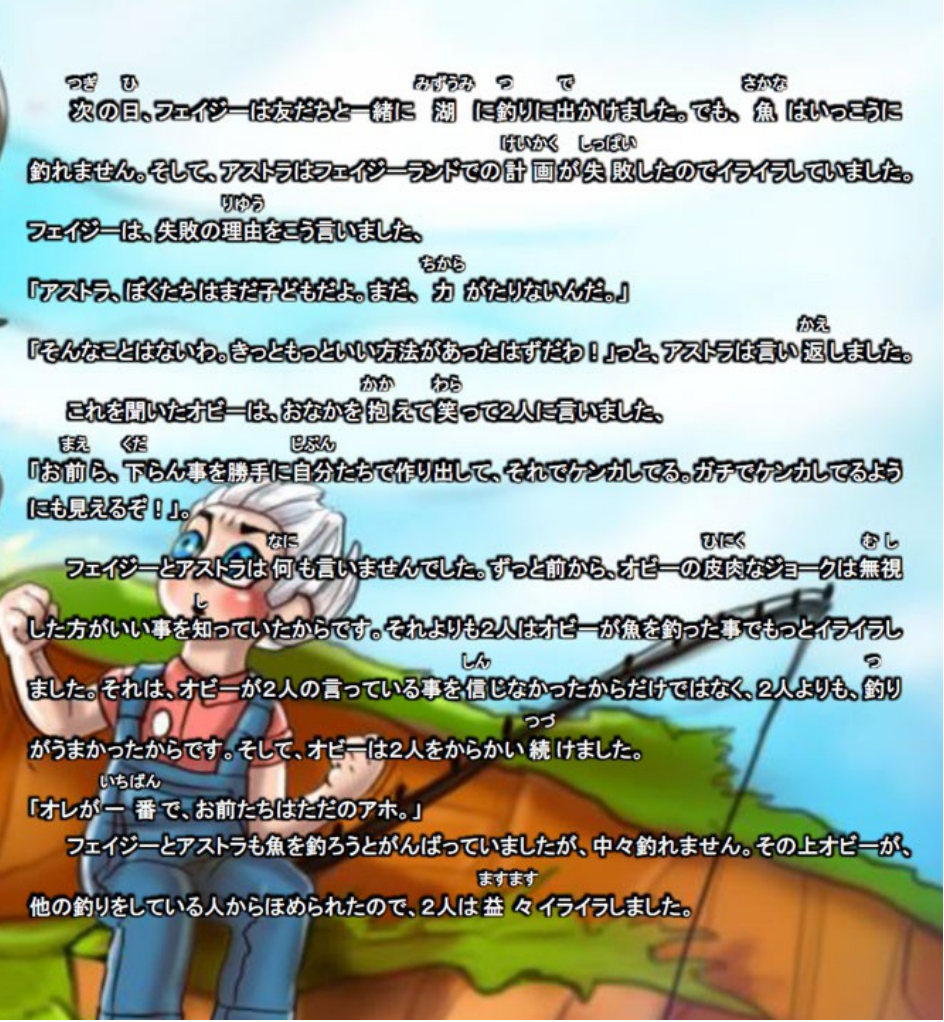
り に
ルーダは、2人を助ける事ができないので、いちもくさんに逃げました。フェイジーと
ほのお も りょうがわ て の
アストラは、炎 が燃えさかっているフォーを、両 側 からはさみこんで、手を伸ばし、フ
かミ ミ
オーを囲み込むようにしました。

とつぜん とうめい でんき つつ
すると、突然大きな透明な電気のボールができて、フォーをそのボールの中に包
げんし
みこんでしまいました。フェイジーとアストラは、このボールを心のかで原子の大きさま
ちぢ ぎやく ふく
でに縮めようと考えていました。しかし、フォーは 逆 に大きくなってきて、どんどん膨ら
ひょうめん うす はれつ
んできました。ボールの表面 が薄くなって行って、とうとうボールは破裂してしまいました。

おこ いちもくさん に た
2人は、怒ったフォーから一目散で逃げ出し、フェイジーランドを後にしました。







つぎ ひ みずうみ つ で さかな
次の日、フェイジーは友だちと一緒に 湖 に釣りに出かけました。でも、魚 はいっこうに
釣れません。そして、アストラはフェイジーランドでの計 画 が失敗したのでイライラしていました。

フェイジーは、失敗の理由をこう言いました、

「アストラ、ぼくたちはまだ子どもだよ。まだ、力 がたりないんだ。」

「そんなことはないわ。きっともっといい方法があったはずだよ！」と、アストラは言い返しました。

これを聞いたオビーは、おなかを抱えて笑って2人に言いました、

「お前ら、下らん事を勝手に自分たちで作り出して、それでケンカしてる。ガチでケンカしてるよう
にも見えるぞ！」。

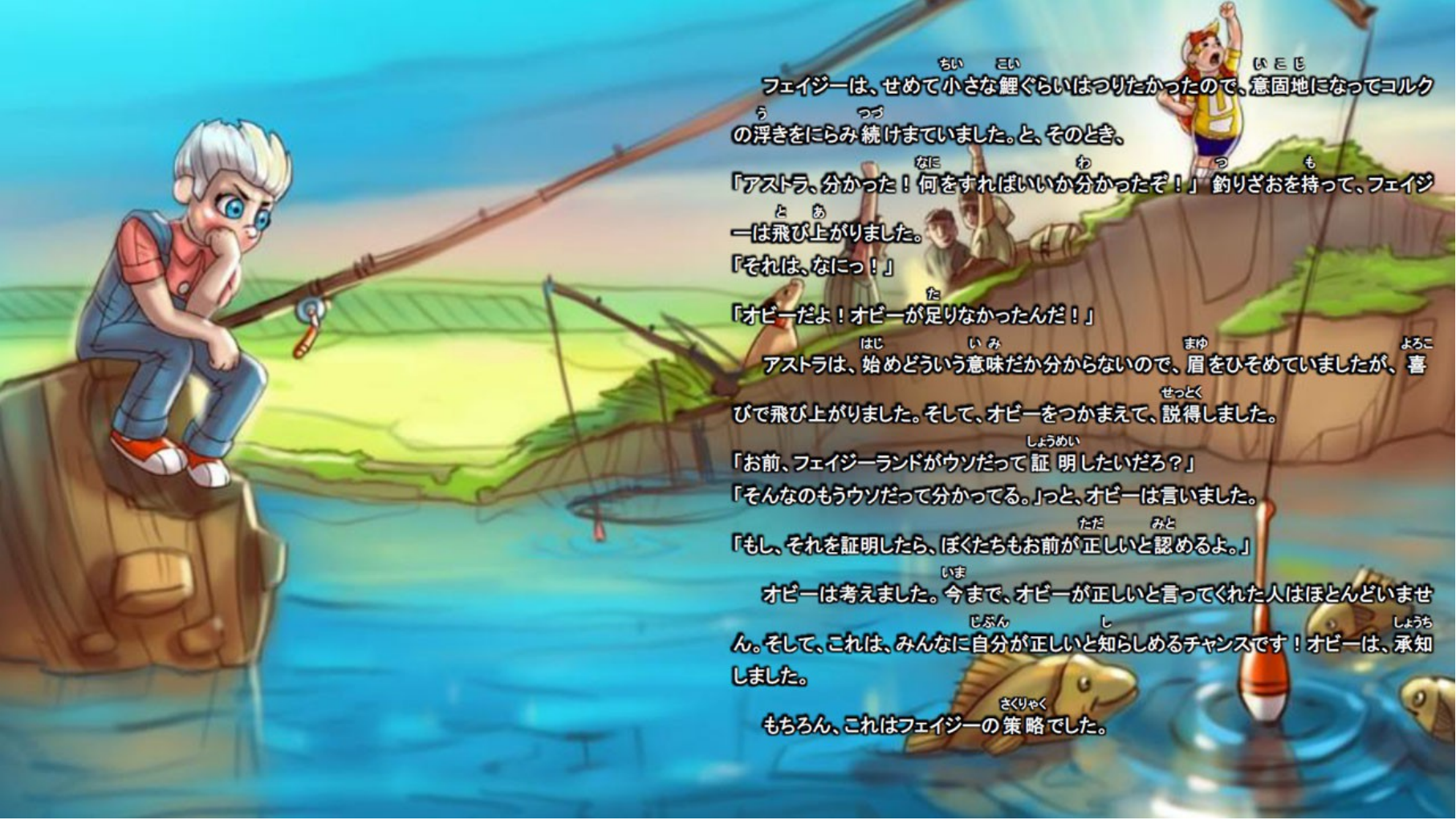
フェイジーとアストラは何も言いませんでした。ずっと前から、オビーの皮肉なジョークは無視
した方がいい事を知っていたからです。それよりも2人はオビーが魚を釣った事でもっとイライラし

ました。それは、オビーが2人の言っている事を信じなかったからだけではなく、2人よりも、釣り
がうまかったからです。そして、オビーは2人をからかい続けました。

「オレが一番で、お前たちはただのアホ。」

フェイジーとアストラも魚を釣ろうとがんばっていましたが、中々釣れません。その上オビーが、
他の釣りをしている人からほめられたので、2人は益 々 イライラしました。





ちい さい
フェイジーは、せめて小さな鯉ぐらいはつりたかったので、意固地になってコルク
う つづ
の浮きをにらみ続けまていました。と、そのとき、

なに わ つ も
「アストラ、分かった！何をすればいいか分かったぞ！」釣りざおを持って、フェイジ
と あ
ーは飛び上がりました。

「それは、なにっ！」

た
「オビーだよ！オビーが足りなかったんだ！」

はじ い み まゆ よろこ
アストラは、始めどういう意味だか分からないので、眉をひそめていましたが、喜
びで飛び上がりました。そして、オビーをつかまえて、説得しました。

しょうめい
「お前、フェイジーランドがウソだって証明したいだろ？」

「そんなのもうウソだって分かってる。」と、オビーは言いました。

ただ みと
「もし、それを証明したら、ぼくたちもお前が正しいと認めるよ。」

いま
オビーは考えました。今まで、オビーが正しいと言ってくれた人はほとんどいませ
ん。そして、これは、みんなに自分が正しいと知らしめるチャンスです！オビーは、承知
しました。

さくりやく
もちろん、これはフェイジーの策略でした。





フェイジーは、3人いれば鬼に金棒だと思ったのです！オビーが、フェイジーランドにあれば、悪い竜と戦うのに十分な魔法の力が得られる！

オビーは、フェイジーに教えてもらった通りにフェイジーランドに行こうと一生懸命がんばりました。しかし、言われたとおりに全てやりましたが、何も起こりませんでした。どんなにがんばっても、「目ざめの魔法の時間」を上手に使う事ができませんでした。

「ぜんぜん、できん。僕がフェイジーランドに行けなかったら、お前の負けだ！」次の日にオビーはフェイジーに向かって、そう言いました。

「今日もがんばれ！」と、フェイジーは、はげました。「こんなのムダだ！」

「じゃー、後で私がキスしてあげるのはどう？」と、アストラは優しく言いました。

オビーは、降参しました。こうなると、オビーもやるしかありません。このズルい作戦でアストラはフェイジーを怒らせてしまいましたが、チームで行動する時にはこういう方法が必要な時もあるんです。





言うまでもなく、オビーはその夜、命よる いのちがけてフェイジーランドに行くために頑張りがんばました。

オビーは、今までにないほどの決心けっしんと自信じしんをもって挑もたらせん戦せんしました。そうなんです、フェイジーランドに行けない人は、決心けっしんと自信じしんが足りないのです。

「今日はぜったいやる。そしたらアストラは、オレに二回キスをする！」オビーは、決きまめました。

オビーは「目ざめの魔法の時間」にいっしょうけんめいに、あの2人とフェイジーランドにいる所を心に思いえがきました。しかし、何も起きませんでした。

次にオビーは教えられたとおりに、体を抜けだして宙ちゆう うに浮いているイメージをしました。

「あーっ！」オビーは叫さけびました。計けい画かくはうまく行きました。オビーはベッかで寝ている自分の体からだを天てん井じやうから見下ろして見みていました。オビーは、あまりにもビックリしてしまって、

キスの約束も忘れて、すぐにフォーと戦たたかうとフェイジーとアストラに約束やくそくしました。





けっせん
そして、決戦の夜がやって来ました。

わるもの まほう くに
3人そろってのはじめてフェイジーランドへやって来ました。悪者のフォーを魔法の国
えいえん せかいちゆう ひとびと たす
から永遠に追放して、世界中の人々を助けるチャンスがやって来ました。

かこ こんど じゆもん
フォーがあらわれると、3人はまた、フォーを囲いこみました。今度は呪文をととなえて、フォーをただのチョウチョイにかえてしまおうと思っていたのです。

いる ときどき
どんなにがんばっても、フォーの色だけしか変える事ができませんでした。時々、
へんしん もと すがた
フォーはゾウに変身しましたが、また元の姿にもどってしまうのです。

ひ にん や ころ
「お前たちには、負けやしない！」フォーは、火をふいて3人を焼き殺そうとしました。

かえ いなずま な
そしてお返しに、3人は稲妻を、フォーに投げつけました。

つよ
「フォーがどんどん大きくなって、強くなって！」アストラは言いました。

はや
「おい、逃げるぞ！」、いち早くフェイジーランドから逃げ、目を覚まそうとしているオビーが言いました。





そして、フォーは、見る見るうちに大きさと強さを増していきました。もう絶体絶命です。

「待てっ！」怯えて、引き下がっている2人に、フェイジーが叫びました。フェイジーにすば

素晴らしいアイデアが浮かんだのです。
「早くフォーの所^{ところ}に行ってみみんなでフォーを抱きしめるんだ！」

「ダメ、そんな事できるわけないっ！」アストラとオビーが、いっしょに叫びました。

「もし、ぼくたちと戦^{たたか}う事でフォーが、どんどん大きくなって強くなるとしたら、その逆をやってみたらどうだろう？みんなでフォーを抱きしめてみないか？」

フェイジーは、フォーにかけよって、抱きしめてあげました。
するとどうでしょう。フォーは、見る見るうちに小さくなってしまいました。

これを見た2人もフォーにかけよって、抱きしめようとしたのですが、遅すぎました。

フォーは、小さくなって消えてしまったからです。

フォーがいなくなり、4人の友だちどうしは抱き合って喜びました。

その後、フェイジーランドで大きなパーティーが始まりました。何と、あの小ぢやな

竜^{りゅう}のルーダが、フェイジーランドのあたらしい大^{だい}統領^{とうりょう}に選ばれたのです！みんなは大よろこび！





次の日、いつもの森の空き地に集まった3人は喜んで、飛び回りました。アストラは、最後にフェイジーにキスをして、これから毎日いっしょにあそぶ約束をしました。

フェイジーランドがただの作り話ではない事が分かったオビーは、いっしょうけんめいになって正しいやり方と、フェイジーランドで何ができるのかを聞きました。

オビーは、「でもさ、僕はルーダは紫じゃなくて、緑だったと思う。」

「ちがうよ！ルーダは、紫で毛むくじゃら！」フェイジーが、言いました。「違うよ、ルーダには、毛じゃなく、ウロコがあっただろ！」

二人の話しが中々かみあいません。

「バカな子たちね、アンタたちは何も分かってないわ。」2人の言い合をさえぎって、アストラが落ち着いて言いました。

「フェイジーランドは、本当にある不思議な世界。そこには何でもあるし、何でもできる。それさえ分かればいいじゃない！」



マイケルおじさんからのメッセージ

しんあい とも ゆうじょう こんなん ふこう の こ
親愛なる友だちしょくん。こうして、友情は、すべての困難と不幸を乗り越える事
ができるんだ。

ぼうけん きみ なか
ぼくたちのすごい冒険はもうおしまい。しかし、ヒーローたちはまだ君の中にいる。
フェイジーランドに行けば、小ちゃい竜のルーダ、フェイジー、アストラそしてオビーにい
あ じゃま
つでも会う事ができるんだから。悪い竜のフォーはやっつけられたから、邪魔するヤツ
はもういない。

わす た
忘れないで、フェイジーランドは、ただあそんでアイスクリームが食べられるだけの
所ではないよ。たくさんの事が学べて、病気も治せて、苦手な事の練習もできて、才
びょうき れんしゅう さい
のう みが りょこう あ いろ
能も磨けて、旅行もできて、会えない人と会えるとか、本当に色んな事ができちゃう
ところ
所なんだ。

おも だ せかい す
どうか"目ざめの魔法の時間"を思い出して、2つの世界に住んでみてくれたまえ。

わか
それじゃ、また。ぼくの若いお友だちしょくん。



下のアドレスで10のおはなし全てがダウンロード出来ます。

WWW.PHASIELAND.COM/



印刷されたバージョンを注文

amazon.com®

寄贈

PayPal



明晰夢と体外離脱を三日
以内に経験する方法



Michael Raduga
マイケル・ラドゥーガ

amazon.com®